令和３年度
地域企業支援環境整備事業
（令和３年度データに基づく地域未来牽引企業調査・分析事業）

最終報告書

令和４年３月

株式会社帝国データバンク
プロダクトデザイン部

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

目次

1．事業目的 …P.3

2．地域未来牽引企業のフォローアップ調査 …P.12

（参考１）地域未来牽引企業の抽出・選定基準 …P.106

（参考２）フォローアップ分析指標の定義 …P.115

（参考３）フォローアップ分析指標の意味 …P.122

Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

TEIKOKU DATABANK

目次（詳細）

1．事業目的

1－1．目的

1－2．報告書の構成

1－3．本報告書のサマリー

2．フォローアップ調査

2－1．分析概要

2－2．比較対象とした企業群

2－3．各指標での比較（全26指標）

Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

TEIKOKU DATABANK

令和３年度地域企業支援環境整備事業
（令和３年度データに基づく地域未来牽引企業調査・分析事業）

１．事業目的

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

1－1．目的

地域企業の「稼ぐ力」の向上や、地域経済の好循環を実現するためには、地域に裨益する波及効果の高い事業を行うと期待される地域の中核企業を抽出し、予算、税制、金融、規制の特例等の支援策を総動員し、これらの企業による地域経済を牽引する事業を集中的に支援していくことが必要である。

このため、地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者等に対する経済波及効果を及ぼすことにより地域の経済成長を力強く牽引する事業を、さらに積極的に展開することが期待される企業を「地域未来牽引企業」として選定・公表する。

こうした観点から、2017年度より、ビッグデータ（企業間の取引情報等）を活用して地域未来牽引企業を定量的な方法により抽出するための「地域未来牽引企業評価基準」を作成し、当該評価基準を用いて地域未来牽引企業の候補を抽出した。

さらに、地域未来投資促進法の成立以降、地域特性を活用した事業の遂行による地域経済の好循環を目指した、地域経済牽引事業計画が各地で策定され、その計画を担う事業者（牽引事業者）が選ばれている。

上記の背景により、本事業では、選定された地域未来牽引企業および牽引事業者を多面的に分析し、その特徴を把握することが目的である。

出所：地域未来投資促進法の概要（経済産業省 https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/miraitoushi/file/miraitoushi-gaiyou.pdf ）に加筆

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

1－2. 報告書の構成

第2章：フォローアップ調査

5つの評価軸に関する26種類の指標を用いて企業群間（6カテゴリ）の比較を行い、地域未来牽引企業および牽引事業者にどのような特徴が見られるかを分析した。

参考

地域未来牽引企業の選定に用いた指標や、本事業で用いた分析指標に関する定義や説明を整理した。

Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

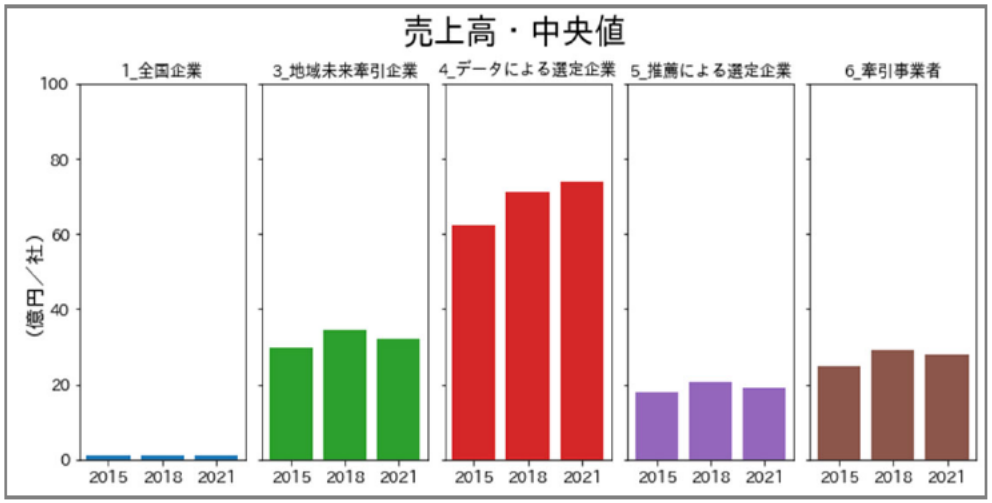
TEIKOKU DATABANK

1－3．本報告書のサマリー（第2章）

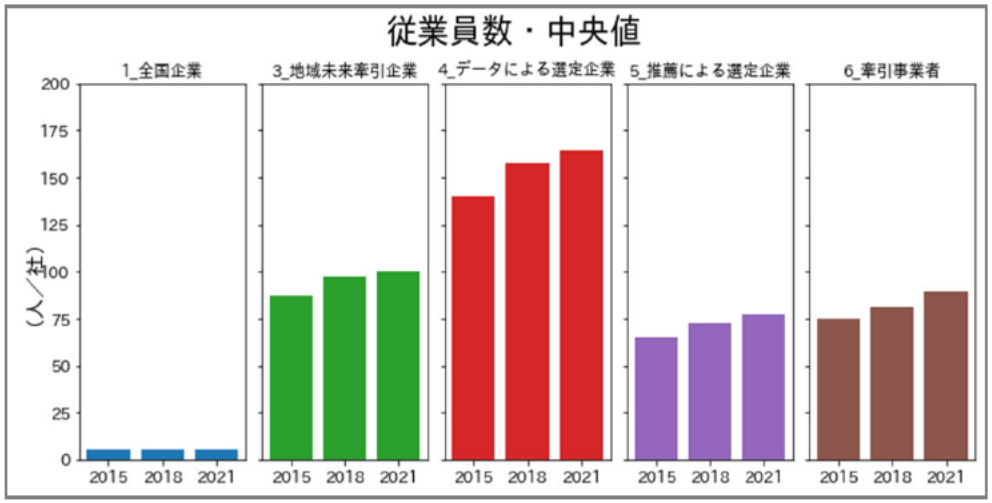
地域未来牽引企業および牽引事業者の特徴（フォローアップ調査）

新型コロナウイルスの影響で経済環境が大きく変化し、各企業が新たなビジネスモデルを模索する中、地域未来牽引企業と牽引事業者は、従業員数を増やすことで地域経済に貢献している。特にデータによる選定企業は、唯一売上高中央値を増加させており、さらに経営基盤を強化させている。

売上高中央値（P.21 ）



従業員中央値（P.38 ）



Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

令和３年度地域企業支援環境整備事業
（令和３年度データに基づく地域未来牽引企業調査・分析事業）

２．地域未来牽引企業のフォローアップ調査

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

2－1．分析概要

1．分析目的

- 施策の影響：選定された企業は施策の利用により売上や利益を生み出しているか
- 経済波及効果：選定された企業は地域経済の成長に寄与しているか

例１：域内仕入先が増加した場合：仕入によって、域内に域外以上に、より多くの資金を支払っている
例２：域外販売先が増加した場合：販売によって、域外から域内以上に、より多くの資金を取ってきている

2. 使用したデータ（使用データの時点）

- 従業員数　：企業概要COSMOS2（2015年～2022年2月時点）
- 売上高　　：企業概要COSMOS2（2015年～2022年2月時点）
- 財務指標　：企業財務COSMOS1（2022年2月時点）、
  信用調査報告書CCR（2022年2月時点）
- 取引情報　：信用調査報告書の取引先情報より作成した企業間取引データ
  （2012年～2022年1月時点）

3. 分析方法

- 時系列での指標値の合計値・平均値・変化率を、6つの企業群で比較
- 変化率は前年比増減率・各社変化率の単純平均・合計の変化率を比較
- 指標値が2015年・2018年・2021年の3期について算出できた企業について分析
- 指標値の定義については参考にて記載

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

2－1．分析概要

4．集計値の定義

- 合計値：各集計年の指標値の合計値
- 平均値：各集計年の指標値の平均値
- 3年前比増減率（%）：（（当年の合計値）/（3年前の合計値）－1）×100
- 変化率の単純平均：個社ごとの変化率の平均を各企業群ごとに集計
  - 個社の変化率は以下の式で定義した

    2018-2021年：（（2021年指標値）/（2018年指標値）-1）×100

    2015-2018年：（（2018年指標値）/（2015年指標値）-1）×100
  - 各社の変化率は上式の分子＞0かつ分母＞0のときのみ算出する
  - ただし、営業収益など値がマイナスになりうる指標については、 2015年・2018年・2021年の3期について全て指標値>0である企業のみを集計対象とする
- 合計の変化率：各企業群の指標値の合計の変化率
  - 合計の変化率は以下で定義した

    2018-2021年：（（2021年指標値合計値）/（2018年指標値合計値）-1）×100

    2015-2018年：（（2018年指標値合計値）/（2015年指標値合計値）-1）×100
  - 本分析では指標値が、 2015年・2018年・2021年の3期について全て算出できた企業について分析を行っているため、各年での企業数が揃っており、合計の変化率は平均値の変化率としても解釈が可能
- 参考集計値として、各集計年の指標値の第1四分位数・中央値・第3四分位数および標準偏差を作成した

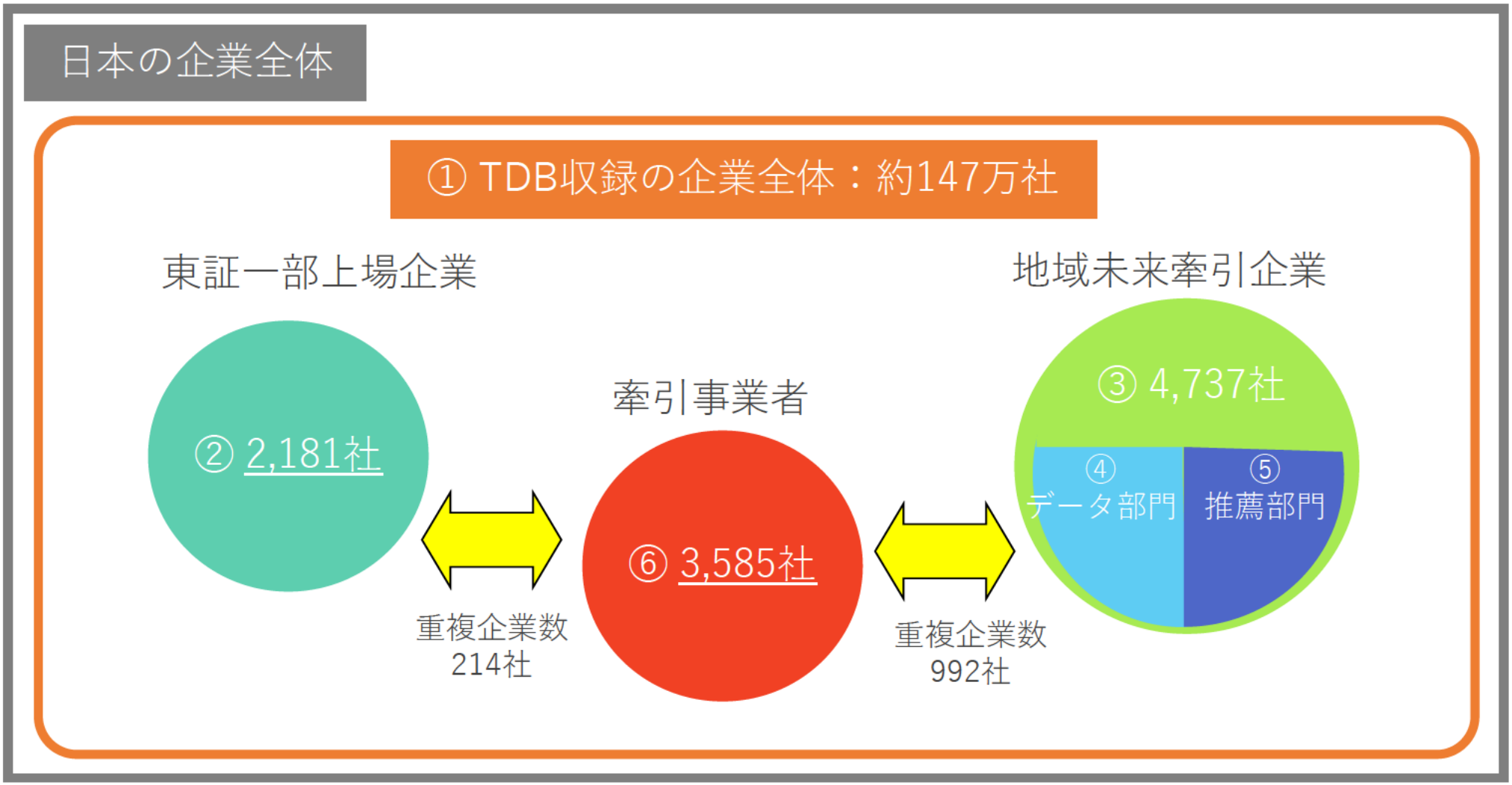
Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

TEIKOKU DATABANK

2－2．比較対象とした企業群

1. 全国企業、2.東証一部上場企業、3.地域未来牽引企業、4.データによる選定企業、5.推薦による選定企業、6.牽引事業者 のグループは以下のような関係にある



※いずれも企業概要COSMOS2に収録されている企業を対象に分析を行っている（2022年2月時点のデータを使用）
※対象の指標について、2015年/2018年/2021年の3時点でのデータがすべて取得可能な企業を対象に分析を行っている

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

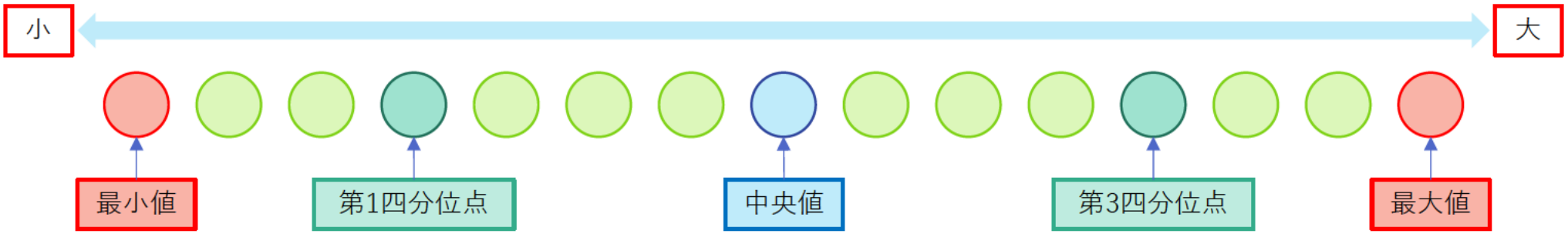
（参考）平均値と中央値の違い／四分位点の考え方

平均値（average/mean）
すべてのデータの値を合計したものをデータの個数で割ったもの。

中央値（median）
データを小さい順（大きい順）に並び替えたときに真ん中に該当するもの。

四分位点の考え方

以下では、データが15個存在するケースにおいて、四分位点の考え方を説明する。
データを小さい方から並び替え、データの個数を4等分した時の区切りに該当する値を、それぞれ**第1四分位点（25％点）**、**第2四分位点（中央値／50％点）**、**第3四分位点（75％点）**と呼ぶ。



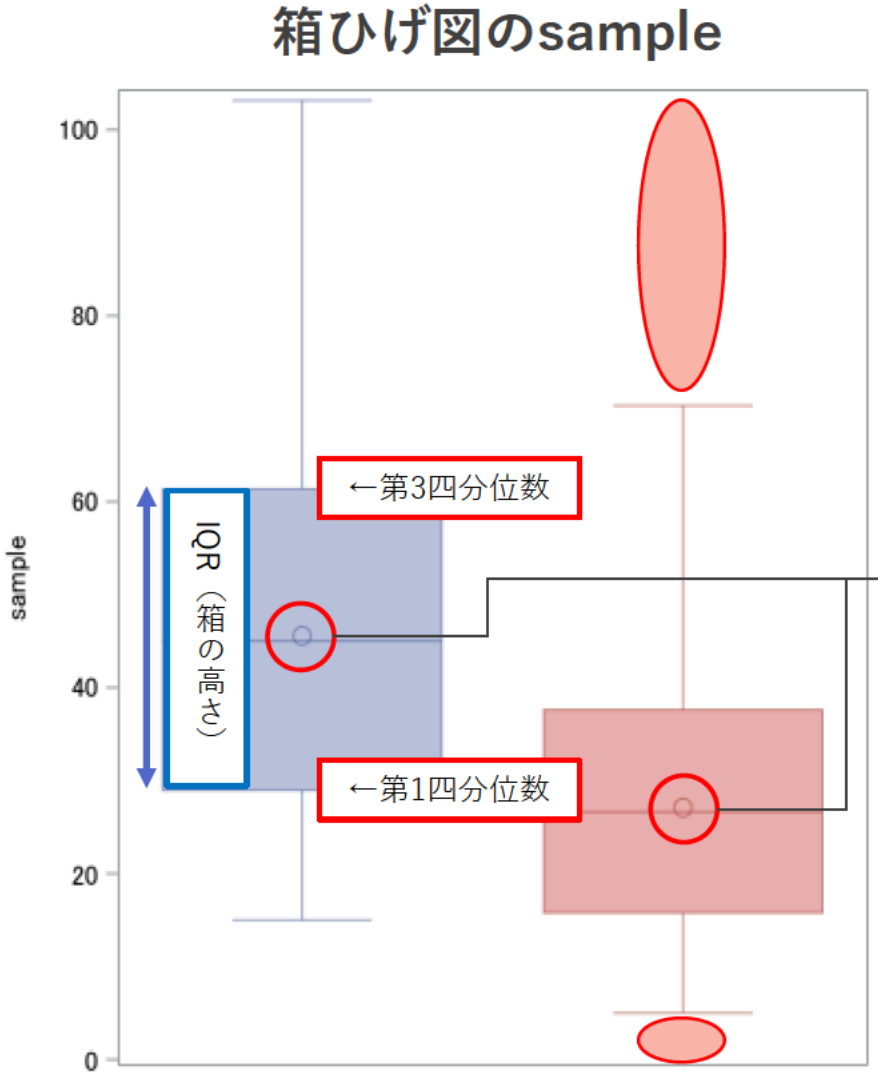
平均値は外れ値の影響を受けやすい

平均値と中央値は、データの「真ん中」を知りたいときに使われる統計量ですが、似て非なるものです。
データの分布が左右対称である正規分布等の場合には、平均値と中央値は近い値をとりますが、分布が歪んでいる場合、また、外れ値が存在する場合には、平均値は「真ん中」を表す指標として適切ではありません。

	小 → 大							平均値	中央値
外れ値**なし**	1	2	3	4	5	6	7	4	4
外れ値**あり**	1	2	3	4	5	6	100	**17.3**	4

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考）箱ひげ図の読み方



箱ひげ図（box plot）

四分位点を用いた統計グラフで、第1～第3四分位点と最大値・最小値の5つの数値を用いてデータの分布を視覚的に表現するものである。真ん中の箱の中には、全データの50%が含まれることを意味する。

←[赤枠]　外れ値と判定されるゾーン

←[ひげ（上側）]　**第3**四分位数＋1.5×**IQR**よりも小さい最大値

[IQR：interquartile range]
四分位数範囲。散らばりの程度を表す尺度で、**第三四分位数と第一四分位数の差**で表される（＝箱の高さに相当）

[〇]平均値

←[箱（上側）]　**第3**四分位数（75%点）

←[中央線]　**第2**四分位数（＝中央値）（50%点）

←[箱（下側）]　**第1**四分位数（25%点）

←[ひげ（下側）]　**第1**四分位数－1.5×**IQR**よりも大きい最小値

もし、中央値（横線）よりも平均値（〇）の方が遥かに値が高い場合、上側の外れ値の影響により平均が吊り上げられていることを示す。

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

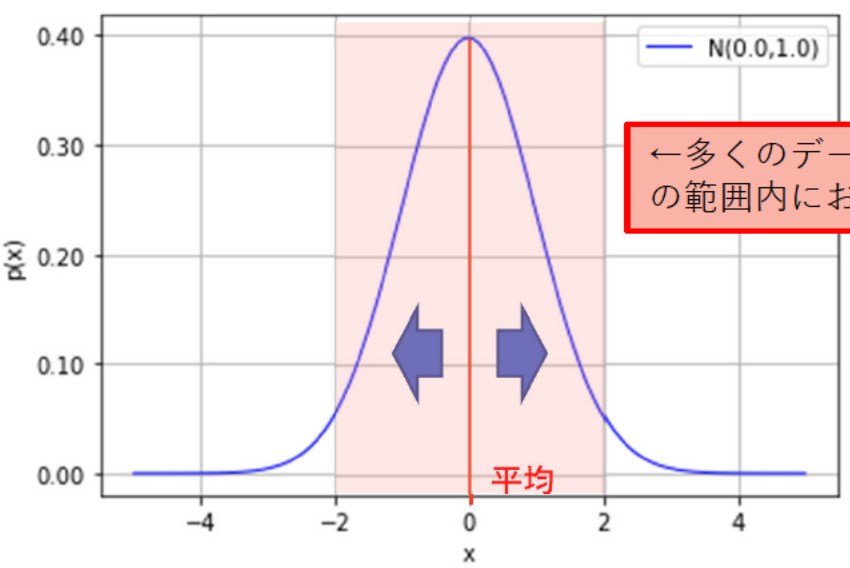
（参考）標準偏差の考え方

標準偏差の考え方

標準偏差とは、データのばらつき（平均値との差の度合い）を表す指標です。一般的に標準偏差の値が大きいほどデータが平均値より離れて分布しており、散らばって存在していることを表す。

標準偏差が**小さい**ケースのイメージ

平均0、**標準偏差1**の正規分布

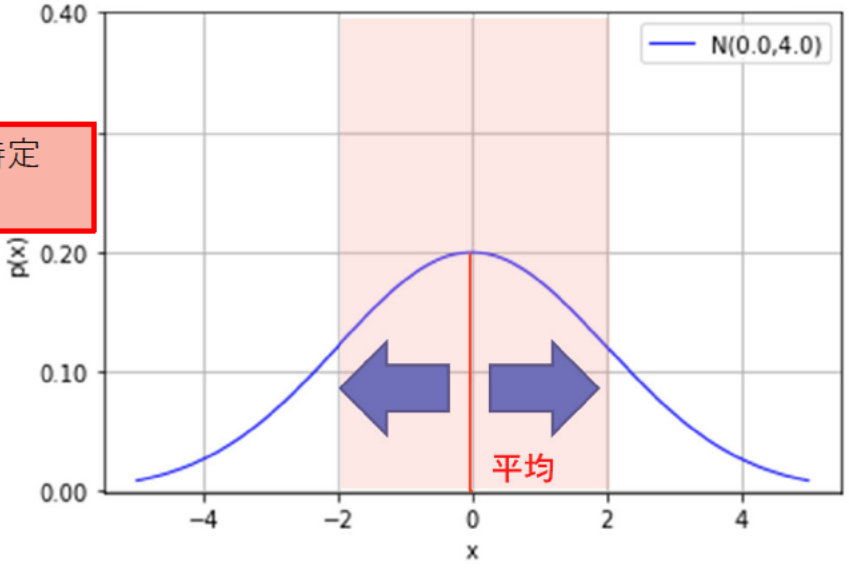


←多くのデータが、特定の範囲内におさまる

- x（横軸）が±1の範囲内に、**全データの68.3%が含まれる**
- 分布の裾野が狭い＝データが**密集**している
- 特定の範囲内の値をとりやすい ＝ **安定的**

標準偏差が**大きい**ケースのイメージ

平均0、**標準偏差4**の正規分布



- x（横軸）が±1の範囲内に、**全データの19.7%が含まれる**
- 分布の裾野が広い＝データが**分散**している
- 様々な値を取り得る ＝ **非安定的**

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

2－3．各指標での比較

フォローアップ分析では、**5つの評価軸**に関する**計26個の指標**を用いて分析を行った。各評価軸に対応する指標は以下のとおり。

1．稼ぐ力	01	売上高
	02	営業利益
	03	売上高営業利益率
	04	自己資本額に占める営業利益率
	05	総資産額に占める営業利益率
2．生産性	06	従業員数
	07	従業員一人当たりの付加価値額
	08	従業員一人当たりの売上高
	09	従業員一人当たりの営業利益
3．経営力	10	総資産額
	11	自己資本比率
	12	総資産回転率
	13	労働分配率

3．経営力	14	資本装備率
	15	資本生産性
4．地域牽引力	16	域内調達額
	17	域外販売額
	18	売上高に占める域外販売額比率
	19	域内取引額
	20	域内調達先社数
	21	域内販売先社数
	22	域外調達先社数
	23	域外販売先社数
	24	人件費
5．研究開発	25	研究開発費
	26	売上高に占める研究開発費比率

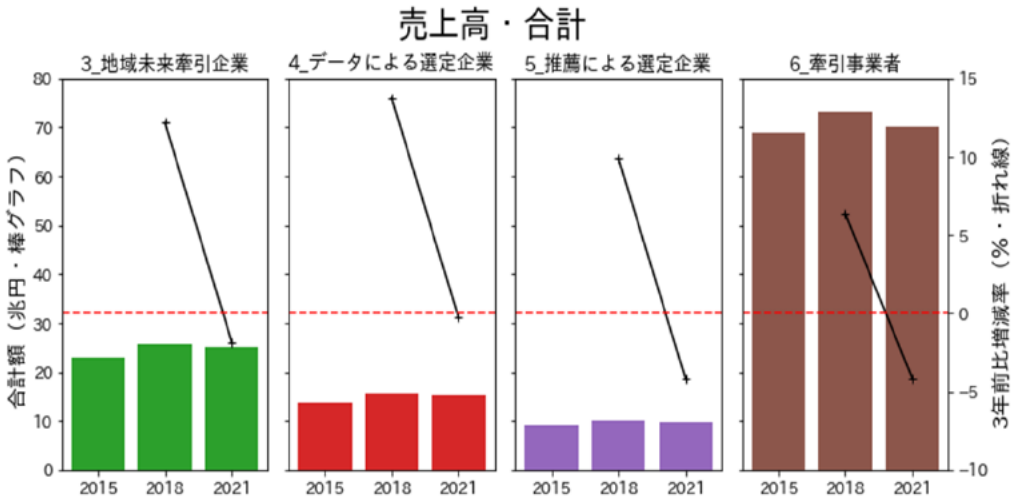
Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

TEIKOKU DATABANK

指標No.01：売上高【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：売上高[兆円]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	787,182	1,044.89	1,090.14 (4.33%)	1,026.39 (-5.85%)
2_東証一部上場	1,446	270.93	276.95 (2.22%)	250.20 (-9.66%)
3_地域未来牽引企業	3,425	22.86	25.64 (12.17%)	25.17 (-1.83%)
4_データによる選定企業	1,202	13.59	15.46 (13.73%)	15.41 (-0.29%)
5_推薦による選定企業	2,223	9.27	10.18 (9.87%)	9.76 (-4.17%)
6_牽引事業者	2,261	68.82	73.19 (6.35%)	70.15 (-4.16%)

【分析コメント】

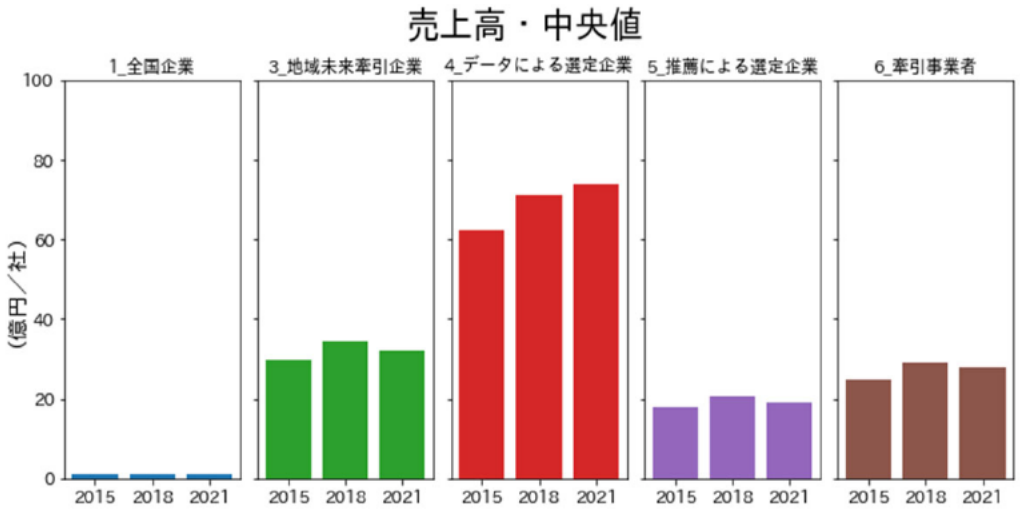
- 地域未来牽引企業は、2015年から2018年にかけての増加率が12.17%と他の企業群に比べて高く、特にデータによる選定企業においては13.73%と最も大きい
- 増減率に着目すると、全ての企業群において2015年から2018年にかけて増加しているが、2018年から2021年にかけて減少している

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.01：売上高【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：売上高中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	787,182	1.09	1.10	0.98
2_東証一部上場	1,446	444.56	475.68	446.89
3_地域未来牽引企業	3,425	29.62	34.27	32.19
4_データによる選定企業	1,202	62.30	71.33	73.76
5_推薦による選定企業	2,223	18.00	20.65	19.04
6_牽引事業者	2,261	24.96	29.02	27.95

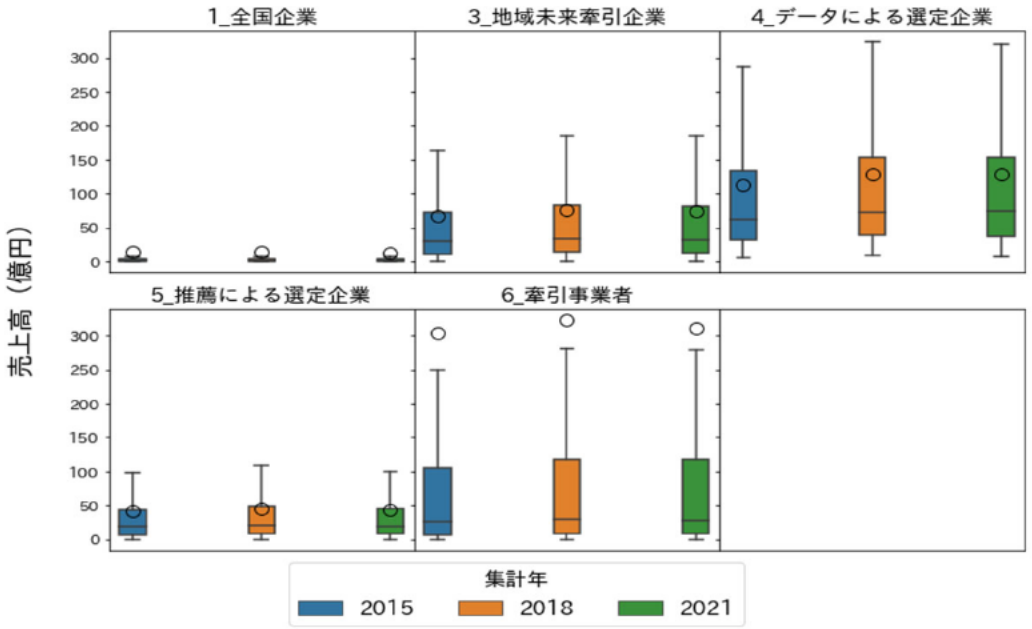
【分析コメント】

- 東証一部上場企業に関しては群を抜いているが、地域未来牽引企業と牽引事業者はほぼ同水準で、中央値で見るとおよそ20~30億円規模となっている
- データによる選定企業のみ、2018年から2021年にかけて売上高中央値は増加している

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.01：売上高【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：売上高中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	787,182	1.09	1.10	0.98
2_東証一部上場	1,446	444.56	475.68	446.89
3_地域未来牽引企業	3,425	29.62	34.27	32.19
4_データによる選定企業	1,202	62.30	71.33	73.76
5_推薦による選定企業	2,223	18.00	20.65	19.04
6_牽引事業者	2,261	24.96	29.02	27.95

【分析コメント】

- 全国企業のみ、2021年は0.98億円であり2015年の1.09億円を下回っている
- 牽引事業者において、ひげの上部（外れ値を除外した上での最大値）を上回る位置に平均値が存在することから、一部の牽引事業者の売上高が大きいことが分かる

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.01：売上高【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	787,182	13.30	-2.41	-15.71
2_東証一部上場	1,446	21.39	4.67	-16.72
3_地域未来牽引企業	3,425	23.52	1.28	-22.24
4_データによる選定企業	1,202	22.15	1.00	-21.15
5_推薦による選定企業	2,223	24.26	1.43	-22.83
6_牽引事業者	2,261	53.89	3.57	-50.32

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	787,182	4.33	-5.85	-10.18
2_東証一部上場	1,446	2.22	-9.66	-11.88
3_地域未来牽引企業	3,425	12.17	-1.83	-14.00
4_データによる選定企業	1,202	13.73	-0.29	-14.02
5_推薦による選定企業	2,223	9.87	-4.17	-14.04
6_牽引事業者	2,261	6.35	-4.16	-10.51

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

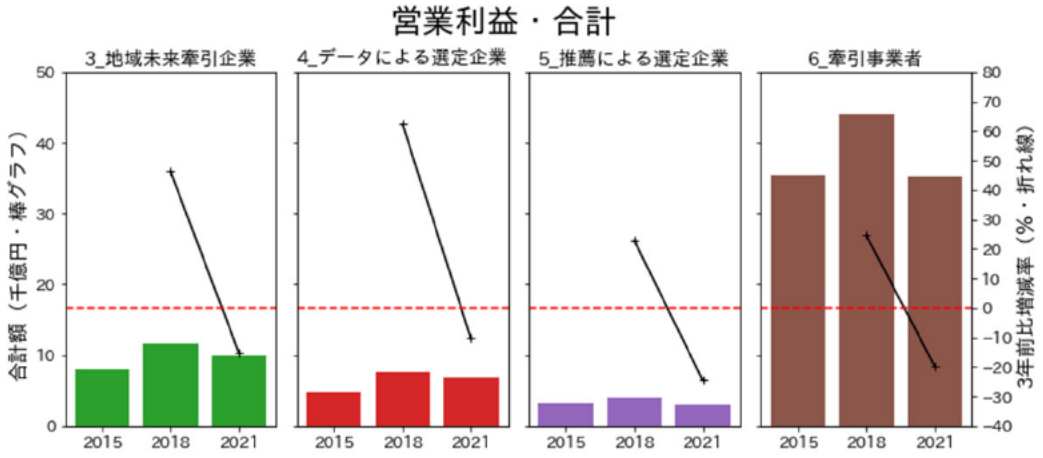
- 個社の売上高で評価した場合では、全国企業が2018年~2021年にかけて減少となっており、その他企業群でも2018年~2021年にかけて増加しているが、成長率には鈍化が見られる
- 売上高の合計で評価した場合では、2018年~2021年にかけて全ての企業群で減少となっており、特に東証一部上場企業の減少幅が大きい

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.02：営業利益【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：営業利益の合計[千億円]、前年比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	85,572	270.28	345.61 (27.87%)	239.68 (-30.65%)
2_東証一部上場	1,425	131.52	157.90 (20.06%)	87.57 (-44.54%)
3_地域未来牽引企業	2,675	8.03	11.73 (46.13%)	9.94 (-15.28%)
4_データによる選定企業	1,112	4.75	7.70 (62.27%)	6.90 (-10.39%)
5_推薦による選定企業	1,563	3.28	4.03 (22.77%)	3.03 (-24.64%)
6_牽引事業者	1,478	35.37	44.06 (24.57%)	35.29 (-19.90%)

【分析コメント】

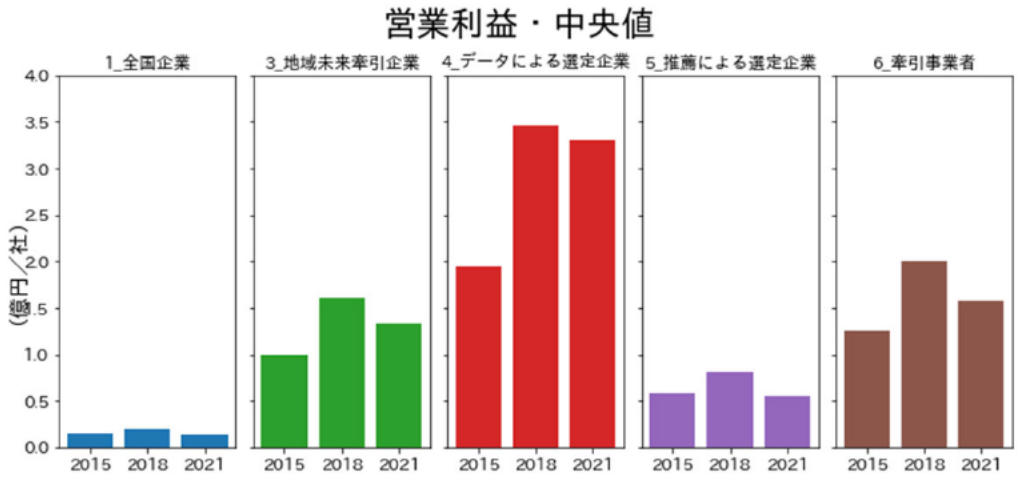
- 全ての企業群において、2015年~2018年において営業利益は増加しているが、2018年~2021年で営業利益の減少が観測された
- 営業利益の変動幅に着目すると、データによる選定企業は2015年~2018年にかけて最も大きく、2018年~2021年にかけては最も小さいことが分かる

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.02：営業利益【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：営業利益の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	85,572	0.15	0.19	0.14
2_東証一部上場	1,425	18.71	22.36	16.57
3_地域未来牽引企業	2,675	1.00	1.60	1.33
4_データによる選定企業	1,112	1.95	3.47	3.31
5_推薦による選定企業	1,563	0.58	0.81	0.55
6_牽引事業者	1,478	1.25	2.00	1.58

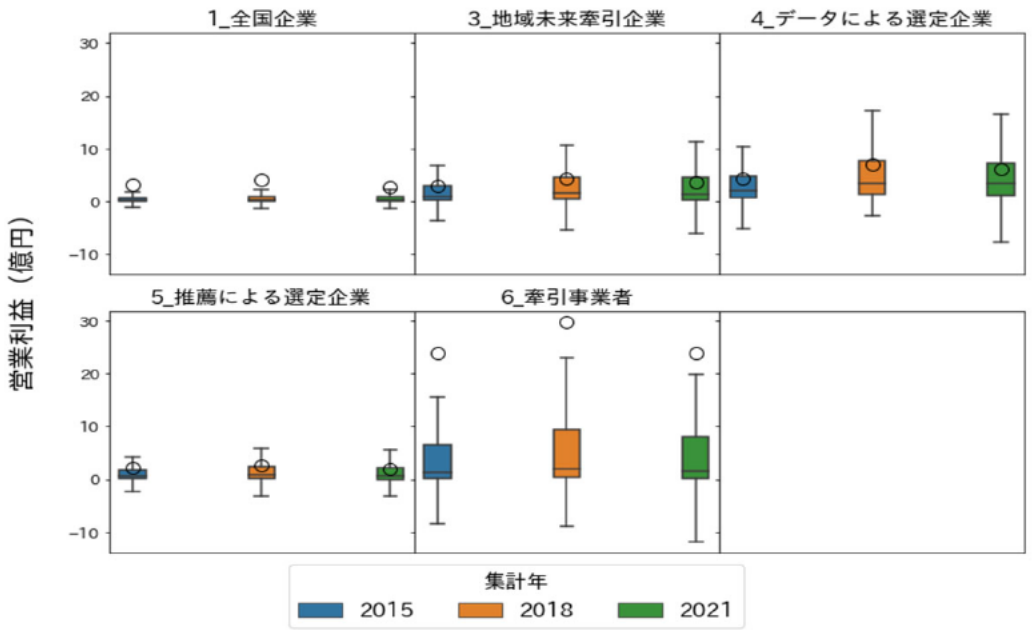
【分析コメント】

- 営業利益を中央値で評価すると、東証一部上場企業が群を抜いて最も大きく、それ以外の企業群ではデータによる選定企業が最も多くの営業利益を生んでいる
- 地域未来牽引企業の中で、データによる選定企業は推薦による選定企業のおよそ4~5倍程度の営業利益を生んでいる

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.02：営業利益【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：営業利益の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	85,572	0.15	0.19	0.14
2_東証一部上場	1,425	18.71	22.36	16.57
3_地域未来牽引企業	2,675	1.00	1.60	1.33
4_データによる選定企業	1,112	1.95	3.47	3.31
5_推薦による選定企業	1,563	0.58	0.81	0.55
6_牽引事業者	1,478	1.25	2.00	1.58

【分析コメント】

- いずれの企業群においても2015年~2018年には増加しているものの、2018年~2021年には減少している
- 牽引事業者において、ひげの上部（外れ値を除外した上での最大値）を上回る位置に平均値が存在することから、一部の牽引事業者が多大な営業利益を生んでいる

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.02：営業利益【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	49,378	941.71	288.02	-653.69
2_東証一部上場	1,069	83.51	40.16	-43.35
3_地域未来牽引企業	1,940	472.93	115.01	-357.93
4_データによる選定企業	961	583.61	62.11	-521.50
5_推薦による選定企業	979	364.29	166.93	-197.36
6_牽引事業者	1,064	516.38	142.22	-374.17

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	85,572	27.87	-30.65	-58.52
2_東証一部上場	1,425	20.06	-44.54	-64.59
3_地域未来牽引企業	2,675	46.13	-15.28	-61.41
4_データによる選定企業	1,112	62.27	-10.39	-72.66
5_推薦による選定企業	1,563	22.77	-24.64	-47.41
6_牽引事業者	1,478	24.57	-19.90	-44.47

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

- 営業利益については時系列に見た時にどの指標よりもブレが大きい指標であり、単純平均については頑健な指標とは言い難い

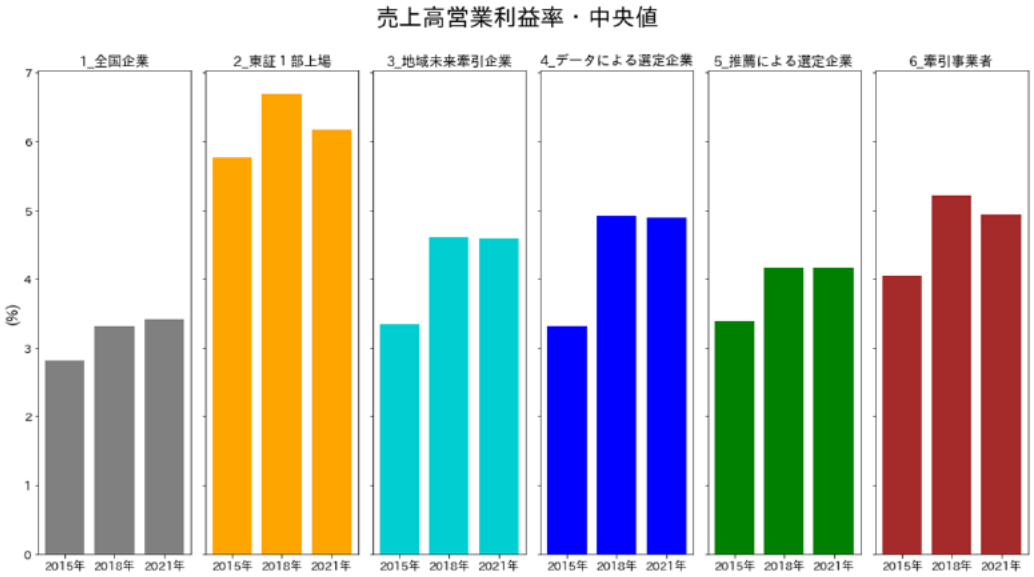
注：単純平均については、変化率の比較前後でいずれも営業利益がプラス（=黒字）の企業でなければ変化率が定義できないため、合計の変化率よりも対象社数が少ない

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.03：売上高営業利益率【中央値】

企業群間の比較



単位：売上高営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	48,320	2.81	3.32	3.41
2_東証一部上場	1,069	5.76	6.69	6.17
3_地域未来牽引企業	1,919	3.35	4.61	4.59
4_データによる選定企業	950	3.31	4.92	4.89
5_推薦による選定企業	969	3.38	4.15	4.16
6_牽引事業者	1,053	4.05	5.20	4.94

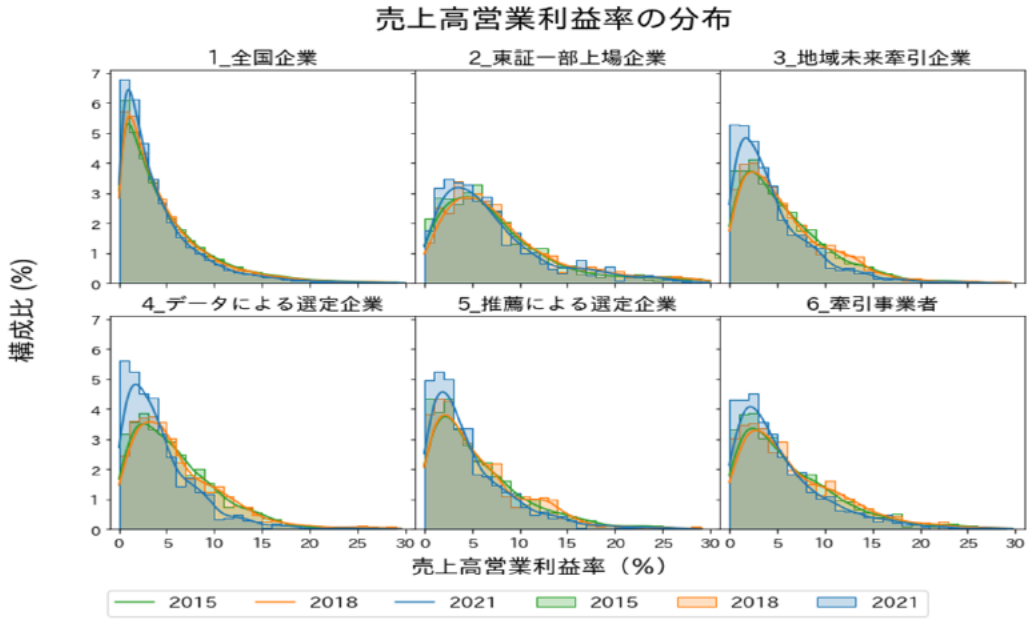
【分析コメント】

- 売上高営業利益率の中央値を見ると、2018年~2021年にかけて全国企業と推薦による選定企業は微増している
- 地域未来牽引企業と牽引事業者は4~5%であり、大きな差は見られない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.03：売上高営業利益率【ヒストグラム】



単位：売上高営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	48,320	2.81	3.32	3.41
2_東証一部上場	1,069	5.76	6.69	6.17
3_地域未来牽引企業	1,919	3.35	4.61	4.59
4_データによる選定企業	950	3.31	4.92	4.89
5_推薦による選定企業	969	3.38	4.15	4.16
6_牽引事業者	1,053	4.05	5.20	4.94

【分析コメント】

- 3時点で売上高営業利益率を比較すると、2015年~2018年にかけて全ての企業群で増加しており、分布も右にシフトしているが、2021年には山が2015年時点と同じ、もしくは左に動いている
- 特にデータによる選定企業では顕著であり、売上高営業利益率5%~15%の企業の減少が著しい

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.03：売上高営業利益率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	48,320	711.02	225.95	-485.07
2_東証一部上場	1,069	53.51	30.75	-22.76
3_地域未来牽引企業	1,919	314.65	98.05	-216.60
4_データによる選定企業	950	343.08	50.39	-292.69
5_推薦による選定企業	969	286.77	144.76	-142.01
6_牽引事業者	1,053	300.03	87.72	-212.31

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	48,320	13.19	4.04	-9.15
2_東証一部上場	1,069	11.01	-1.80	-12.81
3_地域未来牽引企業	1,919	28.69	-1.80	-30.49
4_データによる選定企業	950	42.99	-5.40	-48.39
5_推薦による選定企業	969	16.15	2.09	-14.06
6_牽引事業者	1,053	24.21	-3.95	-28.16

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

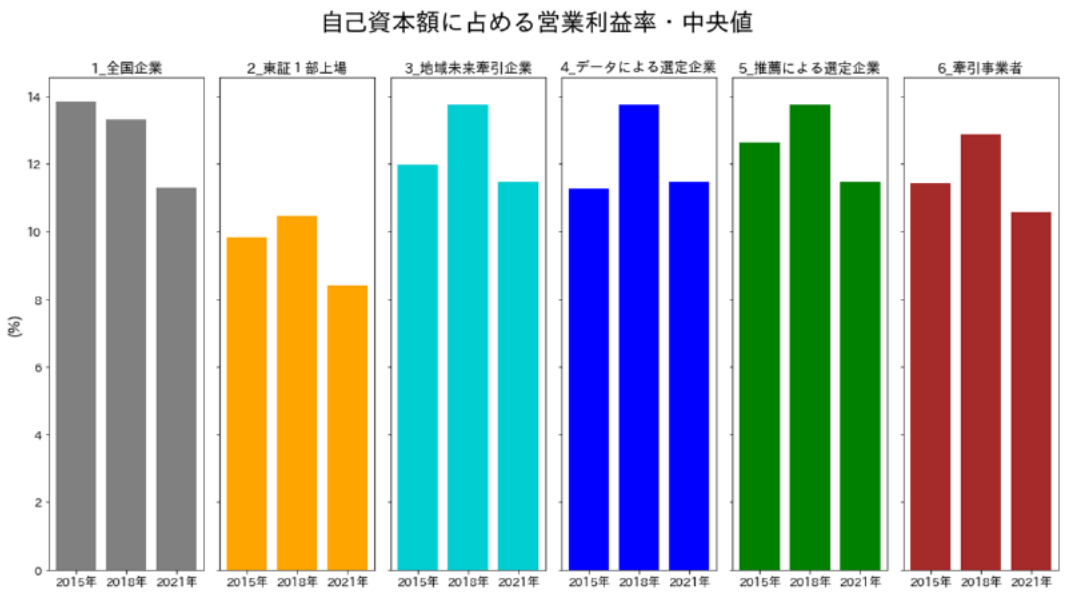
- 売上高営業利益率においても、営業利益と同様に時系列で表示した際にブレが大きい指標であり、単純平均については頑健な指標とは言い難い
- 合計の変化率を見ると、全国企業と推薦による選定企業は増加率は鈍化しているものの、2015年~2021年にかけて増加している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.04：自己資本額に占める営業利益率【中央値】

企業群間の比較



単位：自己資本額に占める営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	31,566	13.85	13.32	11.29
2_東証一部上場	1,064	9.84	10.44	8.41
3_地域未来牽引企業	1,432	11.97	13.74	11.46
4_データによる選定企業	790	11.26	13.75	11.46
5_推薦による選定企業	642	12.63	13.74	11.47
6_牽引事業者	751	11.44	12.86	10.57

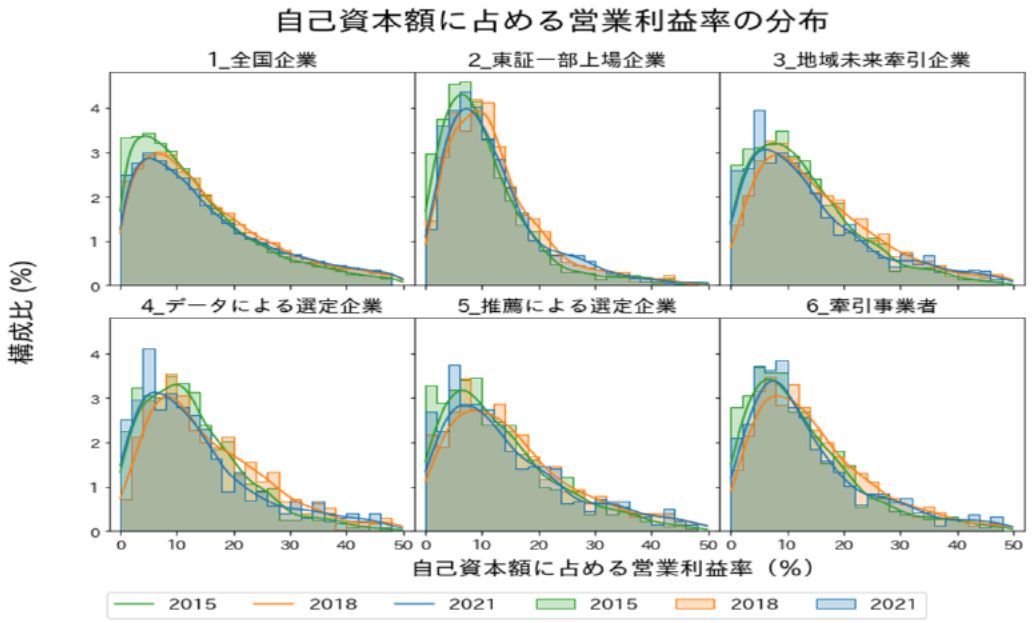
【分析コメント】

- 中央値で見ると、全ての企業群で2018年~2021年にかけて減少しており、特に全国企業においては3時点で連続的に減少している
- 地域未来牽引企業の中では、2015年時点でおよそ1.5ポイントの差があったが、2021年時点ではその差は無くなっている

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.04：自己資本額に占める営業利益率【ヒストグラム】



単位：自己資本額に占める営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	31,566	13.85	13.32	11.29
2_東証一部上場	1,064	9.84	10.44	8.41
3_地域未来牽引企業	1,432	11.97	13.74	11.46
4_データによる選定企業	790	11.26	13.75	11.46
5_推薦による選定企業	642	12.63	13.74	11.47
6_牽引事業者	751	11.44	12.86	10.57

【分析コメント】

- 東証一部上場企業は、中央値で見ると他の企業群よりも自己資本額に占める営業利益率が最も低いが、ヒストグラムで確認すると多くの企業が10%前後に多く集中している
- 地域未来牽引企業と牽引事業者を比べると、地域未来牽引企業の方が中央値は高いが、ヒストグラムとしての形はほとんど同じである

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.04：自己資本額に占める営業利益率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	31,566	393.96	192.91	-201.05
2_東証一部上場	1,064	37.76	18.99	-18.77
3_地域未来牽引企業	1,432	286.80	73.17	-213.63
4_データによる選定企業	790	283.96	32.86	-251.10
5_推薦による選定企業	642	290.28	122.77	-167.51
6_牽引事業者	751	292.89	64.01	-228.88

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	31,566	-35.09	-19.10	15.99
2_東証一部上場	1,064	-4.07	-15.27	-11.20
3_地域未来牽引企業	1,432	-36.22	-27.22	9.00
4_データによる選定企業	790	9.00	-30.10	-39.10
5_推薦による選定企業	642	-56.88	-23.88	33.00
6_牽引事業者	751	-56.25	-24.63	31.62

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

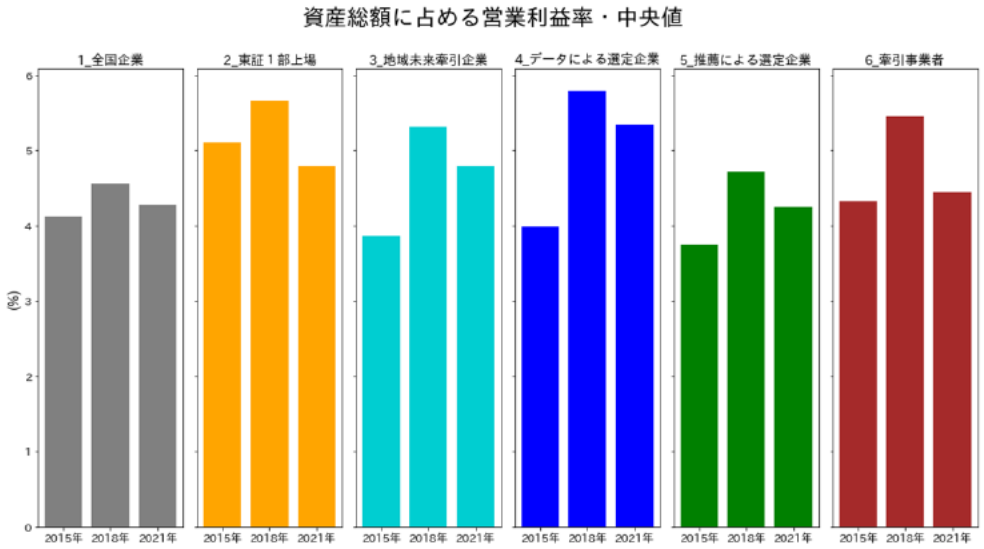
- 自己資本に占める営業利益率においても、営業利益と同様に時系列で表示した際にブレが大きい指標であり、単純平均については頑健な指標とは言い難い
- 合計の変化率を見ると、全国企業と推薦による選定企業、牽引事業者はいずれも減少であるものの、減少幅は小さくなっている

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.05：総資産額に占める営業利益率【中央値】

企業群間の比較



単位：資産総額に占める営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	33,345	4.12	4.56	4.27
2_東証一部上場	1,064	5.10	5.66	4.79
3_地域未来牽引企業	1,445	3.86	5.32	4.79
4_データによる選定企業	792	3.99	5.79	5.34
5_推薦による選定企業	653	3.74	4.72	4.24
6_牽引事業者	761	4.32	5.45	4.44

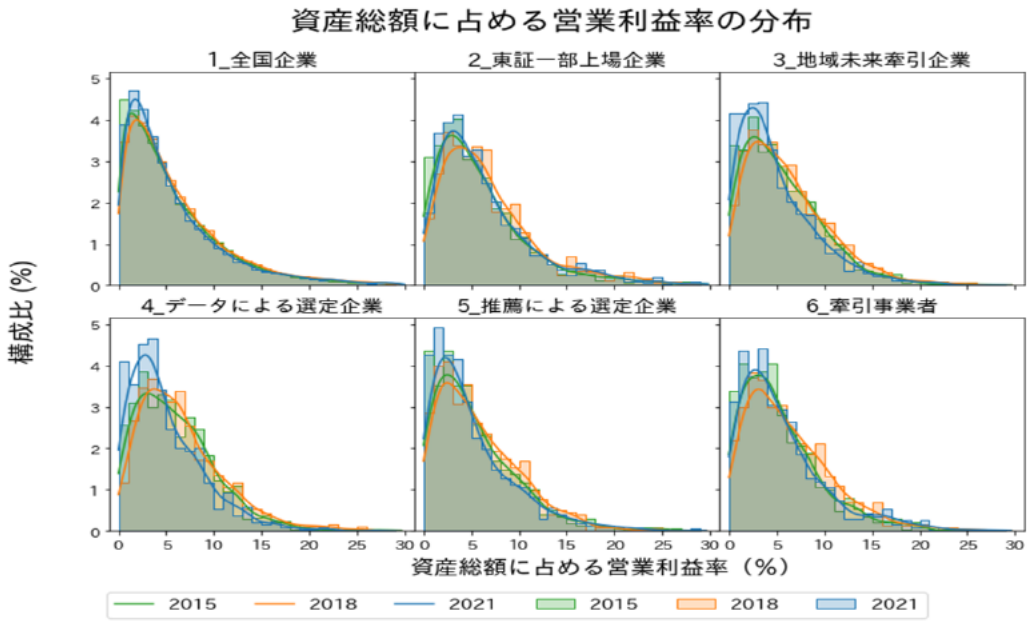
【分析コメント】

- 中央値で見ると、全ての企業群において2015年~2018年にかけて増加しており、2018年~2021年にかけて減少している
- 特に牽引事業者の減少幅が大きく、1.01ポイントの減少となっている

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.05：総資産額に占める営業利益率【ヒストグラム】



単位：資産総額に占める営業利益率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	33,345	4.12	4.56	4.27
2_東証一部上場	1,064	5.10	5.66	4.79
3_地域未来牽引企業	1,445	3.86	5.32	4.79
4_データによる選定企業	792	3.99	5.79	5.34
5_推薦による選定企業	653	3.74	4.72	4.24
6_牽引事業者	761	4.32	5.45	4.44

【分析コメント】

- ヒストグラムを見ると、データによる選定企業の山は左にシフトしつつあり、山の周辺に企業が集中してきている
- データによる選定企業を除く企業群においては、ヒストグラムの形にほとんど違いはなく、資産総額に占める営業利益率の中央値は4~5%程度である

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.05：総資産額に占める営業利益率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	33,345	469.12	221.21	-247.91
2_東証一部上場	1,064	46.74	19.41	-27.33
3_地域未来牽引企業	1,445	371.42	76.35	-295.07
4_データによる選定企業	792	376.67	51.76	-324.91
5_推薦による選定企業	653	365.06	106.18	-258.88
6_牽引事業者	761	390.44	82.89	-307.55

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	33,345	3.72	-5.61	-9.33
2_東証一部上場	1,064	4.92	-12.30	-17.22
3_地域未来牽引企業	1,445	22.63	-8.93	-31.56
4_データによる選定企業	792	32.19	-10.47	-42.66
5_推薦による選定企業	653	11.20	-6.73	-17.93
6_牽引事業者	761	13.85	-14.81	-28.66

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

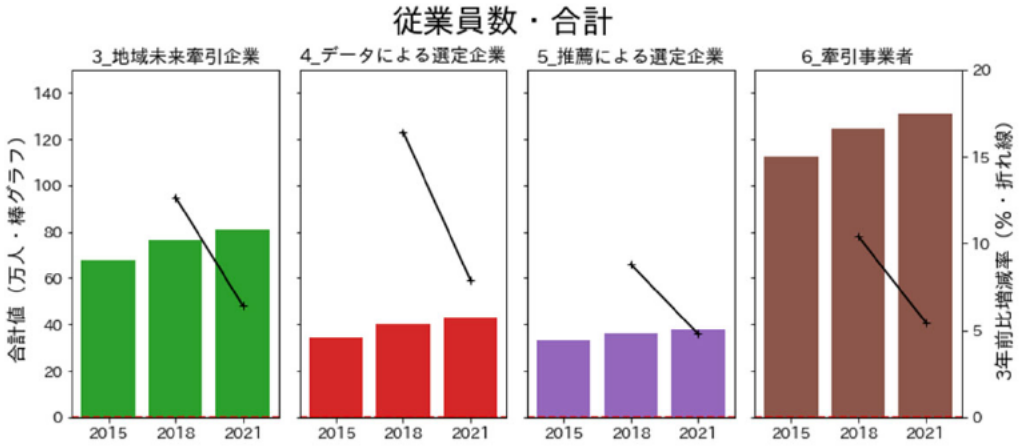
- 総資産額に占める営業利益率においても、営業利益と同様に時系列で表示した際にブレが大きい指標であり、単純平均については頑健な指標とは言い難い
- 合計の変化率を見ると、全ての企業群で2018年~2021年にかけて減少となっており、特にデータによる選定企業では42.66ポイントの減少となっている

データ出典：企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.06：従業員数【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：従業員数の合計[万人]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	981,178	2,508.49	2,641.68 (5.31%)	2,740.53 (3.74%)
2_東証一部上場	1,670	284.02	297.30 (4.67%)	308.57 (3.79%)
3_地域未来牽引企業	4,385	67.72	76.29 (12.66%)	81.19 (6.42%)
4_データによる選定企業	1,510	34.38	40.03 (16.42%)	43.19 (7.89%)
5_推薦による選定企業	2,875	33.33	36.26 (8.79%)	38.00 (4.79%)
6_牽引事業者	2,836	112.69	124.40 (10.39%)	131.19 (5.46%)

【分析コメント】

- 全ての企業群において、2018年~2021年にかけて従業員数は増加しているが、増加率は鈍化している
- 特にデータによる選定企業は、いずれの期間においても最も増加率が高いが、増加率の減少幅も最も大きい（16.42%→7.89%）

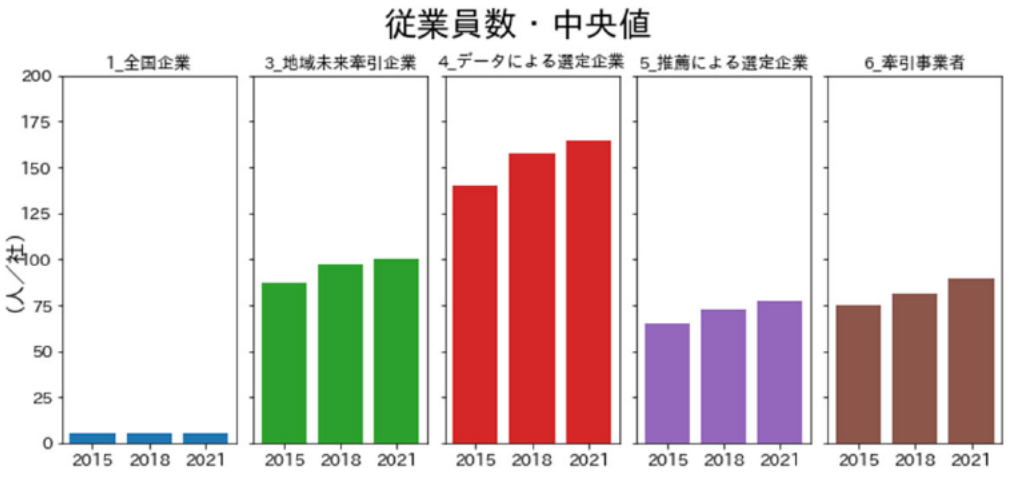
※帝国データバンク保有データにおいては、従業員数の定義は「役員を除く正社員数」となっている。
経済センサス等の「従業者数」とは異なり、パート・アルバイト等も含まない点に留意が必要である。

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.06：従業員数【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：従業員数の中央値[人]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	981,178	5.0	5.0	5.0
2_東証一部上場	1,670	652.0	678.5	714.0
3_地域未来牽引企業	4,385	87.0	97.0	100.0
4_データによる選定企業	1,510	140.0	158.0	164.5
5_推薦による選定企業	2,875	65.0	73.0	77.0
6_牽引事業者	2,836	75.0	81.0	89.5

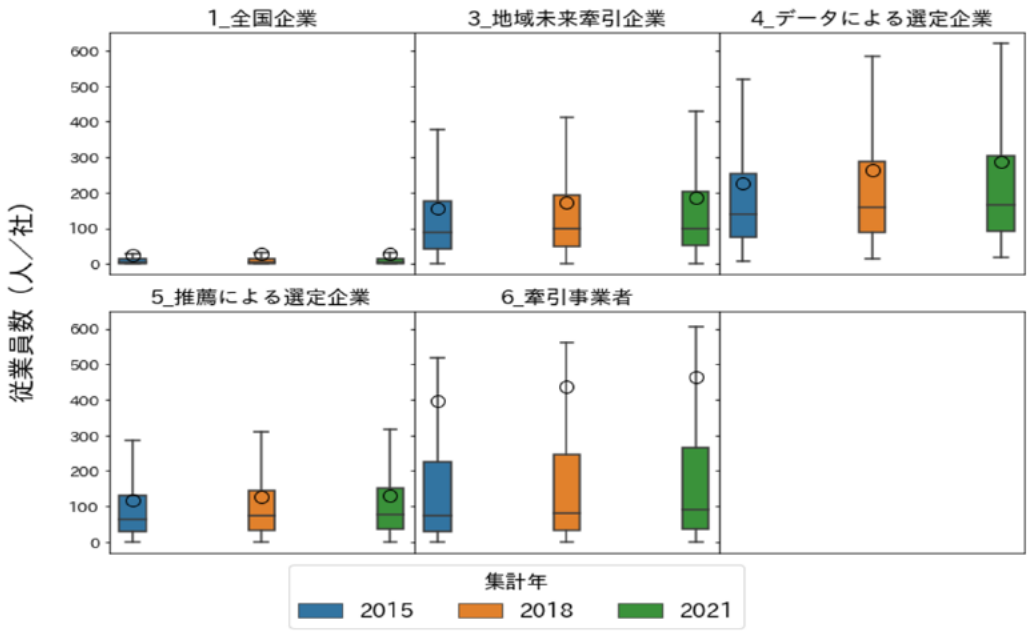
【分析コメント】

- 全国企業と比較すると、地域未来牽引企業も牽引事業者も、従業員数としての規模は極めて大きい水準であることが分かる
- 地域未来牽引企業の中では、データによる選定企業が推薦による選定企業のおよそ２倍の従業員数規模である

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.06：従業員数【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：従業員数の中央値[人]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	981,178	5.0	5.0	5.0
2_東証一部上場	1,670	652.0	678.5	714.0
3_地域未来牽引企業	4,385	87.0	97.0	100.0
4_データによる選定企業	1,510	140.0	158.0	164.5
5_推薦による選定企業	2,875	65.0	73.0	77.0
6_牽引事業者	2,836	75.0	81.0	89.5

【分析コメント】

- 全国企業を除く企業群において、従業員数は3時点で連続的に増加しており、全国企業は3時点で横ばいである
- 地域未来牽引企業の中では、データによる選定企業は推薦による選定企業より箱が大きく、ひげの上部（外れ値を除外した上での最大値）も長いことから、バラつきが大きい

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.06：従業員数【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	981,178	9.26	5.74	-3.52
2_東証一部上場	1,670	13.24	10.18	-3.06
3_地域未来牽引企業	4,385	20.66	10.39	-10.27
4_データによる選定企業	1,510	20.95	9.13	-11.81
5_推薦による選定企業	2,875	20.51	11.05	-9.46
6_牽引事業者	2,836	20.56	12.45	-8.11

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	981,178	5.31	3.74	-1.57
2_東証一部上場	1,670	4.67	3.79	-0.88
3_地域未来牽引企業	4,385	12.66	6.42	-6.25
4_データによる選定企業	1,510	16.42	7.89	-8.53
5_推薦による選定企業	2,875	8.79	4.79	-4.00
6_牽引事業者	2,836	10.39	5.46	-4.93

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

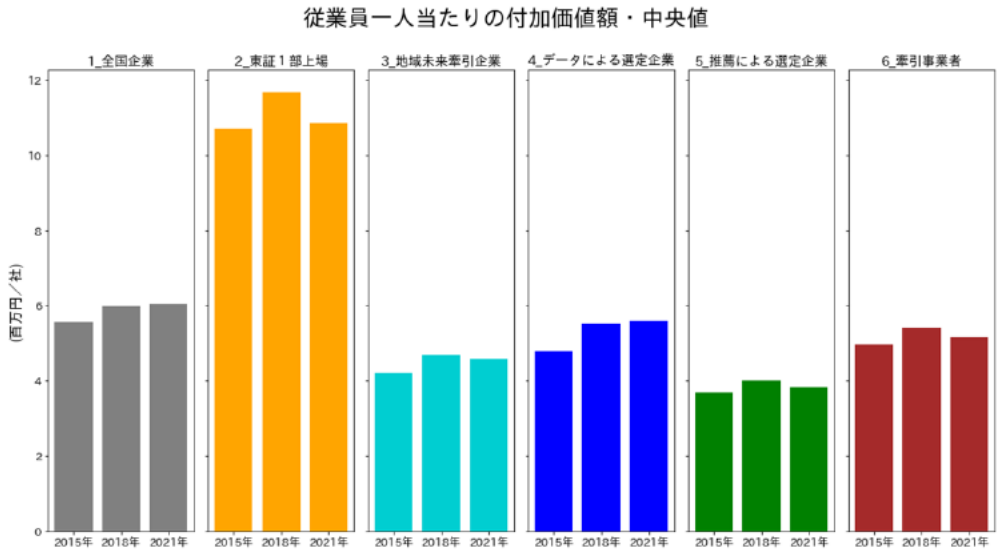
- 個社の単純平均で見ても、合計の変化率で見ても、東証１部上場企業の差分は最も小さく、最も堅調に推移している
- 個社の単純平均に着目すると、データによる選定企業の減少幅は最も大きく、2018年~2021年にかけては9.13%と、全国企業に次ぐ低さとなっている

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.07：従業員一人当たりの付加価値額【中央値】

企業群間の比較



単位：従業員一人当たりの付加価値額の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	55,739	5.55	5.99	6.03
2_東証一部上場	1,414	10.70	11.69	10.86
3_地域未来牽引企業	1,942	4.21	4.69	4.58
4_データによる選定企業	916	4.79	5.51	5.59
5_推薦による選定企業	1,026	3.68	4.01	3.83
6_牽引事業者	1,033	4.95	5.40	5.16

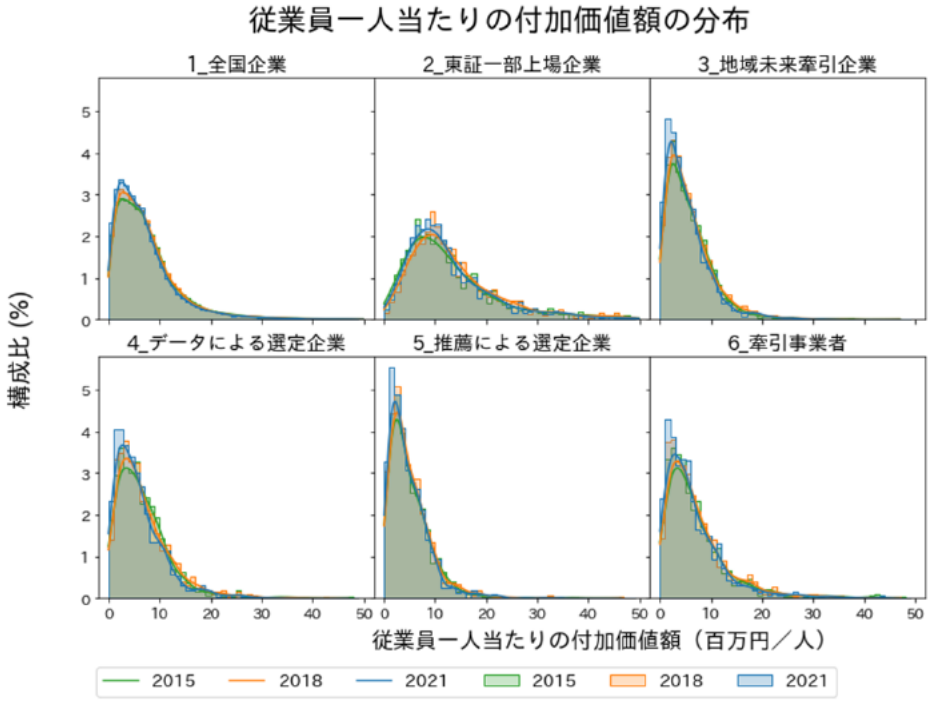
【分析コメント】

- 従業員一人当たりの付加価値額の中央値で見ると、東証一部上場企業が群を抜いて高くなっており、次いで全国企業が高い結果になった
- 時系列で比較すると、全国企業とデータによる選定企業が3時点で連続的に増加している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.07：従業員一人当たりの付加価値額【ヒストグラム】



単位：従業員一人当たりの付加価値額の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	55,739	5.55	5.99	6.03
2_東証一部上場	1,414	10.70	11.69	10.86
3_地域未来牽引企業	1,942	4.21	4.69	4.58
4_データによる選定企業	916	4.79	5.51	5.59
5_推薦による選定企業	1,026	3.68	4.01	3.83
6_牽引事業者	1,033	4.95	5.40	5.16

【分析コメント】

- 東証１部上場企業は山が低く、従業員一人当たりの付加価値額の分散が大きく、一方で地域未来牽引企業は山が高く分散は小さい
- 東証１部上場企業を除く企業群において、従業員一人当たりの付加価値額はおよそ400~500万円の値をとる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.07：従業員一人当たりの付加価値額【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	52,530	75.13	75.22	0.09
2_東証一部上場	1,380	25.07	5.20	-19.86
3_地域未来牽引企業	1,852	54.95	29.39	-25.56
4_データによる選定企業	898	46.45	15.43	-31.02
5_推薦による選定企業	954	62.95	42.54	-20.42
6_牽引事業者	980	51.32	12.11	-39.21

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	55,739	8.02	0.76	-7.26
2_東証一部上場	1,414	10.66	-2.67	-13.33
3_地域未来牽引企業	1,942	12.44	-1.78	-14.22
4_データによる選定企業	916	18.61	-4.03	-22.64
5_推薦による選定企業	1,026	5.54	1.04	-4.50
6_牽引事業者	1,033	7.45	-3.42	-10.87

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

- 個社の変化率の平均を見ると、2018年~2021年にかけて全国企業のみ高い増加率を維持しており、その他企業群の増加率は鈍化している
- 合計の変化率を見ると、全ての企業群において増減率は鈍化しており、データによる選定企業が減少幅が最も大きい

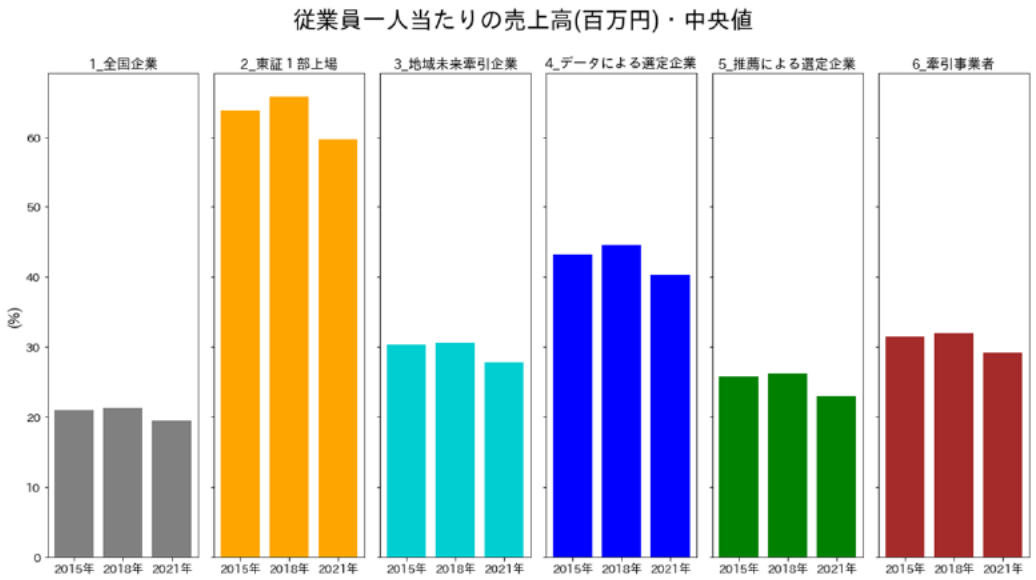
注：単純平均については、変化率の比較前後でいずれも営業利益がプラス（=黒字）の企業でなければ変化率が定義できないため、合計の変化率よりも対象社数が少ない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.08：従業員一人当たりの売上高【中央値】

企業群間の比較



単位：従業員一人当たりの売上高の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	655,867	21.00	21.25	19.50
2_東証一部上場	1,444	63.69	65.76	59.60
3_地域未来牽引企業	3,409	30.34	30.61	27.78
4_データによる選定企業	1,202	43.13	44.57	40.35
5_推薦による選定企業	2,207	25.82	26.24	22.90
6_牽引事業者	2,238	31.43	31.98	29.19

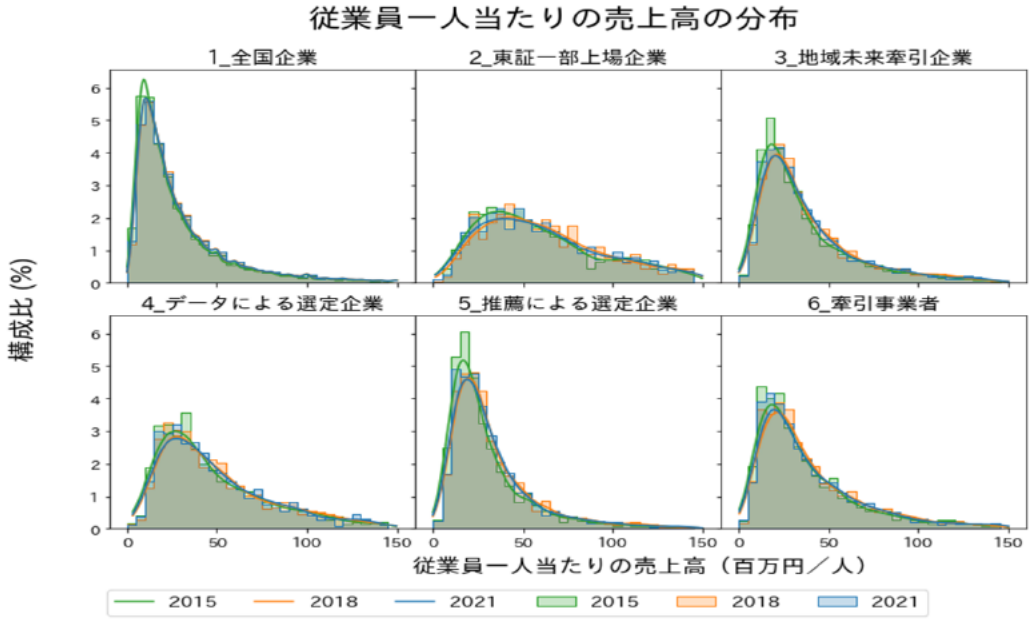
【分析コメント】

- 従業員一人当たりの売上高の中央値で見ると、東証一部上場企業が抜きんでており、次いでデータによる選定企業が続いている
- 全ての企業群において2015年~2018年にかけて増加し、2018年~2021年にかけて減少している

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.08：従業員一人当たりの売上高【ヒストグラム】



単位：従業員一人当たりの売上高の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	655,867	21.00	21.25	19.50
2_東証一部上場	1,444	63.69	65.76	59.60
3_地域未来牽引企業	3,409	30.34	30.61	27.78
4_データによる選定企業	1,202	43.13	44.57	40.35
5_推薦による選定企業	2,207	25.82	26.24	22.90
6_牽引事業者	2,238	31.43	31.98	29.19

【分析コメント】

- 東証一部上場企業とデータによる選定企業は類似したヒストグラムとなっており、その他企業群と比較すると山が右に寄り、裾の長い分布となっている
- 3時点で比較すると、全ての企業群においても経年による大きな差は見られない

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.08：従業員一人当たりの売上高【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	655,867	15.23	3.70	-11.53
2_東証一部上場	1,444	10.60	-4.08	-14.68
3_地域未来牽引企業	3,409	8.11	-3.35	-11.46
4_データによる選定企業	1,202	5.62	-3.47	-9.09
5_推薦による選定企業	2,207	9.46	-3.29	-12.75
6_牽引事業者	2,238	11.61	-3.78	-15.39

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	655,867	0.45	-8.92	-9.37
2_東証一部上場	1,444	2.88	-10.47	-13.35
3_地域未来牽引企業	3,409	0.88	-8.12	-9.00
4_データによる選定企業	1,202	0.78	-7.10	-7.88
5_推薦による選定企業	2,207	0.98	-9.08	-10.06
6_牽引事業者	2,238	-0.01	-6.01	-6.00

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

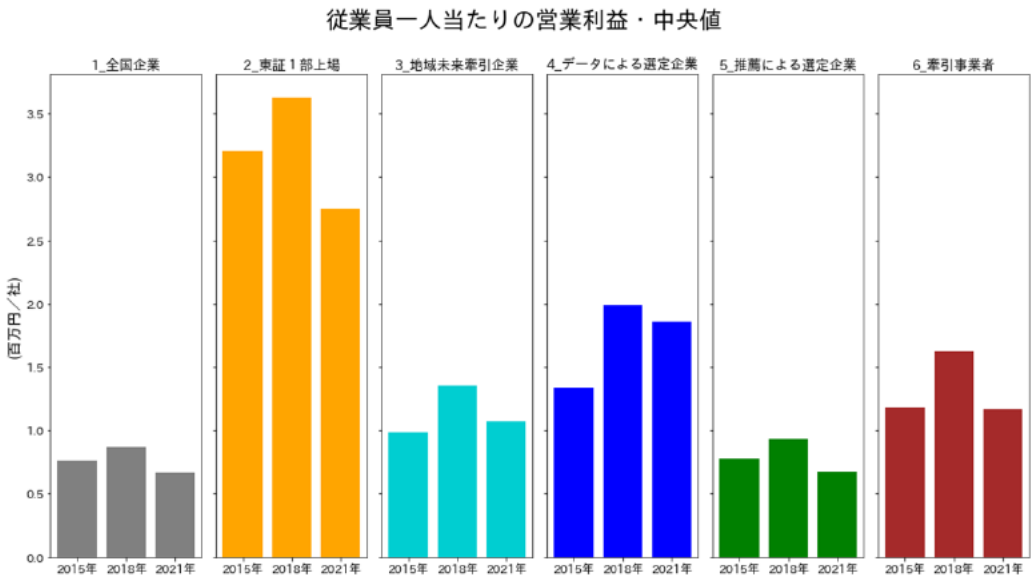
- 個社の変化率の平均を見ると、全国企業のみ2018年~2021年にかけて、従業員一人当たりの売上高は増加しており、その他企業群は減少している
- 合計の変化率を見ると、牽引事業者を除いて2015年~2018年には増加していたが2018年~2021年にかけて減少している

データ出典：企業概要COSMOS2

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.09：従業員一人当たりの営業利益【中央値】

企業群間の比較



単位：従業員一人当たりの営業利益の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	83,247	0.76	0.87	0.67
2_東証一部上場	1,423	3.20	3.63	2.75
3_地域未来牽引企業	2,669	0.99	1.35	1.07
4_データによる選定企業	1,112	1.33	1.99	1.86
5_推薦による選定企業	1,557	0.77	0.93	0.67
6_牽引事業者	1,475	1.18	1.62	1.17

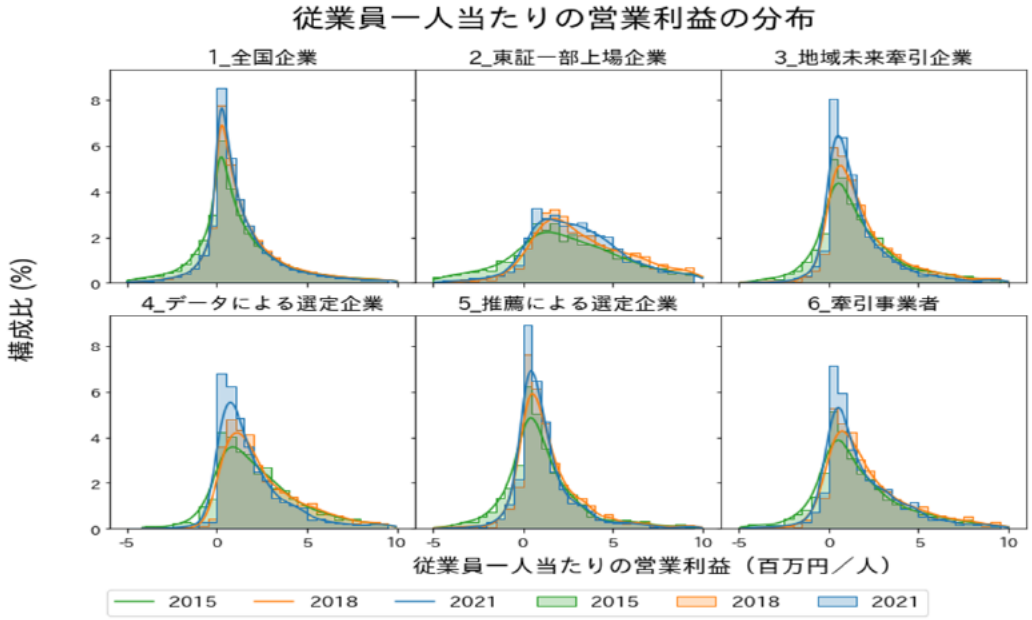
【分析コメント】

- 従業員一人当たりの営業利益の中央値で見ると、全ての企業群で2015年~2018年で増加し、2018年~2021年で減少している
- 地域未来牽引企業の中で見ると、データによる選定企業は推薦による選定企業のおよそ3倍である

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.09：従業員一人当たりの営業利益【ヒストグラム】



単位：従業員一人当たりの営業利益の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	83,247	0.76	0.87	0.67
2_東証一部上場	1,423	3.20	3.63	2.75
3_地域未来牽引企業	2,669	0.99	1.35	1.07
4_データによる選定企業	1,112	1.33	1.99	1.86
5_推薦による選定企業	1,557	0.77	0.93	0.67
6_牽引事業者	1,475	1.18	1.62	1.17

【分析コメント】

- 東証一部上場企業においては山が小さく、両側の裾が長い分布となっているためバラつきが大きいことが読み取れる
- データによる選定企業においては、利益貢献度および利益成長性で評価した上で選定しているため、営業利益がマイナスになるケースが少ないものと考えられる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.09：従業員一人当たりの営業利益【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	48,505	1190.61	285.28	-905.33
2_東証一部上場	1,067	70.87	33.18	-37.69
3_地域未来牽引企業	1,938	417.32	100.74	-316.58
4_データによる選定企業	961	495.42	55.44	-439.98
5_推薦による選定企業	977	340.50	145.30	-195.20
6_牽引事業者	1,063	460.90	135.87	-325.03

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	83,247	20.81	-19.92	-40.73
2_東証一部上場	1,423	20.04	-20.15	-40.19
3_地域未来牽引企業	2,669	31.95	-19.99	-51.94
4_データによる選定企業	1,112	49.55	-16.37	-65.92
5_推薦による選定企業	1,557	9.97	-26.13	-36.10
6_牽引事業者	1,475	24.97	-19.86	-44.83

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

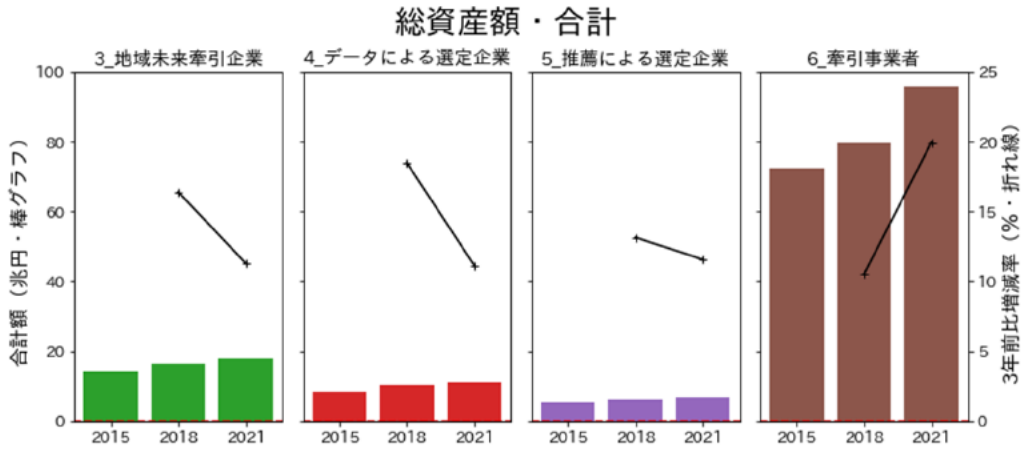
- 従業員一人当たりの営業利益においても、営業利益と同様に時系列で表示した際にブレが大きい指標であり、単純平均については頑健な指標とは言い難い
- 合計の変化率を見ると、データによる選定企業においては2018年~2021年の減少幅は小さいものの、2015年~2018年に増加幅が大きいため、その差分は大きくなっている

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.10：総資産額【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位： 総資産額の合計[兆円]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	57,229	614.91	675.85 (9.91%)	750.03 (10.98%)
2_東証一部上場	1,416	358.75	389.54 (8.58%)	436.36 (12.02%)
3_地域未来牽引企業	1,943	13.97	16.26 (16.40%)	18.09 (11.29%)
4_データによる選定企業	916	8.52	10.09 (18.48%)	11.22 (11.13%)
5_推薦による選定企業	1,027	5.45	6.17 (13.14%)	6.88 (11.55%)
6_牽引事業者	1,034	72.18	79.76 (10.50%)	95.67 (19.95%)

【分析コメント】

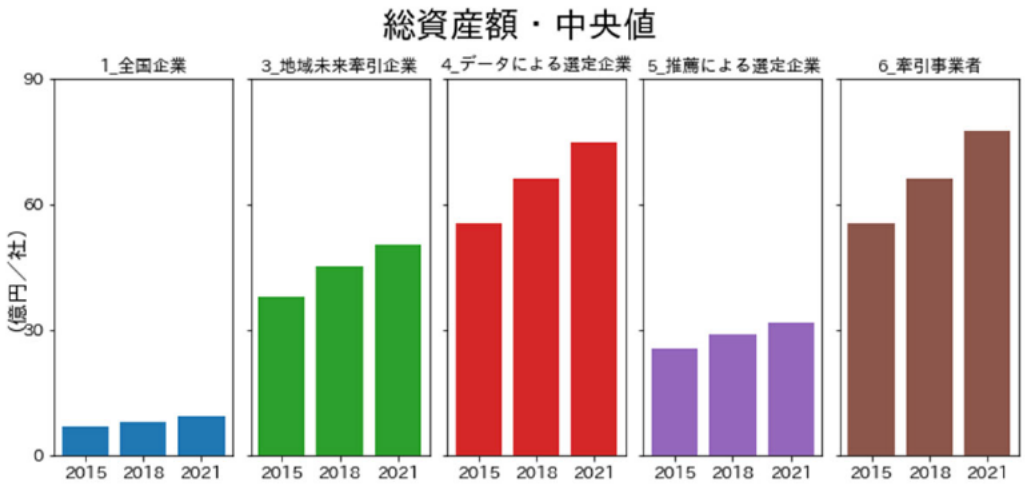
- 総資産額の合計において、地域未来牽引企業は2018年~2021年にかけて増加率に鈍化が見られるが、その他企業群においては引き続き増加傾向にある
- 特に牽引事業者の増加幅が大きく、2015年~2018年には10.50%であり、2018年~2021年には19.95%と大幅な伸びが見られる

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.10：総資産額【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位： 総資産額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	57,229	6.79	7.89	9.09
2_東証一部上場	1,416	523.26	583.02	621.82
3_地域未来牽引企業	1,943	37.76	45.14	50.40
4_データによる選定企業	916	55.49	66.26	74.89
5_推薦による選定企業	1,027	25.50	28.93	31.78
6_牽引事業者	1,034	55.55	66.15	77.63

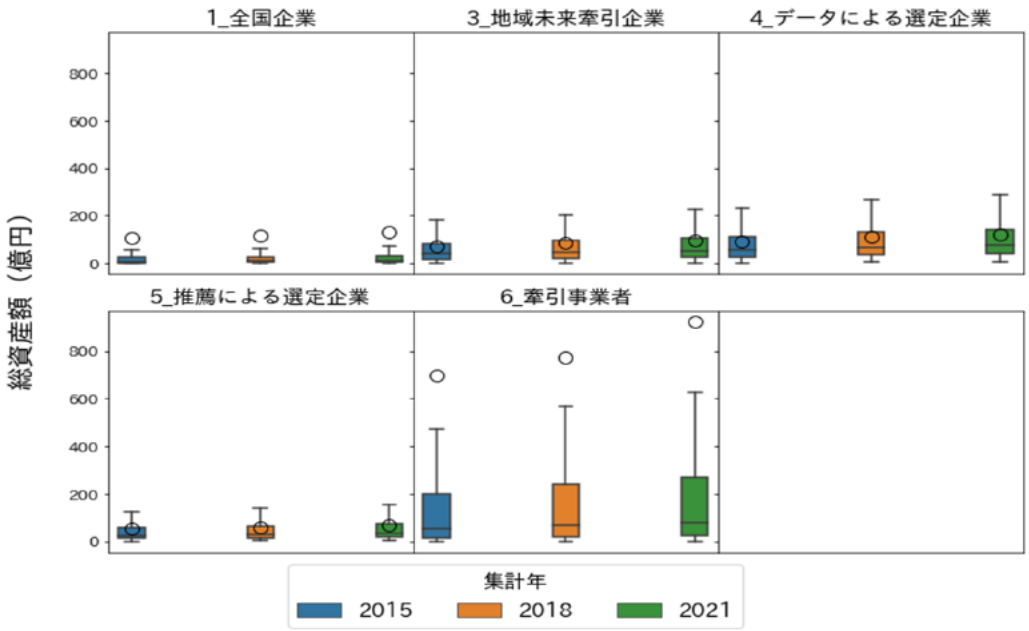
【分析コメント】

- 中央値で評価すると、全ての企業群においても、2015年~2018年および2018年~2021年にかけて連続的に総資産額の増加が見られる
- 総資産額の規模は東証一部上場企業が突出しているものの、次点では牽引事業者、データによる選定企業と続く

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.10：総資産額【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位： 総資産額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	57,229	6.79	7.89	9.09
2_東証一部上場	1,416	523.26	583.02	621.82
3_地域未来牽引企業	1,943	37.76	45.14	50.40
4_データによる選定企業	916	55.49	66.26	74.89
5_推薦による選定企業	1,027	25.50	28.93	31.78
6_牽引事業者	1,034	55.55	66.15	77.63

【分析コメント】

- 総資産額において、データによる選定企業は推薦による選定企業の2倍以上の規模となっている
- 牽引事業者において、ひげの上部（外れ値を除外した上での最大値）を上回る位置に平均値が存在することから、一部の牽引事業者が平均値を引き上げていることが推察される

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.10：総資産額【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	57,229	29.80	24.57	-5.23
2_東証一部上場	1,416	23.39	15.82	-7.57
3_地域未来牽引企業	1,943	25.94	18.03	-7.91
4_データによる選定企業	916	27.27	15.20	-12.07
5_推薦による選定企業	1,027	24.76	20.56	-4.20
6_牽引事業者	1,034	28.26	29.35	1.10

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	57,229	9.91	10.98	1.06
2_東証一部上場	1,416	8.58	12.02	3.44
3_地域未来牽引企業	1,943	16.40	11.29	-5.11
4_データによる選定企業	916	18.48	11.13	-7.35
5_推薦による選定企業	1,027	13.14	11.55	-1.58
6_牽引事業者	1,034	10.50	19.95	9.45

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

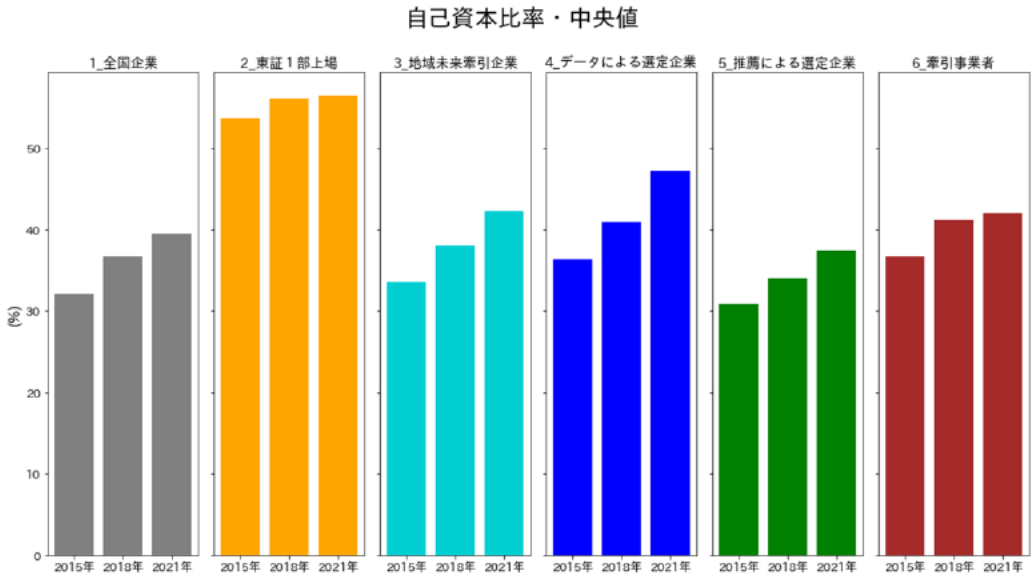
- 個社の変化率の平均に着目すると、牽引事業者のみ増加率が上昇しており、2018年~2021年にかけて最も拡大している
- 合計の変化率に着目すると、地域未来牽引企業を除く企業群において、増加率が連続的に伸びていることが分かる

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.11：自己資本比率【中央値】

企業群間の比較



単位： 自己資本比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	49,847	32.06	36.71	39.46
2_東証一部上場	1,412	53.68	56.11	56.47
3_地域未来牽引企業	1,894	33.53	37.97	42.29
4_データによる選定企業	912	36.26	40.95	47.21
5_推薦による選定企業	982	30.84	34.03	37.45
6_牽引事業者	989	36.69	41.13	42.00

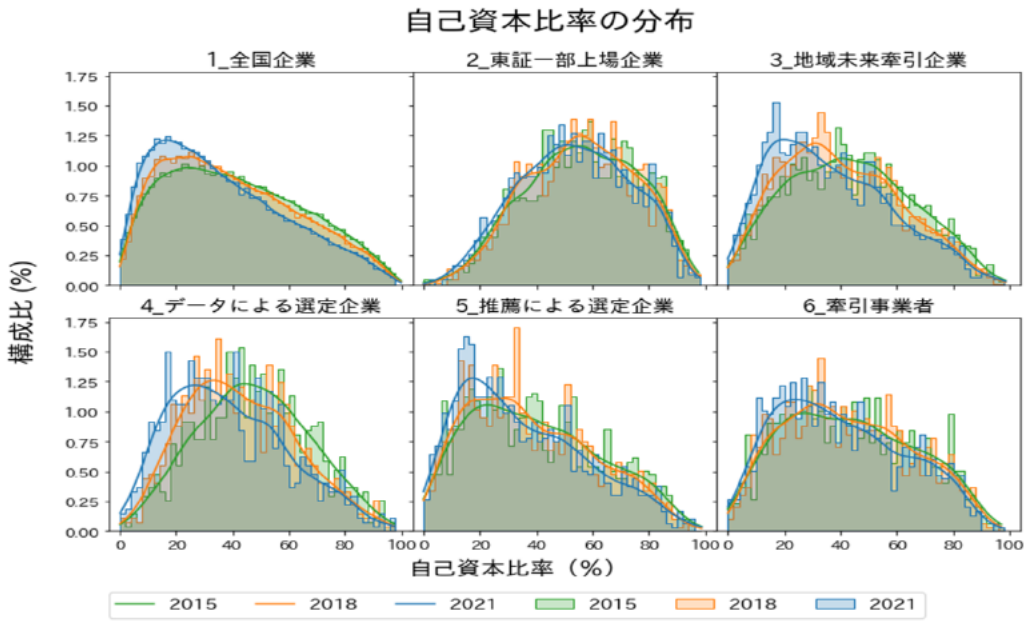
【分析コメント】

- [定義]自己資本比率 = 自己資本額 / 総資産額
- 自己資本比率の中央値で見ると、東証一部上場企業が最も高く、その自己資本比率は50~60%で増加傾向にある
- 全ての企業群において、3時点で連続的に増加している

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.11：自己資本比率【ヒストグラム】



単位： 自己資本比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	49,847	32.06	36.71	39.46
2_東証一部上場	1,412	53.68	56.11	56.47
3_地域未来牽引企業	1,894	33.53	37.97	42.29
4_データによる選定企業	912	36.26	40.95	47.21
5_推薦による選定企業	982	30.84	34.03	37.45
6_牽引事業者	989	36.69	41.13	42.00

【分析コメント】

- 東証一部上場企業の自己資本比率のヒストグラムは、他の企業群と比較して山が右に寄っておいる
- 東証一部上場企業を除く企業群において、ヒストグラムの山が年々右に寄っており、自己資本比率が減少している企業が多いことが分かる

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.11：自己資本比率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	49,847	80.97	28.36	-52.61
2_東証一部上場	1,412	8.93	2.77	-6.16
3_地域未来牽引企業	1,894	77.57	17.54	-60.03
4_データによる選定企業	912	24.68	18.88	-5.81
5_推薦による選定企業	982	126.68	16.30	-110.38
6_牽引事業者	989	121.69	10.86	-110.83

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	49,847	10.08	4.77	-5.31
2_東証一部上場	1,412	3.78	0.76	-3.02
3_地域未来牽引企業	1,894	9.12	7.91	-1.21
4_データによる選定企業	912	10.60	11.02	0.42
5_推薦による選定企業	982	7.61	4.64	-2.97
6_牽引事業者	989	6.56	1.60	-4.96

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

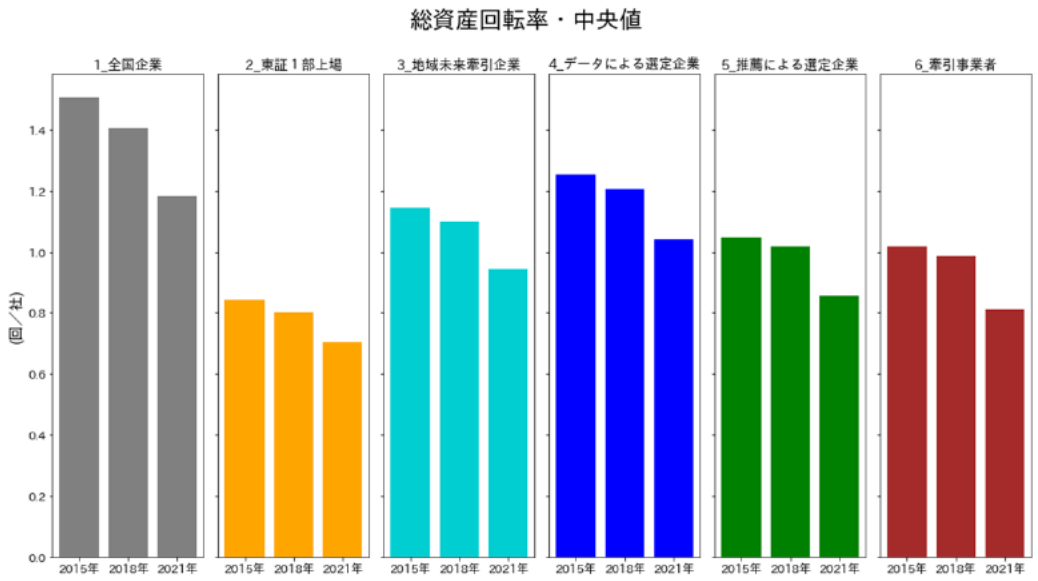
- 個社の変化率の平均を見ると、東証一部上場企業とデータによる選定企業においては、差分が小さく安定している
- 合計の変化率を見ると、データによる選定企業のみ増加傾向が加速している

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.12：総資産回転率【中央値】

企業群間の比較



単位： 総資産回転率の中央値[回]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	57,215	1.51	1.41	1.18
2_東証一部上場	1,416	0.84	0.80	0.71
3_地域未来牽引企業	1,943	1.14	1.10	0.94
4_データによる選定企業	916	1.25	1.21	1.04
5_推薦による選定企業	1,027	1.05	1.02	0.85
6_牽引事業者	1,034	1.02	0.99	0.81

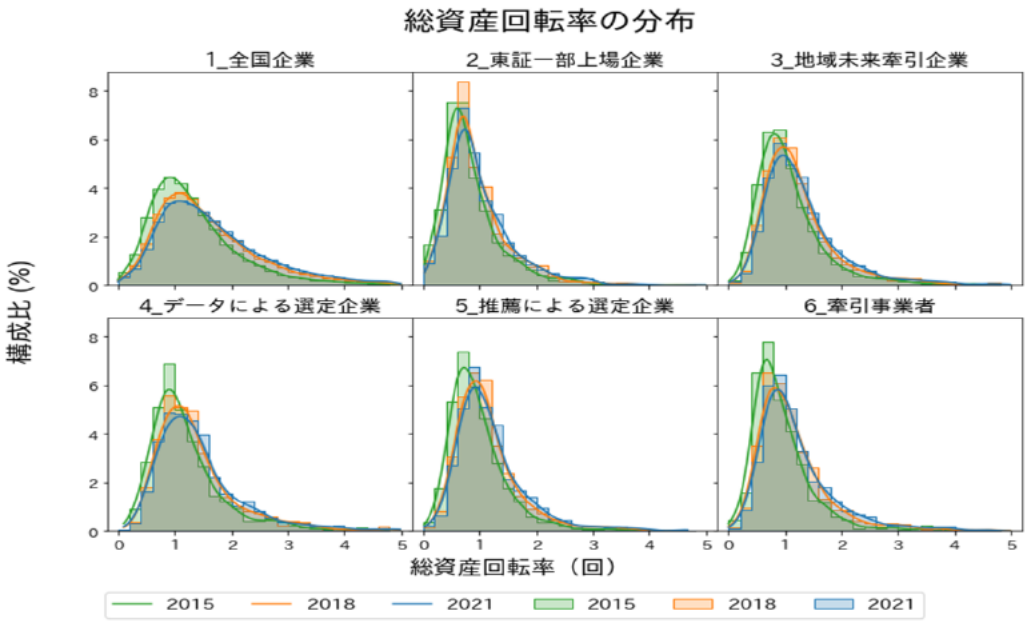
【分析コメント】

- [定義]総資産回転率 = 営業収益 / 総資産額
- 中央値で見ると、全ての企業群において2015年~2021年にかけて継続的に総資産回転率は減少している
- 東証一部上場企業の総資産回転率が1.0を下回っている理由としては、分母となる総資産額の規模が非常に大きいためである

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.12：総資産回転率【ヒストグラム】



単位： 総資産回転率の中央値[回]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	57,215	1.51	1.41	1.18
2_東証一部上場	1,416	0.84	0.80	0.71
3_地域未来牽引企業	1,943	1.14	1.10	0.94
4_データによる選定企業	916	1.25	1.21	1.04
5_推薦による選定企業	1,027	1.05	1.02	0.85
6_牽引事業者	1,034	1.02	0.99	0.81

【分析コメント】

- 全国企業では規模の小さな企業が多いため、回転率が2.0を上回るようなケースが多く存在する
- ヒストグラムを見ると、全ての企業群で1.0あたりに山ができており、特に地域未来牽引企業と牽引事業者で大きな違いはない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.12：総資産回転率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	57,215	13.66	64.72	51.07
2_東証一部上場	1,416	-0.71	-9.28	-8.57
3_地域未来牽引企業	1,943	-1.54	-11.87	-10.34
4_データによる選定企業	916	-1.85	-10.68	-8.83
5_推薦による選定企業	1,027	-1.26	-12.94	-11.68
6_牽引事業者	1,034	51.16	-14.79	-65.95

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	57,215	-7.64	-16.09	-8.45
2_東証一部上場	1,416	-5.83	-12.19	-6.36
3_地域未来牽引企業	1,943	-5.47	-13.50	-8.03
4_データによる選定企業	916	-5.18	-12.11	-6.93
5_推薦による選定企業	1,027	-5.78	-15.00	-9.22
6_牽引事業者	1,034	-3.81	-18.54	-14.73

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

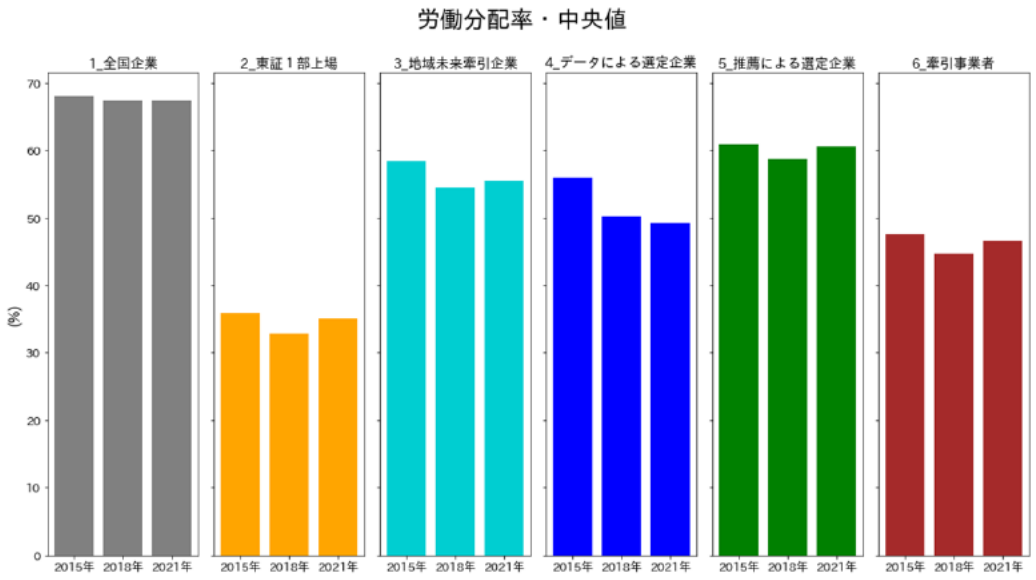
【分析コメント】

- 個社の変化率の平均で見ると、全国企業は増加、牽引事業者は減少と大きく値が動いている
- 合計の変化率で見ると、全ての企業群において減少が加速しており、特に牽引事業者においては差分が-14.73ポイントと最も大きい

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.13：労働分配率【中央値】



単位： 労働分配率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	44,406	68.08	67.28	67.29
2_東証一部上場	1,353	35.89	32.91	35.08
3_地域未来牽引企業	1,365	58.34	54.44	55.46
4_データによる選定企業	625	55.95	50.19	49.22
5_推薦による選定企業	740	60.95	58.75	60.62
6_牽引事業者	747	47.58	44.70	46.56

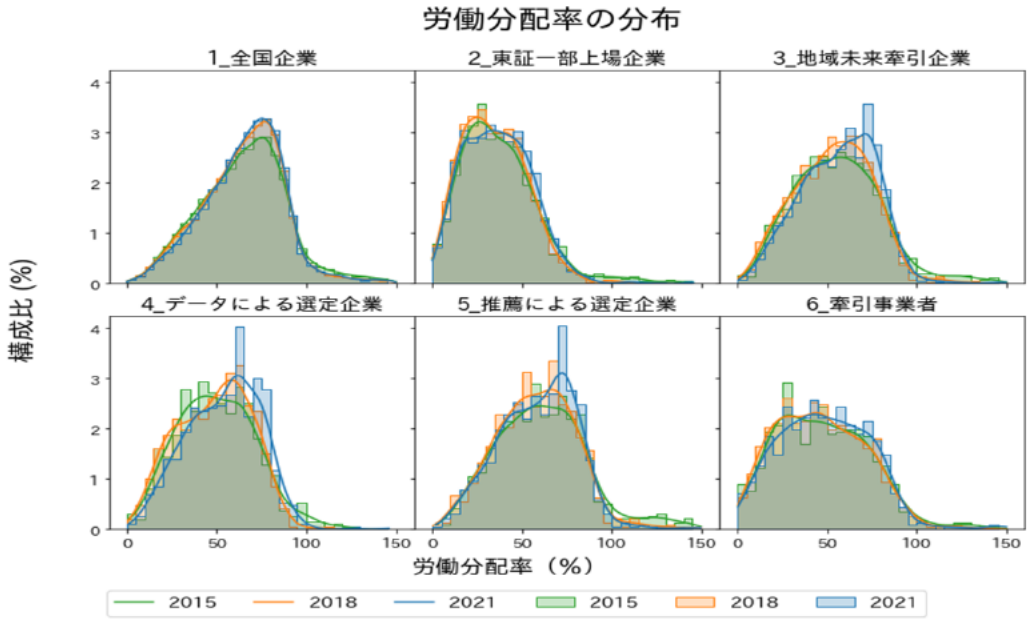
【分析コメント】

- [定義]労働分配率 =（人件費 / 付加価値額）×100
- 労働分配率が最も高い企業群は全国企業であり、次いで推薦による選定企業であった
- 東証一部上場企業の労働分配率が他の企業群よりも低水準であるのは、定義式の分母となる付加価値額が非常に大きいためと考えられる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.13：労働分配率【ヒストグラム】



単位： 労働分配率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	44,406	68.08	67.28	67.29
2_東証一部上場	1,353	35.89	32.91	35.08
3_地域未来牽引企業	1,365	58.34	54.44	55.46
4_データによる選定企業	625	55.95	50.19	49.22
5_推薦による選定企業	740	60.95	58.75	60.62
6_牽引事業者	747	47.58	44.70	46.56

【分析コメント】

- 東証一部上場企業は、付加価値額が他の企業群と比較して相対的に大きいために、指標として水準が低くなり、ヒストグラムとしては左側に山ができている
- 牽引事業者においては、他の企業群と比較して台形に近いヒストグラムをしており、広く分布していることがわかる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.13：労働分配率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	44,406	20.23	38.93	18.70
2_東証一部上場	1,353	0.84	285.95	285.11
3_地域未来牽引企業	1,365	2.34	51.99	49.65
4_データによる選定企業	625	-6.57	18.90	25.47
5_推薦による選定企業	740	9.87	79.93	70.07
6_牽引事業者	747	4.38	35.11	30.74

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	44,406	2.17	12.92	10.75
2_東証一部上場	1,353	-4.85	358.39	363.24
3_地域未来牽引企業	1,365	-3.63	49.44	53.07
4_データによる選定企業	625	-9.44	12.06	21.50
5_推薦による選定企業	740	0.73	74.68	73.95
6_牽引事業者	747	-9.81	35.83	45.64

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

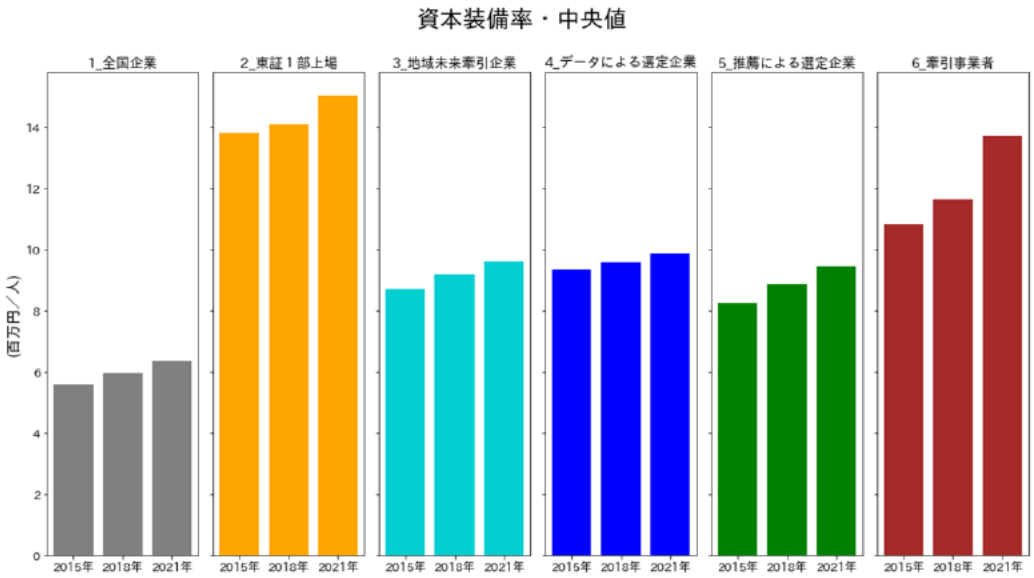
【分析コメント】

- 付加価値額の算出には利益の情報を用いているため、営業利益と同様に時系列で見たときにブレが大きくなる傾向にあり、単純平均については頑健な指標とは言い難い
- 合計の変化率を見ると、2018年~2021年にかけて全ての企業群で増加している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.14：資本装備率【中央値】



単位： 資本装備率の中央値[百万円/人]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	54,344	5.58	5.95	6.34
2_東証一部上場	1,410	13.78	14.07	15.02
3_地域未来牽引企業	1,938	8.69	9.19	9.61
4_データによる選定企業	915	9.35	9.55	9.86
5_推薦による選定企業	1,023	8.24	8.85	9.45
6_牽引事業者	1,029	10.84	11.63	13.69

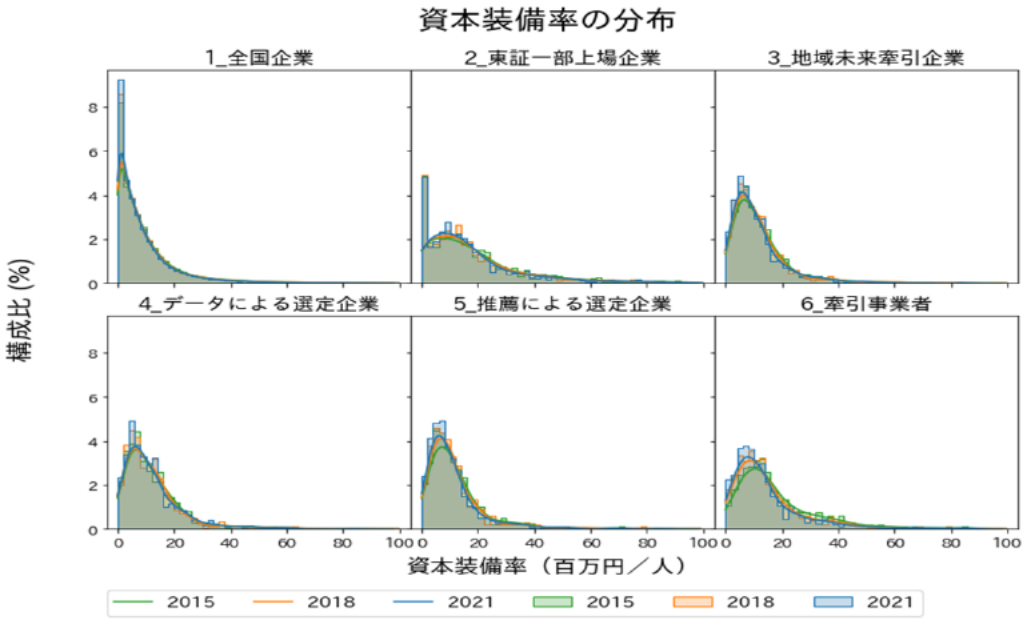
【分析コメント】

- [定義]資本装備率 = 資本ストック / 従業員数
- 資本装備率の中央値を見ると、全ての企業群において連続して増加している
- 特に東証一部上場企業においては、全国企業のおよそ2~3倍である

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.14：資本装備率【ヒストグラム】



単位： 資本装備率の中央値[百万円/人]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	54,344	5.58	5.95	6.34
2_東証一部上場	1,410	13.78	14.07	15.02
3_地域未来牽引企業	1,938	8.69	9.19	9.61
4_データによる選定企業	915	9.35	9.55	9.86
5_推薦による選定企業	1,023	8.24	8.85	9.45
6_牽引事業者	1,029	10.84	11.63	13.69

【分析コメント】

- 全国企業には中小企業が多く含まれていることもあり、従業員一人当たりの有形固定資産が1,000万円に満たないケースが大半である
- 地域未来牽引企業の中でも、データによる選定企業と推薦による選定企業のヒストグラムに大きな差はない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.14：資本装備率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	54,344	911.20	180.61	-730.58
2_東証一部上場	1,410	25.18	17.75	-7.43
3_地域未来牽引企業	1,938	24.84	28.66	3.82
4_データによる選定企業	915	27.95	13.80	-14.15
5_推薦による選定企業	1,023	22.06	41.95	19.89
6_牽引事業者	1,029	25.53	64.82	39.29

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	54,344	3.95	12.86	8.91
2_東証一部上場	1,410	1.08	2.61	1.53
3_地域未来牽引企業	1,938	1.57	8.51	6.94
4_データによる選定企業	915	-0.38	5.23	5.61
5_推薦による選定企業	1,023	3.59	11.79	8.20
6_牽引事業者	1,029	2.72	19.75	17.03

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

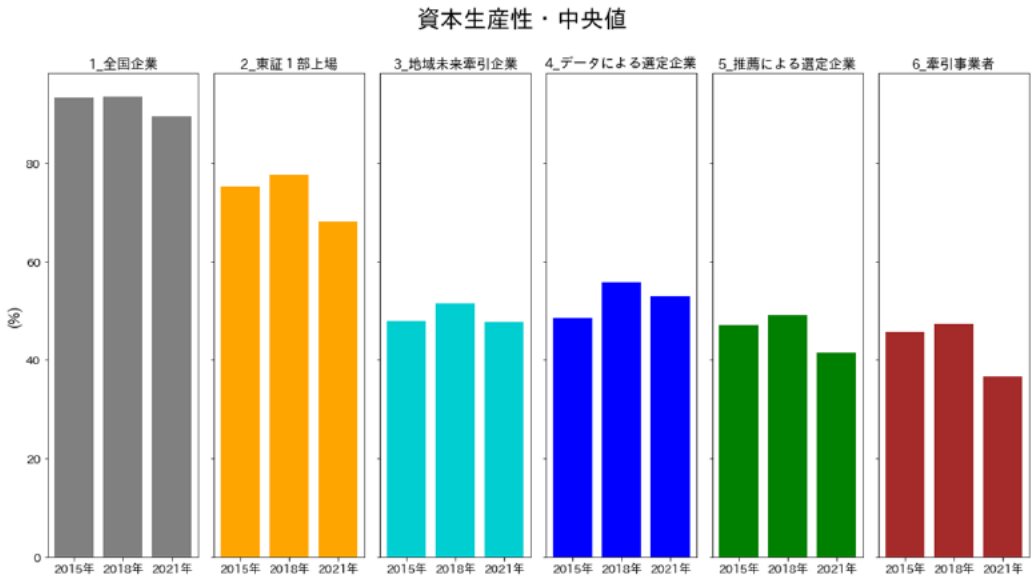
- 個社の変化率の平均で見ると、推薦による選定企業の増加率が高い
- 合計の変化率で見ると、データによる選定企業が2015年~2018年で減少しているのを除いて、全ての企業で増加傾向にある

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.15：資本生産性【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは、見やすさの観点から、全国及び東証一部上場を除く。

単位： 資本生産性の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	52,336	93.26	93.45	89.49
2_東証一部上場	1,380	75.08	77.61	68.06
3_地域未来牽引企業	1,851	47.79	51.52	47.64
4_データによる選定企業	897	48.52	55.66	52.80
5_推薦による選定企業	954	47.05	48.99	41.42
6_牽引事業者	978	45.76	47.30	36.55

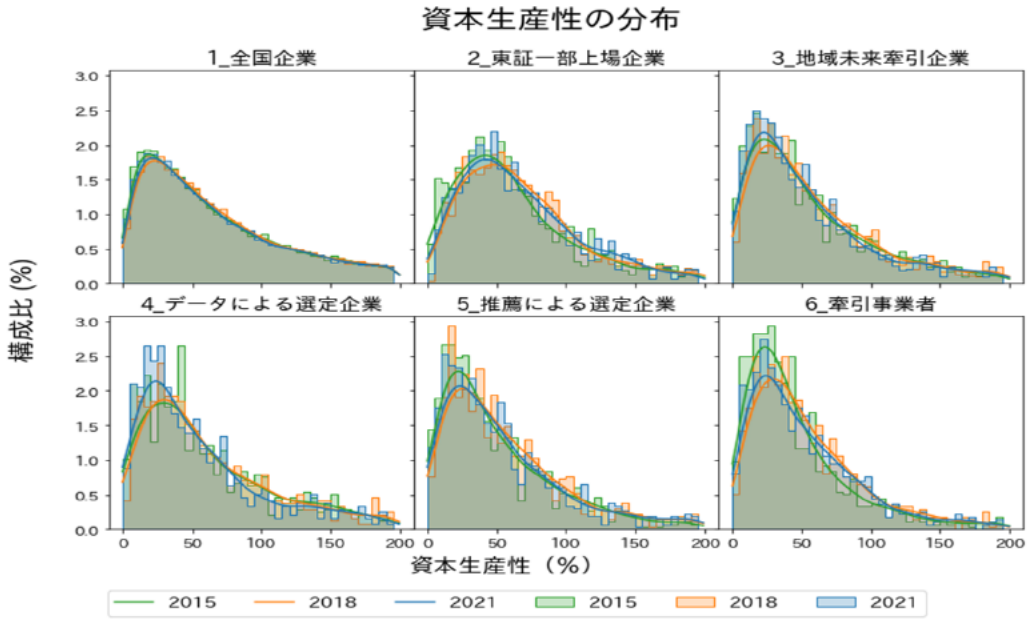
【分析コメント】

- [定義]資本生産性 = 付加価値額 / 資本ストック
- 資本生産性の中央値を見ると、全国企業が最も割合が高いが、これは全国企業には中小企業が多く含まれており、分母の資本ストック（有形固定資産）が小さいことが推察される
- 東証一部上場企業においても資本生産性は高く、全国企業に次いで2番目である

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.15：資本生産性【ヒストグラム】



単位： 資本生産性の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	52,336	93.26	93.45	89.49
2_東証一部上場	1,380	75.08	77.61	68.06
3_地域未来牽引企業	1,851	47.79	51.52	47.64
4_データによる選定企業	897	48.52	55.66	52.80
5_推薦による選定企業	954	47.05	48.99	41.42
6_牽引事業者	978	45.76	47.30	36.55

【分析コメント】

- 地域未来牽引企業と牽引事業者のヒストグラムはほとんど同じ形をしており、およそ50%前後に山があり、右に裾が長い分布となっている
- 全国企業においては、3時点での変化がほとんどない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.15：資本生産性【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	52,336	253.53	207.57	-45.97
2_東証一部上場	1,380	31.05	37.54	6.50
3_地域未来牽引企業	1,851	62.38	26.90	-35.47
4_データによる選定企業	897	58.58	14.18	-44.40
5_推薦による選定企業	954	65.94	38.86	-27.08
6_牽引事業者	978	48.67	-0.79	-49.46

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	52,336	-17.84	14.97	32.81
2_東証一部上場	1,380	7.50	2.58	-4.92
3_地域未来牽引企業	1,851	3.75	28.90	25.15
4_データによる選定企業	897	4.09	-8.95	-13.04
5_推薦による選定企業	954	3.38	68.69	65.31
6_牽引事業者	978	-22.53	21.43	43.96

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

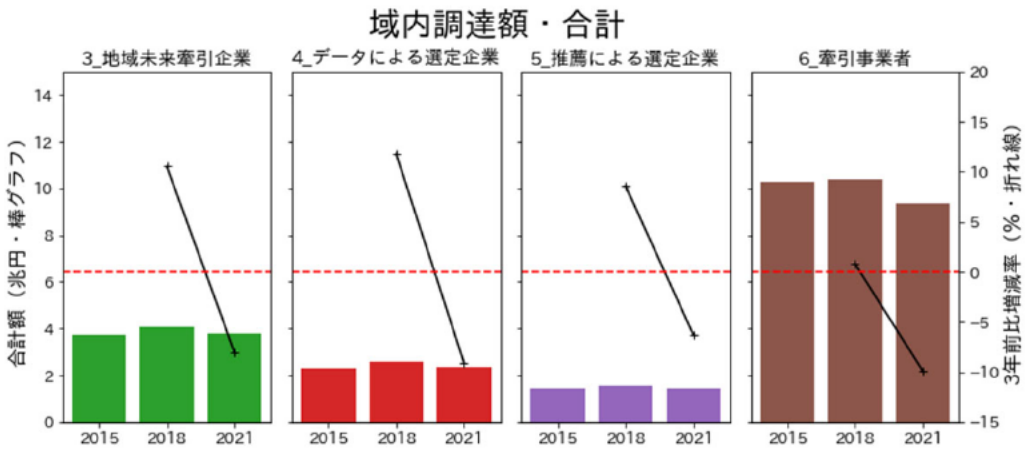
- 個社の変化率の平均を見ると、東証一部上場企業で資本生産性の増加率が加速しており、牽引事業者においては減少している
- 合計の変化率を見ると、東証一部上場企業とデータによる選定企業において2018年~2021年の変化率が減少している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.16：域内調達額【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域内調達額の合計[兆円]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	224,141	152.17	150.67 (-0.98%)	137.13 (-8.99%)
2_東証一部上場	1,630	44.95	41.81 (-6.99%)	36.96 (-11.59%)
3_地域未来牽引企業	3,892	3.71	4.10 (10.52%)	3.77 (-8.02%)
4_データによる選定企業	1,473	2.28	2.55 (11.76%)	2.32 (-9.07%)
5_推薦による選定企業	2,419	1.43	1.55 (8.54%)	1.45 (-6.30%)
6_牽引事業者	2,336	10.30	10.38 (0.77%)	9.35 (-9.92%)

【分析コメント】

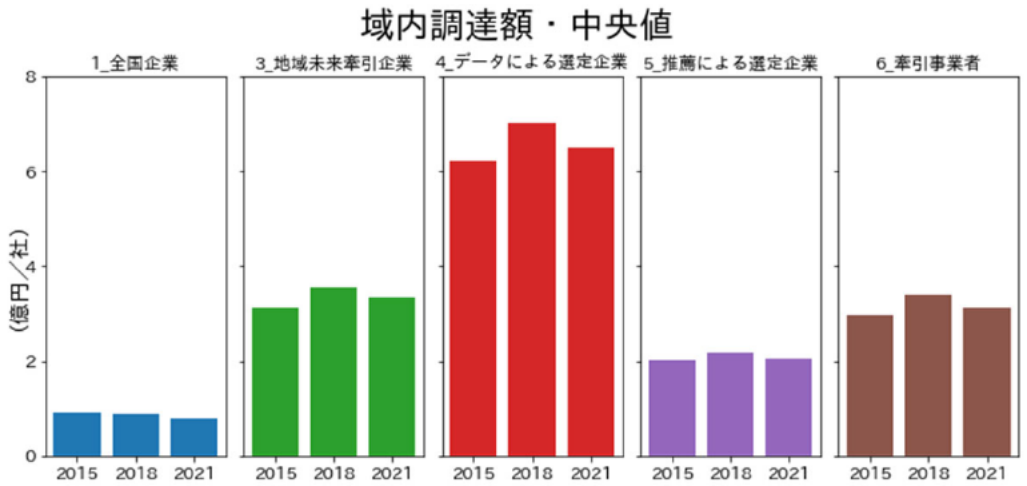
- 域内調達額において、2018年~2021年にかけて全ての企業群で減少しており、特に全国企業と東証一部上場企業では2015年~2018年から連続的に減少している
- 地域未来牽引企業の選定の際に、ハブ度を基準としていることもあり、推薦による選定企業よりもデータによる選定企業の方が、企業数が少ないにも関わらず域内調達額の規模が大きい（1.5倍程度）

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.16：域内調達額【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域内調達額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	224,141	0.91	0.88	0.79
2_東証一部上場	1,630	51.26	50.19	45.02
3_地域未来牽引企業	3,892	3.11	3.55	3.35
4_データによる選定企業	1,473	6.21	7.03	6.50
5_推薦による選定企業	2,419	2.01	2.16	2.04
6_牽引事業者	2,336	2.97	3.41	3.13

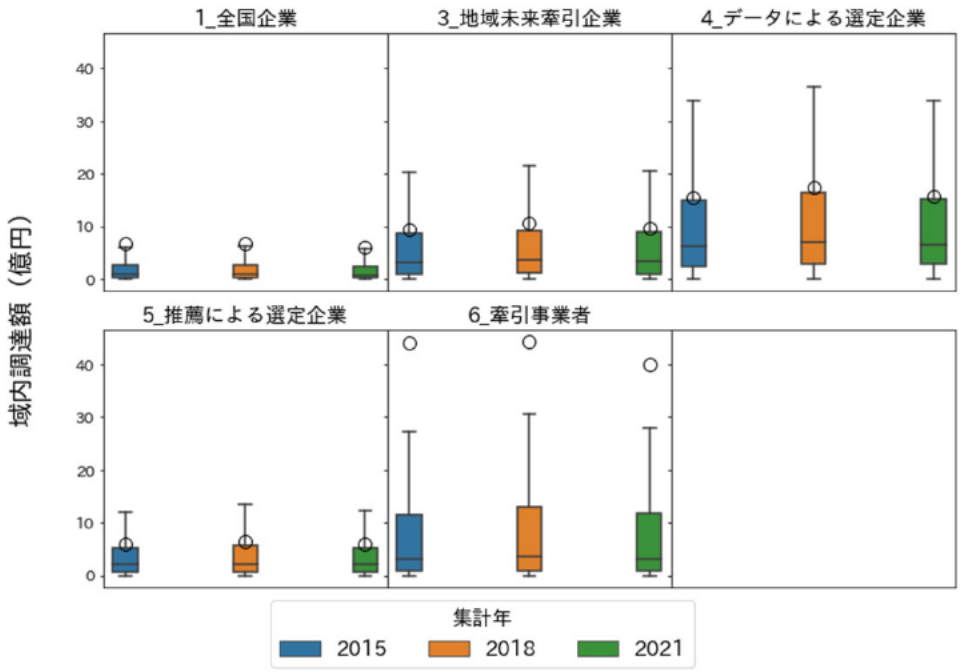
【分析コメント】

- 域内調達額の中央値においても、2018年~2021年にかけて全ての企業群で減少となっており、特に全国企業と東証一部上場企業では2021年の域内調達額が2015年の水準を下回っている
- 地域未来牽引企業の中では、データによる選定企業は推薦による選定企業のおよそ3倍以上の規模であることが分かる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.16：域内調達額【箱ひげ図】



※グラフでは、見やすさの観点から、東証一部上場を除く。
※外れ値は、見やすさの観点から割愛した。

単位：域内調達額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	224,141	0.91	0.88	0.79
2_東証一部上場	1,630	51.26	50.19	45.02
3_地域未来牽引企業	3,892	3.11	3.55	3.35
4_データによる選定企業	1,473	6.21	7.03	6.50
5_推薦による選定企業	2,419	2.01	2.16	2.04
6_牽引事業者	2,336	2.97	3.41	3.13

【分析コメント】

- 地域未来牽引企業においては箱の上部、全国企業と牽引事業者においてはひげの外側に平均が位置するため、いずれの企業群においても域内調達額に関しては一部の企業が大規模な域内調達を行なっていることが推察され、企業群間比較には中央値での比較が妥当である

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.16：域内調達額【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	224,141	329.43	339.41	9.98
2_東証一部上場	1,630	150.22	161.98	11.77
3_地域未来牽引企業	3,892	113.18	88.98	-24.20
4_データによる選定企業	1,473	106.75	24.60	-82.15
5_推薦による選定企業	2,419	117.09	128.18	11.09
6_牽引事業者	2,336	246.31	82.42	-163.89

（域内調達額合計の変化率・%）　**合計の**変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	224,141	-0.98	-8.99	-8.01
2_東証一部上場	1,630	-6.99	-11.59	-4.60
3_地域未来牽引企業	3,892	10.52	-8.02	-18.54
4_データによる選定企業	1,473	11.76	-9.07	-20.83
5_推薦による選定企業	2,419	8.54	-6.30	-14.83
6_牽引事業者	2,336	0.77	-9.92	-10.69

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

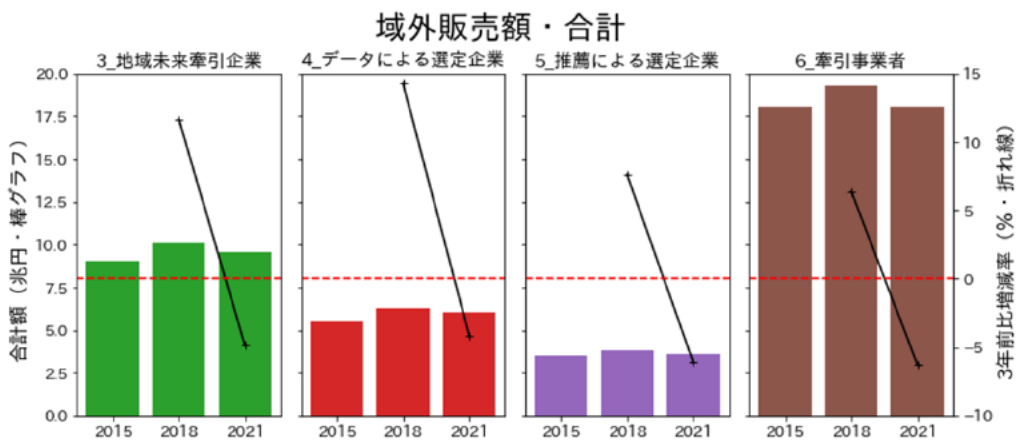
- 箱ひげ図からも分かるように、全ての企業群において外れ値的企業が存在することから、個社の変化率の単純平均は頑健な指標とは言えない
- 合計の変化率に着目すると、2018年~2021年にかけて全ての企業群で減少となっており、特に全国企業と東証一部上場企業は2015年~2018年から連続的に減少している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.17：域外販売額【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域外販売額の合計[兆円]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	158,562	198.69	205.34 (3.35%)	189.28 (-7.82%)
2_東証一部上場	1,561	60.88	61.91 (1.70%)	55.23 (-10.79%)
3_地域未来牽引企業	3,826	9.02	10.07 (11.66%)	9.58 (-4.89%)
4_データによる選定企業	1,449	5.48	6.26 (14.29%)	6.00 (-4.13%)
5_推薦による選定企業	2,377	3.54	3.81 (7.60%)	3.58 (-6.12%)
6_牽引事業者	2,265	18.10	19.26 (6.38%)	18.05 (-6.29%)

【分析コメント】

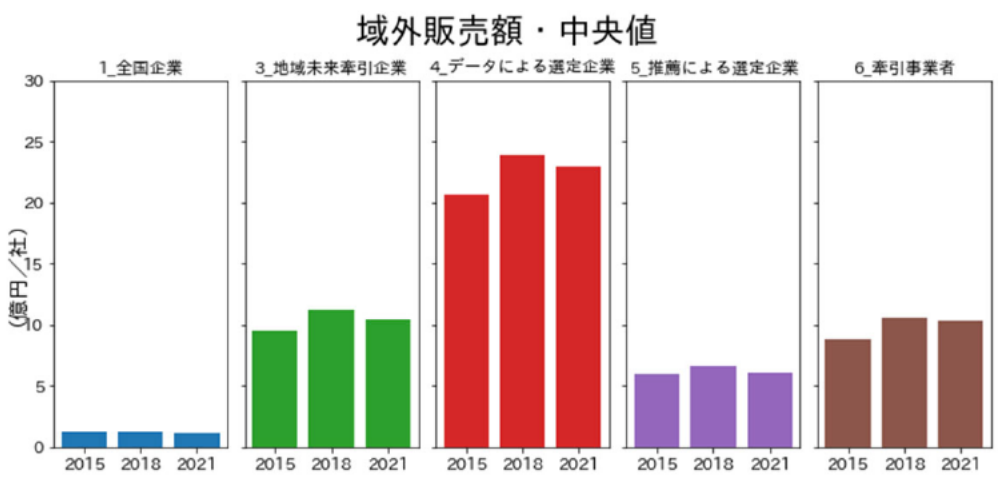
- 域外販売額において、2018年~2021年にかけて全ての企業群で減少しており、特に東証一部上場企業の減少幅が-10.79%と最も大きい
- 地域未来牽引企業の選定の際に、コネクター度を基準としていることもあり、推薦による選定企業よりもデータによる選定企業の方が、企業数が少ないにも関わらず域内調達額の規模が大きい（1.6倍程度）

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.17：域外販売額【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域外販売額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	158,562	1.23	1.19	1.10
2_東証一部上場	1,561	93.45	97.50	90.45
3_地域未来牽引企業	3,826	9.55	11.19	10.42
4_データによる選定企業	1,449	20.71	23.85	22.97
5_推薦による選定企業	2,377	5.91	6.69	6.09
6_牽引事業者	2,265	8.88	10.56	10.36

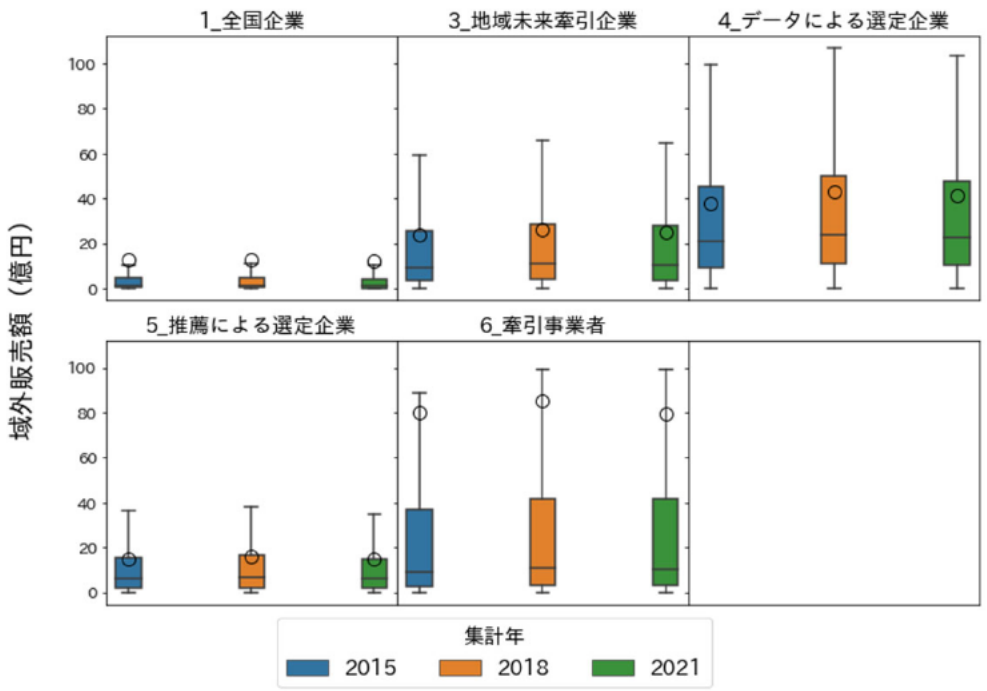
【分析コメント】

- 域外販売額の中央値では、東証一部上場企業が突出して大きく、次いでデータによる選定企業、牽引事業者が続く
- 時系列に見ると、全国企業では連続的に減少が続いており、2021年には1.10億円と6つの企業群の中で最も小さい

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.17：域外販売額【箱ひげ図】



※グラフでは、見やすさの観点から、東証一部上場を除く。
※外れ値は、見やすさの観点から割愛した。

単位：域外販売額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	158,562	1.23	1.19	1.10
2_東証一部上場	1,561	93.45	97.50	90.45
3_地域未来牽引企業	3,826	9.55	11.19	10.42
4_データによる選定企業	1,449	20.71	23.85	22.97
5_推薦による選定企業	2,377	5.91	6.69	6.09
6_牽引事業者	2,265	8.88	10.56	10.36

【分析コメント】

- データによる選定企業と牽引事業者は上側のひげが長く分散が大きいため、他の企業群と比較しても、域外販売を広く行なっている企業が存在すると推察される
- 東証一部上場企業が突出しているが、それを除くとデータによる選定企業、牽引事業者と続く

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.17：域外販売額【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	158,562	253.10	311.80	58.71
2_東証一部上場	1,561	95.64	280.32	184.68
3_地域未来牽引企業	3,826	59.81	31.80	-28.01
4_データによる選定企業	1,449	60.90	19.60	-41.30
5_推薦による選定企業	2,377	59.14	39.23	-19.91
6_牽引事業者	2,265	168.57	36.23	-132.34

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	158,562	3.35	-7.82	-11.17
2_東証一部上場	1,561	1.70	-10.79	-12.49
3_地域未来牽引企業	3,826	11.66	-4.89	-16.55
4_データによる選定企業	1,449	14.29	-4.13	-18.42
5_推薦による選定企業	2,377	7.60	-6.12	-13.72
6_牽引事業者	2,265	6.38	-6.29	-12.67

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

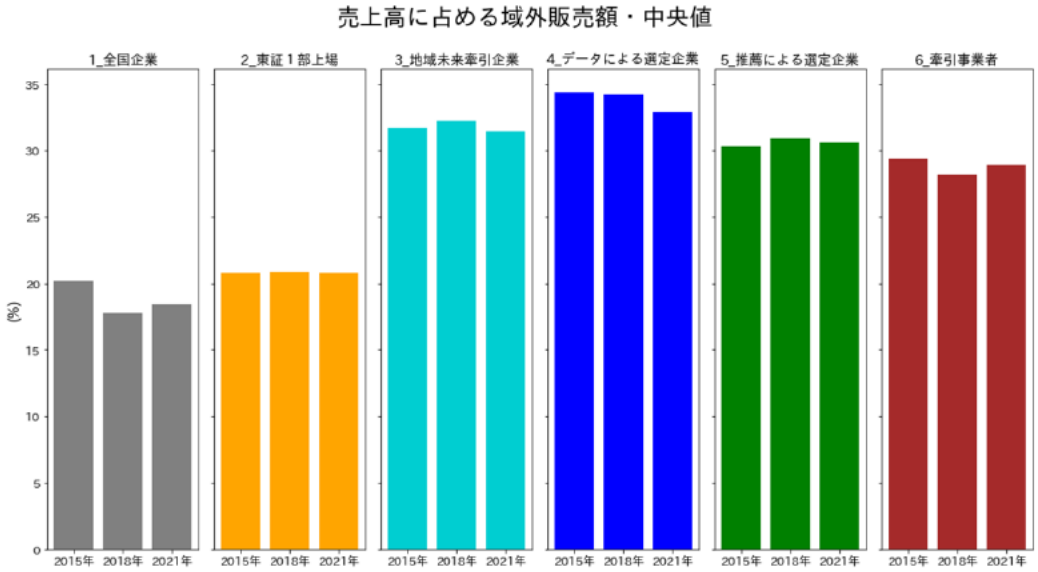
- 箱ひげ図からも分かるように、全ての企業群において外れ値的企業が存在することから、個社の変化率の単純平均は頑健な指標とは言えない
- 合計の変化率で見ると、2018年~2021年において全ての企業群で減少しているが、特にデータによる選定企業の増減幅が-18.42ポイントと最も大きい

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.18：売上高に占める域外販売額比率【中央値】

企業群間の比較



単位：売上高に占める域外販売額比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	118,242	20.20	17.75	18.45
2_東証一部上場	1,360	20.78	20.89	20.81
3_地域未来牽引企業	3,019	31.74	32.24	31.44
4_データによる選定企業	1,162	34.39	34.26	32.90
5_推薦による選定企業	1,857	30.33	30.88	30.60
6_牽引事業者	1,813	29.37	28.18	28.90

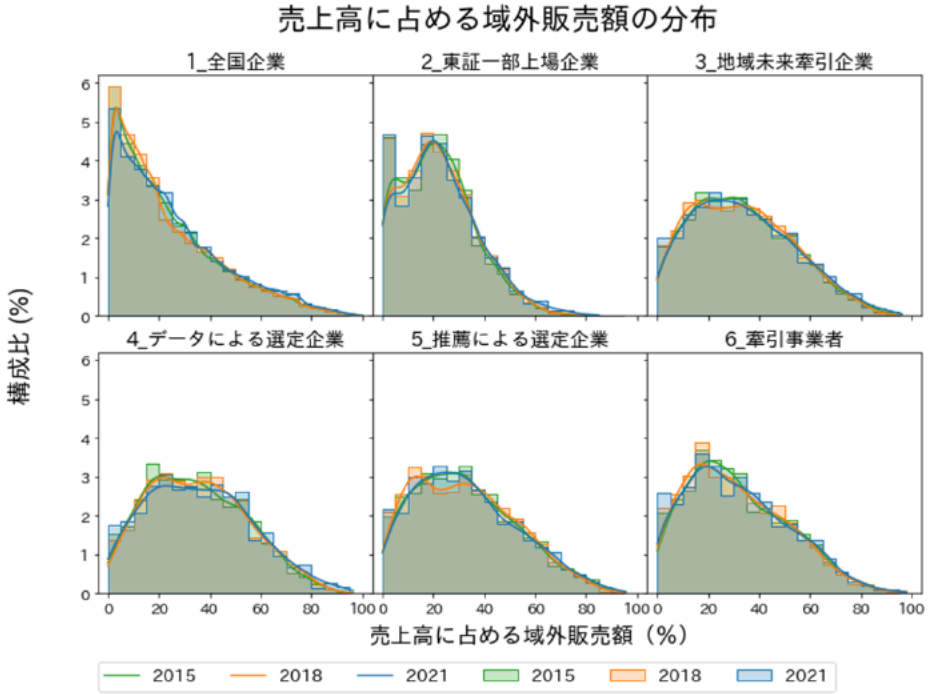
【分析コメント】

- 域外販売額の中央値は、全国企業と牽引事業者において2018年~2021年にかけて微増しており、その他企業群では微減している
- 特に東証一部上場企業では、変化がほとんどない

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.18：売上高に占める域外販売額比率【ヒストグラム】



単位：売上高に占める域外販売額比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	118,242	20.20	17.75	18.45
2_東証一部上場	1,360	20.78	20.89	20.81
3_地域未来牽引企業	3,019	31.74	32.24	31.44
4_データによる選定企業	1,162	34.39	34.26	32.90
5_推薦による選定企業	1,857	30.33	30.88	30.60
6_牽引事業者	1,813	29.37	28.18	28.90

【分析コメント】

- 全国企業のヒストグラムは、その他企業群と比較して左側に大きく偏っており、売上高に対して域外販売額が20%以下の企業が特に多いことが分かる
- 推薦による選定企業において、2015年~2018年にかけて山が2つに分類しつつあったが、2018年~2021年にかけては2015年時点と同じ山が1つの形に戻っている

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.18：売上高に占める域外販売額比率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	118,242	192.44	274.11	81.68
2_東証一部上場	1,360	35.19	30.38	-4.82
3_地域未来牽引企業	3,019	32.70	25.49	-7.21
4_データによる選定企業	1,162	30.34	20.83	-9.50
5_推薦による選定企業	1,857	34.18	28.41	-5.77
6_牽引事業者	1,813	121.06	27.11	-93.95

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	118,242	-6.38	0.64	7.02
2_東証一部上場	1,360	-2.97	-1.33	1.64
3_地域未来牽引企業	3,019	-1.61	-0.05	1.56
4_データによる選定企業	1,162	-1.80	-1.74	0.06
5_推薦による選定企業	1,857	-1.47	1.10	2.57
6_牽引事業者	1,813	-1.42	1.75	3.17

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

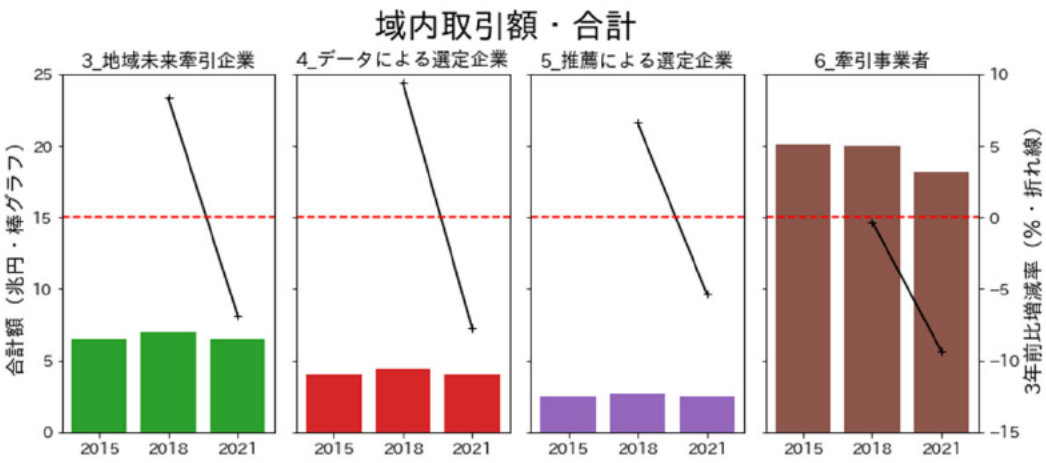
- 個社の単純平均については、全国企業は他の企業群と比較して売上高が小さい値を取りやすいため、結果として変化率が大きな値を取りやすい傾向にある
- 合計の変化率を見ると、東証一部上場企業とデータによる選定企業においては2018年~2021年にかけても連続的に減少している

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.19：域内取引額【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域内取引額の合計[兆円]、 3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	322,419	307.80	306.80 (-0.32%)	278.48 (-9.23%)
2_東証一部上場	1,656	87.28	82.34 (-5.66%)	72.53 (-11.91%)
3_地域未来牽引企業	4,071	6.47	7.01 (8.32%)	6.53 (-6.87%)
4_データによる選定企業	1,483	4.01	4.39 (9.38%)	4.05 (-7.78%)
5_推薦による選定企業	2,588	2.46	2.62 (6.58%)	2.48 (-5.36%)
6_牽引事業者	2,520	20.07	20.01 (-0.32%)	18.14 (-9.37%)

【分析コメント】

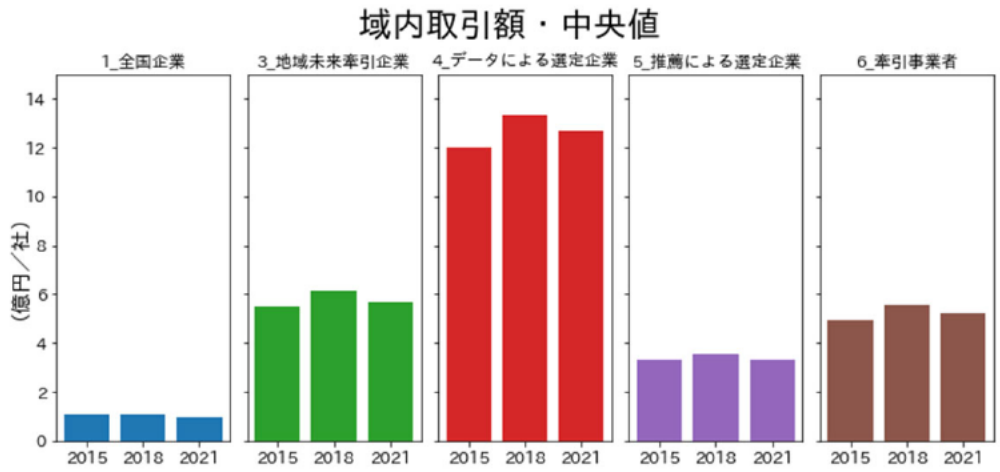
- 域内取引額では、地域未来牽引企業のみ2015年~2018年にかけて増加しており、2018年~2021年においても減少幅が他の企業群よりも小さい
- 地域未来牽引企業の中では、推薦による選定企業よりもデータによる選定企業の方が、企業数が少ないにも関わらず域内調達額の規模が大きい（1.6倍程度）

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.19：域内取引額【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域内取引額の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	322,419	1.11	1.07	0.94
2_東証一部上場	1,656	97.52	101.07	90.86
3_地域未来牽引企業	4,071	5.48	6.15	5.69
4_データによる選定企業	1,483	12.03	13.32	12.67
5_推薦による選定企業	2,588	3.34	3.56	3.34
6_牽引事業者	2,520	4.95	5.56	5.24

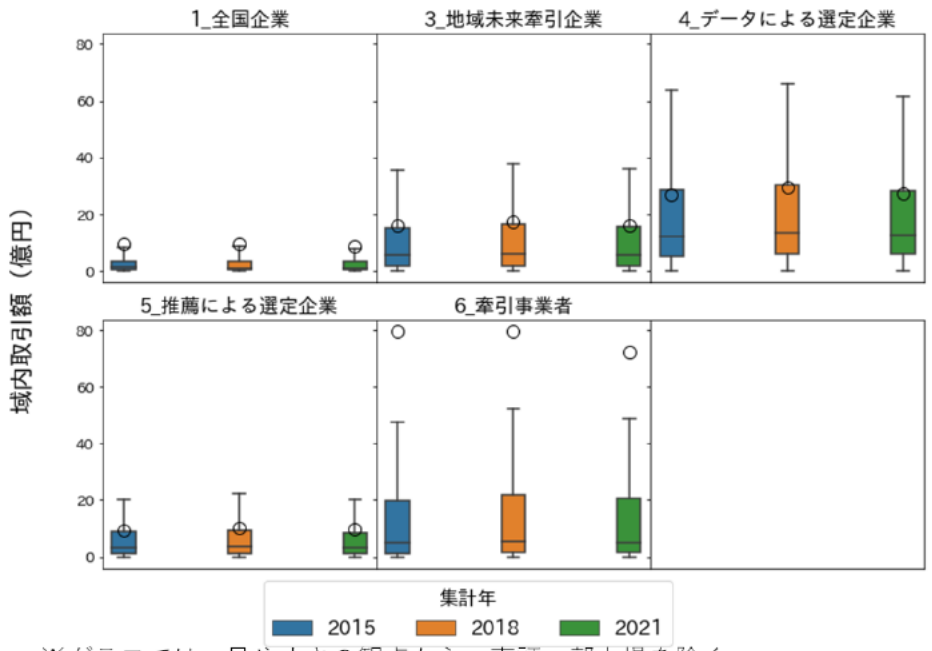
【分析コメント】

- 東証一部上場企業は2015年~2018年にかけて、域内取引額の合計値では減少していたが、中央値では増加していることが分かる
- 中央値で見ると、東証一部上場企業が突出して大きく、次いでデータによる選定企業が推薦による選定企業のおよそ3.8倍、牽引事業者のおよそ2.4倍である

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.19：域内取引額【箱ひげ図】



※グラフでは、見やすさの観点から、東証一部上場を除く。

単位：域内取引額の 中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	322,419	1.11	1.07	0.94
2_東証一部上場	1,656	97.52	101.07	90.86
3_地域未来牽引企業	4,071	5.48	6.15	5.69
4_データによる選定企業	1,483	12.03	13.32	12.67
5_推薦による選定企業	2,588	3.34	3.56	3.34
6_牽引事業者	2,520	4.95	5.56	5.24

【分析コメント】

- 全ての企業群において、箱やひげの上部に平均値が位置していることから、一部の企業が大きな域内取引を行なっていることが推察される
- データによる選定企業と牽引事業者は上側のひげが長く分散が大きいため、他の企業群と比較しても、特に大きな域内取引を行なっている企業が存在する

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.19：域内取引額【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	322,419	360.25	263.99	-96.26
2_東証一部上場	1,656	904.58	264.41	-640.18
3_地域未来牽引企業	4,071	123.26	175.94	52.68
4_データによる選定企業	1,483	73.66	10.62	-63.04
5_推薦による選定企業	2,588	151.68	270.68	119.00
6_牽引事業者	2,520	188.79	257.43	68.63

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	322,419	-0.32	-9.23	-8.91
2_東証一部上場	1,656	-5.66	-11.91	-6.25
3_地域未来牽引企業	4,071	8.32	-6.87	-15.19
4_データによる選定企業	1,483	9.38	-7.78	-17.16
5_推薦による選定企業	2,588	6.58	-5.36	-11.94
6_牽引事業者	2,520	-0.32	-9.37	-9.04

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

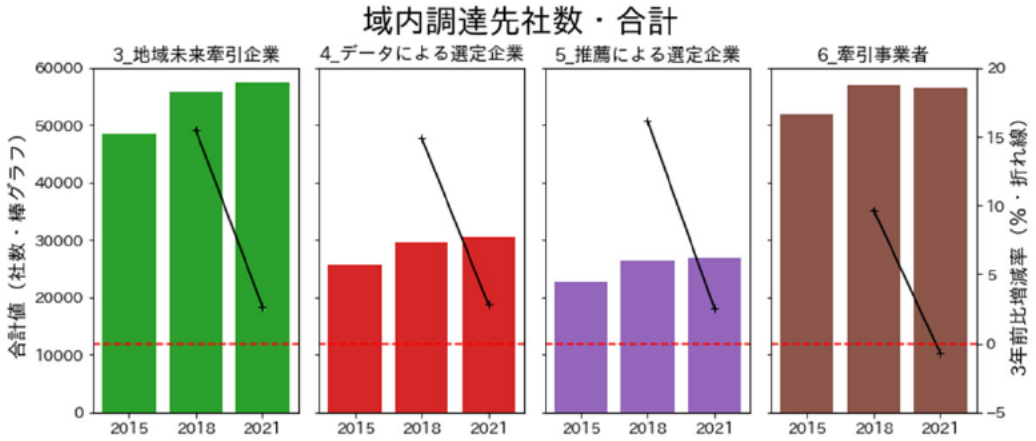
- 箱ひげ図からも分かるように、全ての企業群において外れ値的企業が存在することから、個社の変化率の単純平均は頑健な指標とは言えない
- 合計の変化率を見ると、地域未来牽引企業の増減幅が他の企業群と比較して大きく、特にデータによる選定企業は-17.16ポイントと最も大きい

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1、信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.20：域内調達先社数【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域内調達先社数の合計[社]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	241,170	1,415,264	1,595,264 (12.72%)	1,596,486 (0.08%)
2_東証一部上場	1,640	136,899	144,166 (5.31%)	139,423 (-3.29%)
3_地域未来牽引企業	3,974	48,373	55,866 (15.49%)	57,367 (2.69%)
4_データによる選定企業	1,493	25,745	29,585 (14.92%)	30,418 (2.82%)
5_推薦による選定企業	2,481	22,628	26,281 (16.14%)	26,949 (2.54%)
6_牽引事業者	2,395	51,988	57,017 (9.67%)	56,604 (-0.72%)

【分析コメント】

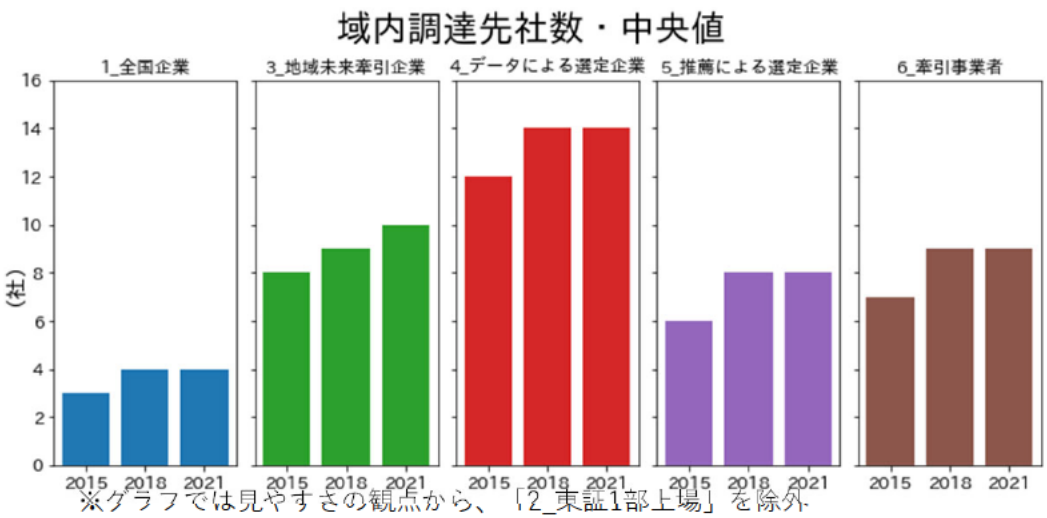
- 全国企業と地域未来牽引企業は域内からの調達先社数を増加させているが、一方で東証一部上場企業と牽引事業者は2018年~2021年にかけて減少している
- 地域未来牽引企業においては、3時点において連続的に増加しているものの、2018年~2021年において増加率は鈍化している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.20：域内調達先社数【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域内調達先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	241,170	3	4	4
2_東証一部上場	1,640	37	41	39
3_地域未来牽引企業	3,974	8	9	10
4_データによる選定企業	1,493	12	14	14
5_推薦による選定企業	2,481	6	8	8
6_牽引事業者	2,395	7	9	9

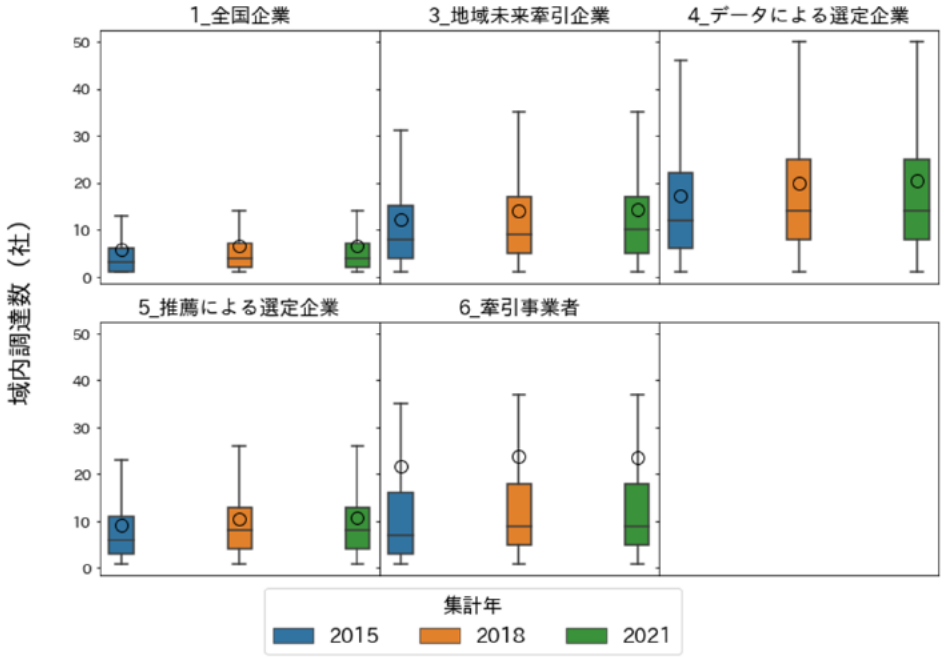
【分析コメント】

- 域内調達先社数の中央値で見ると、全ての企業群において2015年~2018年にかけて域内調達先社数は増加していたが、2018年~2021年にかけて横ばい、または減少している
- 東証一部上場企業が突出して多く、次いでデータによる選定企業、牽引事業者が続く

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.20：域内調達先社数【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：域内調達先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	241,170	3	4	4
2_東証一部上場	1,640	37	41	39
3_地域未来牽引企業	3,974	8	9	10
4_データによる選定企業	1,493	12	14	14
5_推薦による選定企業	2,481	6	8	8
6_牽引事業者	2,395	7	9	9

【分析コメント】

- 東証一部上場企業において、2015年~2018年にかけて増加しているが、2018年~2021年にかけて減少している
- その他企業群においてはほとんど変化がない

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.20：域内調達先社数【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	241,170	40.72	20.69	-20.03
2_東証一部上場	1,640	17.25	1.86	-15.39
3_地域未来牽引企業	3,974	34.69	10.73	-23.96
4_データによる選定企業	1,493	32.34	6.60	-25.74
5_推薦による選定企業	2,481	36.11	13.22	-22.89
6_牽引事業者	2,395	37.75	11.93	-25.82

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	241,170	12.72	0.08	-12.64
2_東証一部上場	1,640	5.31	-3.29	-8.60
3_地域未来牽引企業	3,974	15.49	2.69	-12.80
4_データによる選定企業	1,493	14.92	2.82	-12.10
5_推薦による選定企業	2,481	16.14	2.54	-13.60
6_牽引事業者	2,395	9.67	-0.72	-10.40

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

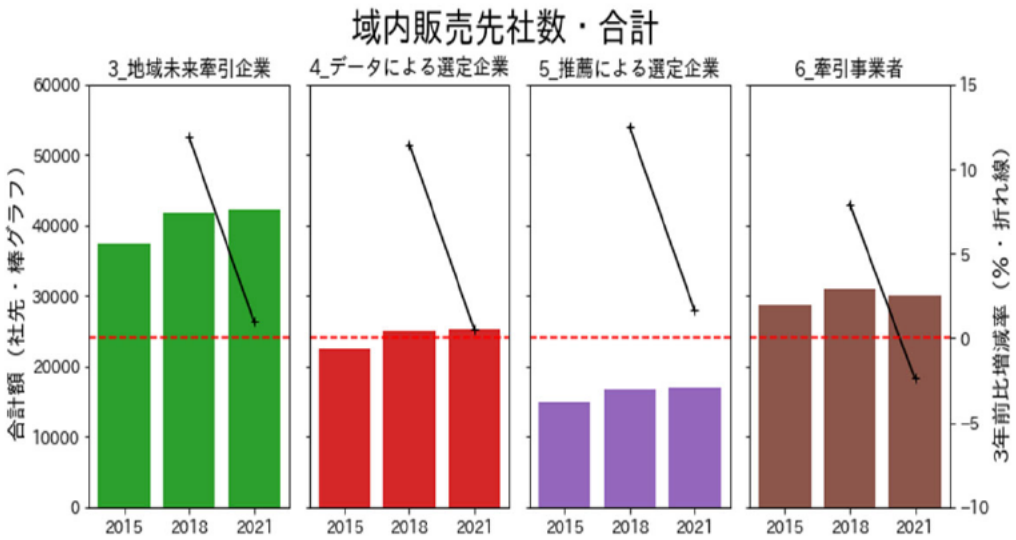
- 個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも2018年以降の成長幅が縮小している
- 企業群の中で、地域未来牽引企業がデータによる選定企業と推薦による選定企業のいずれにおいても、個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも大きく拡大している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.21：域内販売先社数【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域内販売先社数の合計[社]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	244,509	1,499,237	1,674,224 (11.67%)	1,667,159 (-0.42%)
2_東証一部上場	1,562	66,090	68,777 (4.07%)	65,945 (-4.12%)
3_地域未来牽引企業	3,474	37,438	41,885 (11.88%)	42,283 (0.95%)
4_データによる選定企業	1,347	22,527	25,114 (11.48%)	25,238 (0.49%)
5_推薦による選定企業	2,127	14,911	16,771 (12.47%)	17,045 (1.63%)
6_牽引事業者	2,148	28,628	30,896 (7.92%)	30,157 (-2.39%)

【分析コメント】

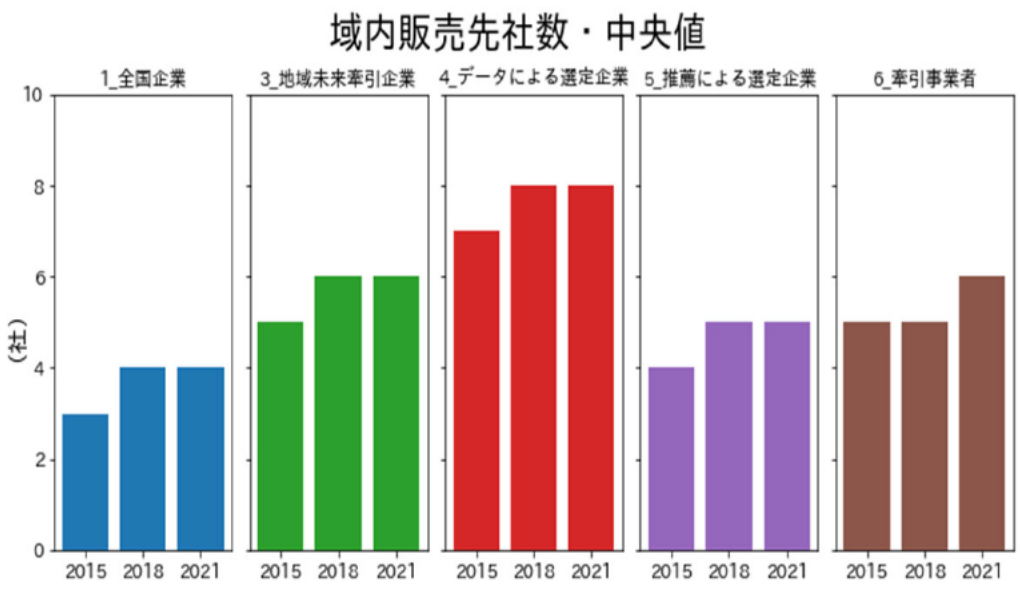
- 域内販売先社数において、地域未来牽引企業のみ2018年~2021年にかけて増加しているが、その増加率は鈍化している
- 東証一部上場企業のみ、域内販売先社数が2021年で65,980社と2015年の水準を下回っていることが分かる

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.21：域内販売先社数【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域内販売先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	244,509	3	4	4
2_東証一部上場	1,562	21	23	22
3_地域未来牽引企業	3,474	5	6	6
4_データによる選定企業	1,347	7	8	8
5_推薦による選定企業	2,127	4	5	5
6_牽引事業者	2,148	5	5	6

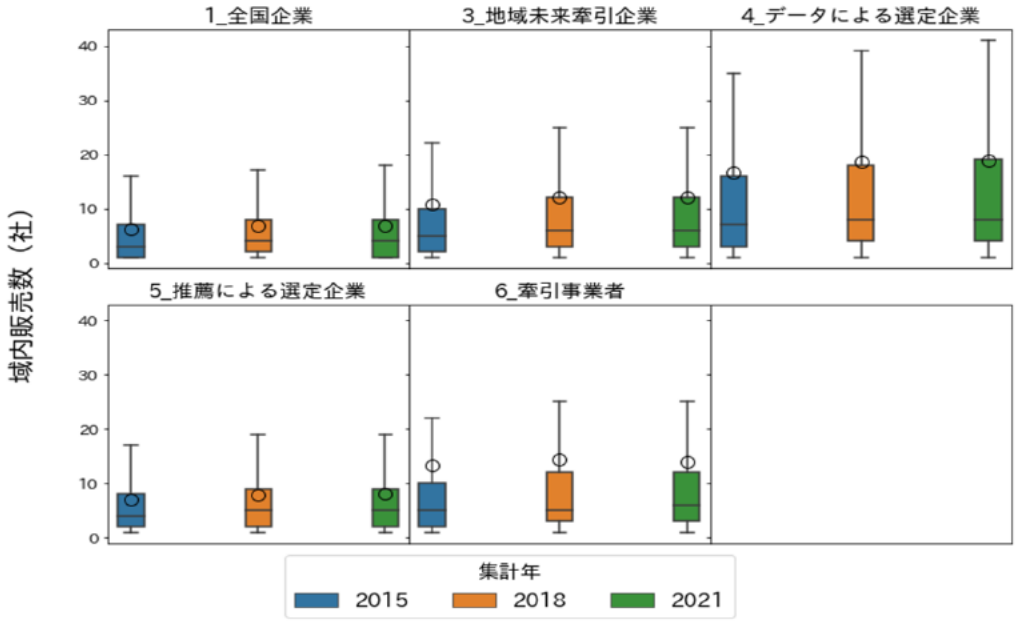
【分析コメント】

- 域内販売先社数の中央値において、2018年~2021年にかけて東証一部上場企業は減少しており、一方で牽引事業者は増加している
- 2021年時点で2015年の水準を下回る企業群はなかった

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.21：域内販売先社数【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：社数中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	244,509	3	4	4
2_東証一部上場	1,562	21	23	22
3_地域未来牽引企業	3,474	5	6	6
4_データによる選定企業	1,347	7	8	8
5_推薦による選定企業	2,127	4	5	5
6_牽引事業者	2,148	5	5	6

【分析コメント】

- 全ての企業群において、四分位範囲（箱の大きさ）に変化はなく、ひげの長さもほとんど変化はない

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.21：域内販売先社数【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	244,509	44.32	24.66	-19.66
2_東証一部上場	1,562	18.24	2.77	-15.48
3_地域未来牽引企業	3,474	31.35	10.34	-21.00
4_データによる選定企業	1,347	27.22	4.94	-22.29
5_推薦による選定企業	2,127	33.96	13.77	-20.19
6_牽引事業者	2,148	32.68	12.92	-19.76

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	244,509	11.67	-0.42	-12.09
2_東証一部上場	1,562	4.07	-4.12	-8.18
3_地域未来牽引企業	3,474	11.88	0.95	-10.93
4_データによる選定企業	1,347	11.48	0.49	-10.99
5_推薦による選定企業	2,127	12.47	1.63	-10.84
6_牽引事業者	2,148	7.92	-2.39	-10.31

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

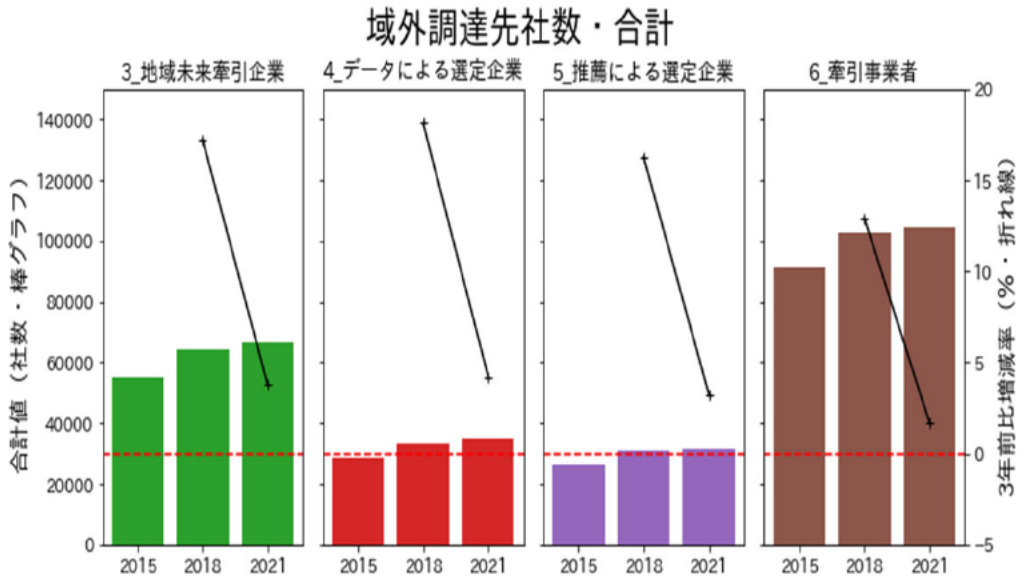
- 個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも2018年以降の成長幅が縮小している
- 企業群の中で、地域未来牽引企業がデータによる選定企業と推薦による選定企業のいずれにおいても、個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも大きく拡大している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.22：域外調達先社数【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域外調達先社数の合計[社]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	180,363	1,515,682	1,728,712 (14.06%)	1,754,529 (1.49%)
2_東証一部上場	1,617	263,105	288,497 (9.65%)	287,227 (-0.44%)
3_地域未来牽引企業	3,924	54,833	64,271 (17.21%)	66,688 (3.76%)
4_データによる選定企業	1,466	28,359	33,496 (18.11%)	34,910 (4.22%)
5_推薦による選定企業	2,458	26,474	30,775 (16.25%)	31,778 (3.26%)
6_牽引事業者	2,320	91,095	102,872 (12.93%)	104,632 (1.71%)

【分析コメント】

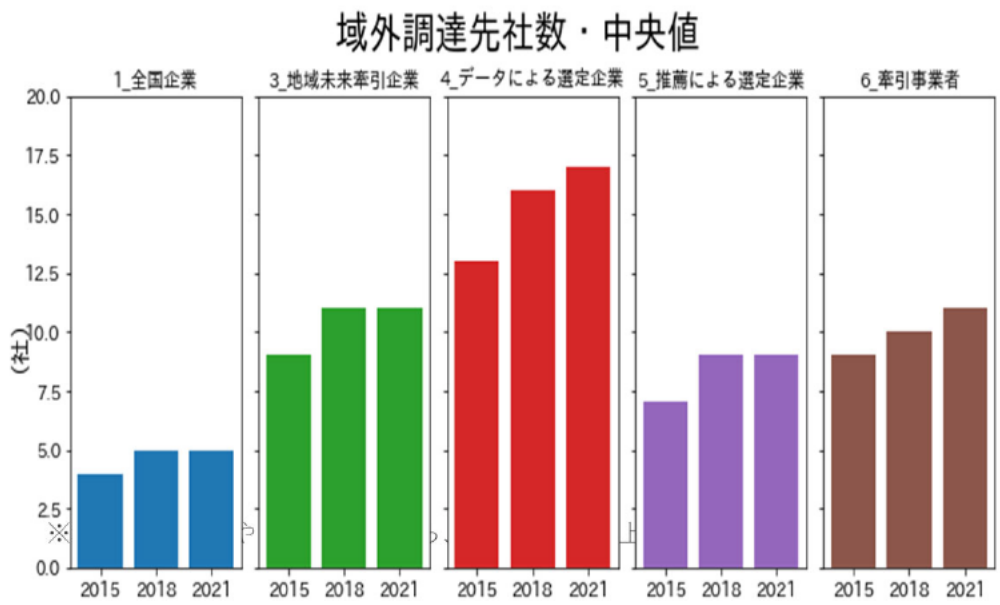
- 域外調達先社数において、東証一部上場企業を除く全ての企業群で3時点において連続的に増加している
- 地域未来牽引企業の中では、データによる選定企業が推薦による選定企業よりも企業数は少ないが、域外調達先社数の合計は上回っている

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.22：域外調達先社数【中央値】

企業群間の比較



単位：域外調達先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	180,363	4	5	5
2_東証一部上場	1,617	64	71	73
3_地域未来牽引企業	3,924	9	11	11
4_データによる選定企業	1,466	13	16	17
5_推薦による選定企業	2,458	7	9	9
6_牽引事業者	2,320	9	10	11

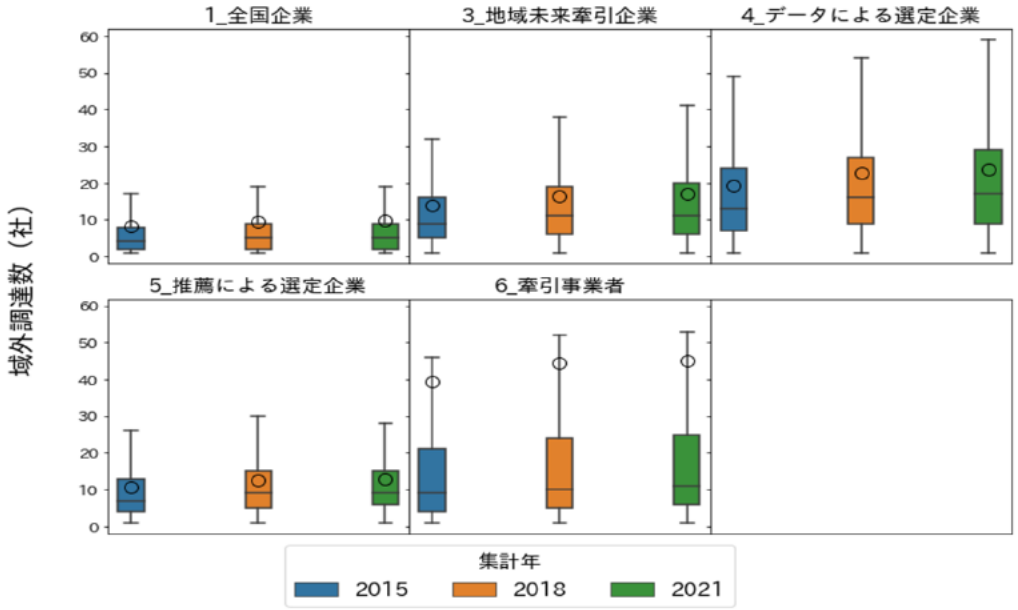
【分析コメント】

- 全ての企業群において、3時点で連続的に増加、または横ばいである
- 特に東証一部上場企業において、2018年~2021年にかけて合計社数は減少したが、中央値は増加しており、増加数は最も大きい

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.22：域外調達先社数【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：域外調達先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	180,363	4	5	5
2_東証一部上場	1,617	64	71	73
3_地域未来牽引企業	3,924	9	11	11
4_データによる選定企業	1,466	13	16	17
5_推薦による選定企業	2,458	7	9	9
6_牽引事業者	2,320	9	10	11

【分析コメント】

- 全ての企業群において、箱は年々大きくなっており、上部のひげも長くなっているためバラつきが大きくなっていることが推察される
- 特にデータによる選定企業においては、増加幅が大きい

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.22：域外調達先社数【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	180,363	37.85	19.27	-18.58
2_東証一部上場	1,617	20.10	4.37	-15.73
3_地域未来牽引企業	3,924	32.53	11.57	-20.96
4_データによる選定企業	1,466	30.86	8.51	-22.36
5_推薦による選定企業	2,458	33.52	13.40	-20.12
6_牽引事業者	2,320	32.34	16.15	-16.19

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	180,363	14.06	1.49	-12.56
2_東証一部上場	1,617	9.65	-0.44	-10.09
3_地域未来牽引企業	3,924	17.21	3.76	-13.45
4_データによる選定企業	1,466	18.11	4.22	-13.89
5_推薦による選定企業	2,458	16.25	3.26	-12.99
6_牽引事業者	2,320	12.93	1.71	-11.22

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

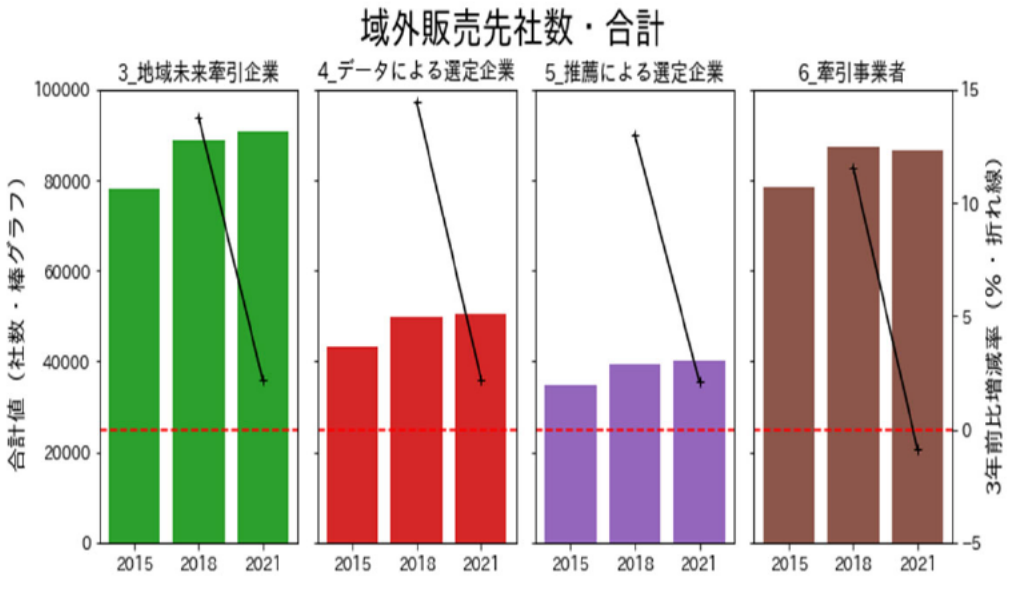
- 個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも2018年以降の成長幅が縮小している
- 企業群の中で、地域未来牽引企業がデータによる選定企業と推薦による選定企業のいずれにおいても、個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも大きく拡大している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.23：域外販売先社数【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：域外販売先社数の合計[社]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	170,401	1,609,890	1,814,770 (12.73%)	1,821,762 (0.39%)
2_東証一部上場	1,570	196,802	209,673 (6.54%)	204,295 (-2.56%)
3_地域未来牽引企業	3,910	78,137	88,912 (13.79%)	90,834 (2.16%)
4_データによる選定企業	1,475	43,338	49,590 (14.43%)	50,682 (2.20%)
5_推薦による選定企業	2,435	34,799	39,322 (13.00%)	40,152 (2.11%)
6_牽引事業者	2,310	78,349	87,400 (11.55%)	86,636 (-0.87%)

【分析コメント】

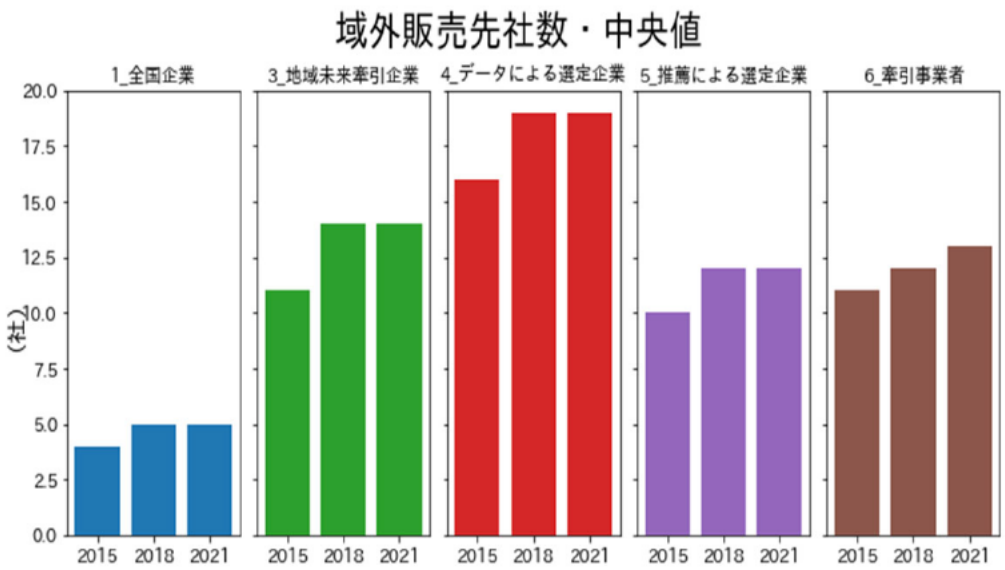
- 域外販売先社数の合計において、全国企業と地域未来牽引企業は3時点で連続的に増加しているが、その増加率は鈍化している
- 東証一部上場企業とデータによる選定企業の企業数はほぼ同数ではあるが、その域外販売先社数はおよそ4倍の差がある

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.23：域外販売先社数【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：域外販売先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	170,401	4	5	5
2_東証一部上場	1,570	44	47	46
3_地域未来牽引企業	3,910	11	14	14
4_データによる選定企業	1,475	16	19	19
5_推薦による選定企業	2,435	10	12	12
6_牽引事業者	2,310	11	12	13

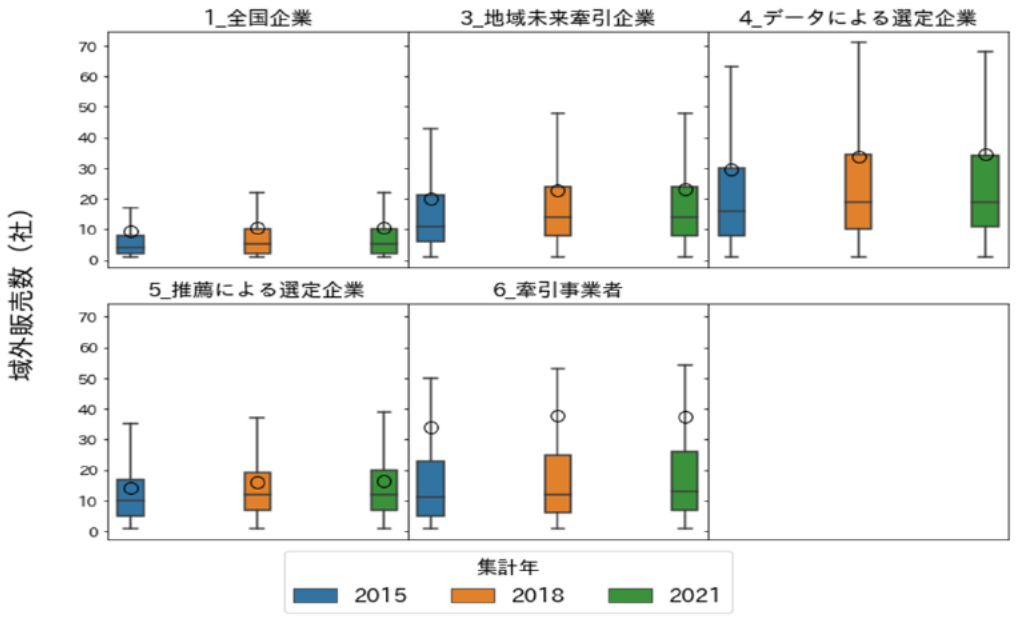
【分析コメント】

- 2015年から2021年にかけての長期的な期間においては、どの企業群も域外販売先社数が増加している
- 一方で、東証一部上場企業のみ2018年~2021年にかけて域外販売先社数が減少している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.23：域外販売先社数【箱ひげ図】



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外
※外れ値は、統計的に判定した上で描画上除外されている

単位：域外販売先社数の中央値[社]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	170,401	4	5	5
2_東証一部上場	1,570	44	47	46
3_地域未来牽引企業	3,910	11	14	14
4_データによる選定企業	1,475	16	19	19
5_推薦による選定企業	2,435	10	12	12
6_牽引事業者	2,310	11	12	13

【分析コメント】

- 全ての企業群において、四分位範囲（箱の大きさ）に変化はなく、ひげの長さもほとんど変化はない

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.23：域外販売先社数【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	170,401	43.34	21.46	-21.88
2_東証一部上場	1,570	17.50	3.18	-14.32
3_地域未来牽引企業	3,910	33.81	11.66	-22.15
4_データによる選定企業	1,475	27.78	6.67	-21.11
5_推薦による選定企業	2,435	37.46	14.68	-22.78
6_牽引事業者	2,310	35.20	13.09	-22.11

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	170,401	12.73	0.39	-12.34
2_東証一部上場	1,570	6.54	-2.56	-9.11
3_地域未来牽引企業	3,910	13.79	2.16	-11.63
4_データによる選定企業	1,475	14.43	2.20	-12.22
5_推薦による選定企業	2,435	13.00	2.11	-10.89
6_牽引事業者	2,310	11.55	-0.87	-12.43

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

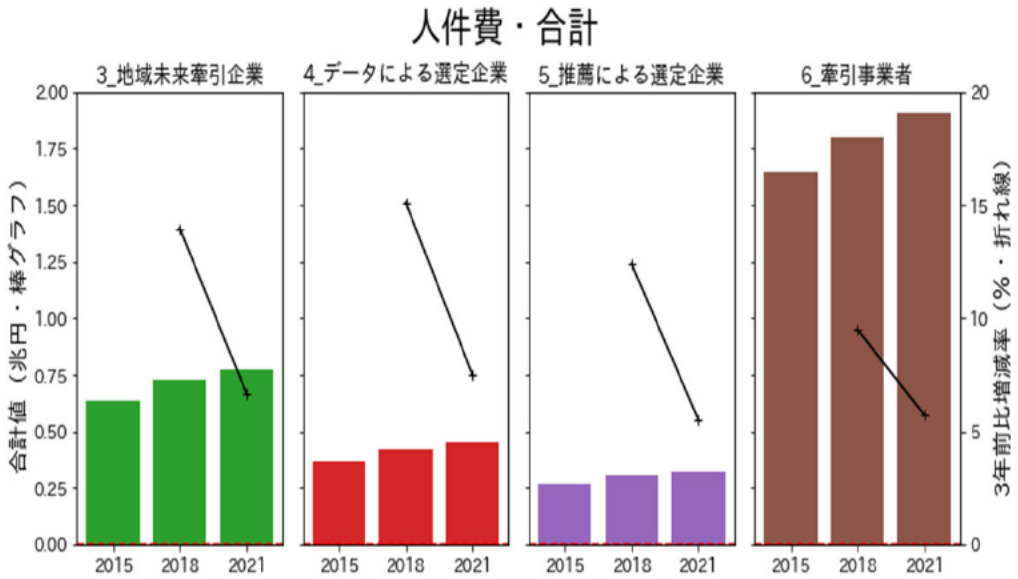
- 個社の変化率の平均、合計の変化率のどちらも2018年以降の成長幅が縮小している
- 個社の変化率の平均では全国企業が最も大きく拡大しており、合計の変化率ではデータによる選定企業が最も大きく拡大している

データ出典：信用調査報告書CCR

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.24：人件費【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」を除外

単位：人件費の合計[兆円]、 3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	45,824	19.38	21.07 (8.73%)	21.69 (2.95%)
2_東証一部上場	1,383	9.07	9.81 (8.16%)	9.89 (0.88%)
3_地域未来牽引企業	1,396	0.64	0.72 (13.97%)	0.77 (6.68%)
4_データによる選定企業	629	0.37	0.42 (15.12%)	0.45 (7.51%)
5_推薦による選定企業	767	0.27	0.30 (12.40%)	0.32 (5.51%)
6_牽引事業者	766	1.65	1.80 (9.49)	1.91 (5.72%)

【分析コメント】

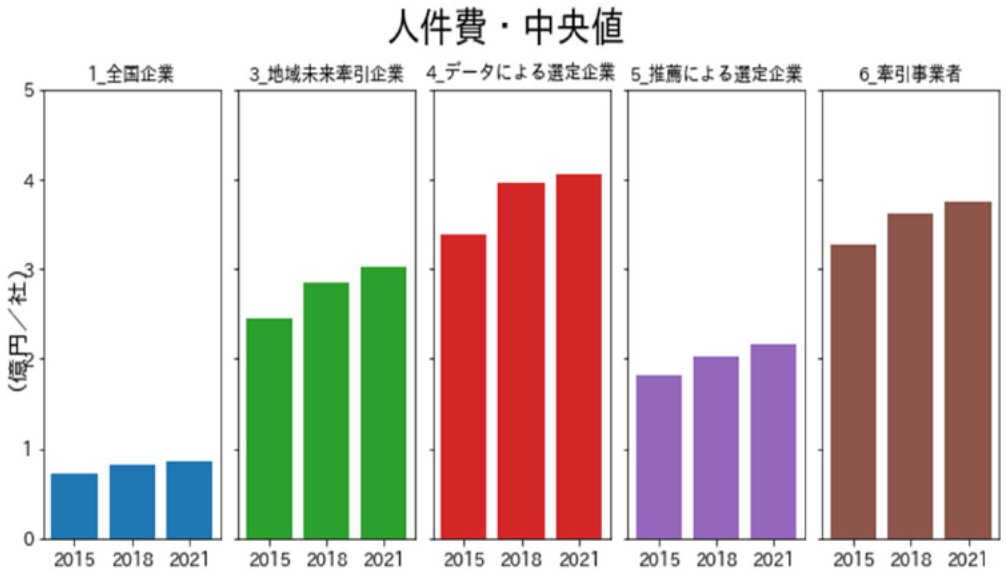
- 全ての企業群は3時点において人件費が増加している
- 地域未来牽引企業において、他の企業群と比較しても人件費の増加率は大きく、特にデータによる選定企業が最も大きい

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.24：人件費【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」を除外

単位：人件費の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	45,824	0.72	0.81	0.86
2_東証一部上場	1,383	23.36	24.63	25.65
3_地域未来牽引企業	1,396	2.45	2.85	3.02
4_データによる選定企業	629	3.39	3.96	4.05
5_推薦による選定企業	767	1.81	2.02	2.16
6_牽引事業者	766	3.28	3.61	3.75

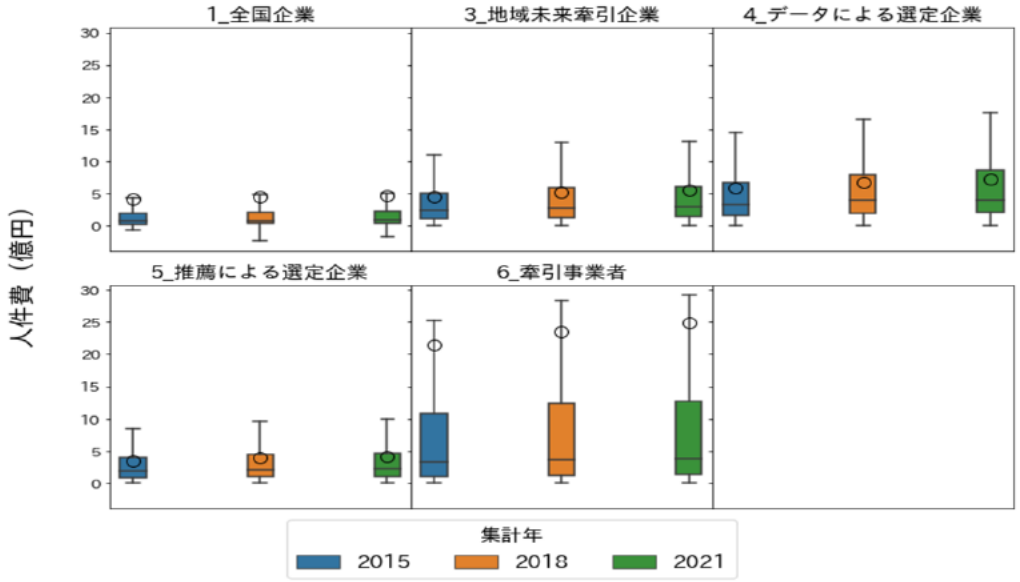
【分析コメント】

- いずれの企業群においても、人件費の中央値は増加傾向にある
- 東証一部上場企業は群を抜いて大きく、地域未来牽引企業全体と牽引事業者を比較すると牽引事業者の方がおよそ1.2倍高い
- 地域未来牽引企業の中では、データによる選定企業が推薦による選定企業よりもおよそ2倍大きい

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.24：人件費【箱ひげ図】



※グラフでは、見やすさの観点から、東証一部上場を除く。

単位：人件費の中央値[億円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	45,824	0.72	0.81	0.86
2_東証一部上場	1,383	23.36	24.63	25.65
3_地域未来牽引企業	1,396	2.45	2.85	3.02
4_データによる選定企業	629	3.39	3.96	4.05
5_推薦による選定企業	767	1.81	2.02	2.16
6_牽引事業者	766	3.28	3.61	3.75

【分析コメント】

- 全ての企業群において、四分位範囲（箱の大きさ）に変化はなく、ひげの長さもほとんど変化はない
- 全ての企業群において、箱やひげの上部に平均値が位置していることから、一部の企業が大きな域内取引を行なっていることが推察される

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.24：人件費【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	45,820	34.11	22.59	-11.52
2_東証一部上場	1,382	16.96	7.51	-9.45
3_地域未来牽引企業	1,396	26.14	10.74	-15.40
4_データによる選定企業	629	24.60	10.05	-14.56
5_推薦による選定企業	767	27.40	11.32	-16.08
6_牽引事業者	766	209.25	22.94	-186.31

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	45,824	8.73	2.95	-5.79
2_東証一部上場	1,383	8.16	0.88	-7.28
3_地域未来牽引企業	1,396	13.97	6.68	-7.29
4_データによる選定企業	629	15.12	7.51	-7.61
5_推薦による選定企業	767	12.40	5.51	-6.89
6_牽引事業者	766	9.49	5.72	-3.77

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

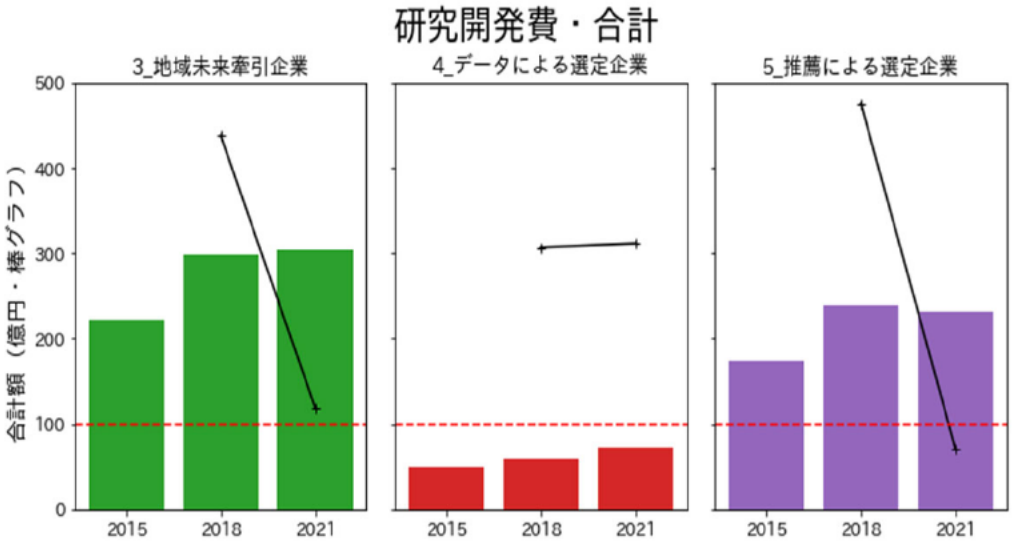
- いずれの企業群においても人件費は増加傾向にあるものの、2015年~2018年と2018年~2021年を比較すると、増加率は鈍化している
- 個社の変化率の平均に着目すると、牽引事業者において差分が-186.31ポイントと大きくなっているが、これは一部の外れ値的企業の影響が大きいと考えられる

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.25：研究開発費【合計】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「1_全国企業」「2_東証1部上場」「6_牽引事業者」を除外

単位：研究開発費の合計[億円]、3年前比増減率[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	4,645	49,153.55	53,196.59 (8.23%)	51,918.80 (-2.40%)
2_東証一部上場	470	46,223.04	50,045.12 (8.27%)	48,688.97 (-2.71%)
3_地域未来牽引企業	350	222.67	297.93 (33.80%)	303.58 (1.90%)
4_データによる選定企業	137	49.39	59.60 (20.68%)	72.21 (21.16%)
5_推薦による選定企業	213	173.29	238.33 (37.53%)	231.38 (-2.92%)
6_牽引事業者	244	12,127.14	12,670.60 (4.48%)	12,605.88 (-0.51%)

【分析コメント】

- 研究開発費の合計において、データによる選定企業のみ2018年~2021年にかけて増加しており、その増加幅は2015年~2018年よりも大きい
- 東証一部上場企業は、企業数は少ないものの合計額は全国企業のおよそ94%を占める

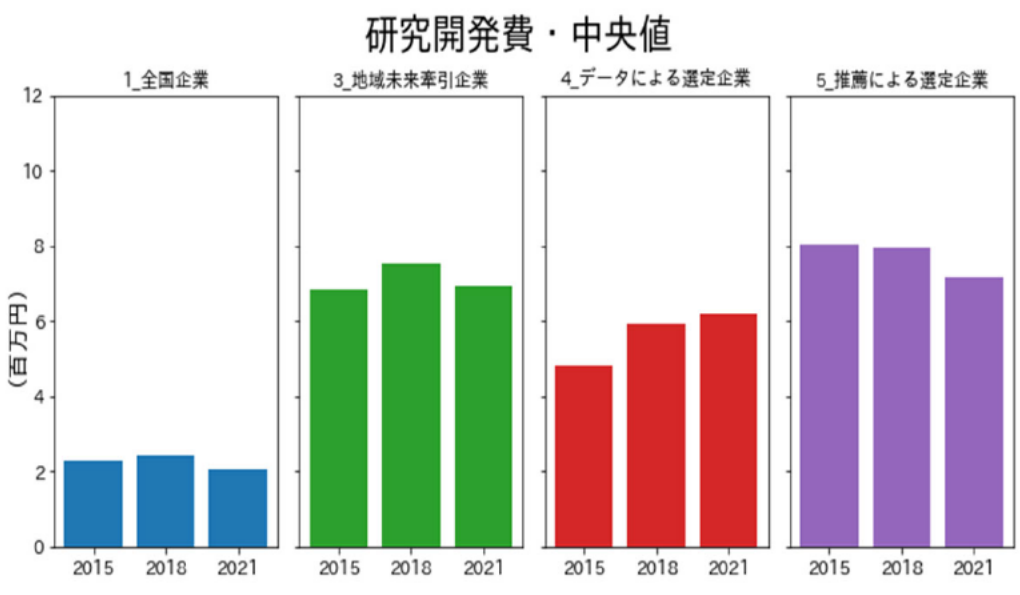
※実際の研究開発に関わる費用はさまざまな財務項目に分散されて記載されている。
財務項目としての「研究開発費」のみで必ずしも研究開発に関わる費用の実態を把握できるわけではないことに注意

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.25：研究開発費【中央値】

企業群間の比較



※グラフでは見やすさの観点から、「2_東証1部上場」「6_牽引事業者」を除外

単位：研究開発費の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	4,645	2.27	2.43	2.08
2_東証一部上場	470	1,415.04	1,644.27	1,709.16
3_地域未来牽引企業	350	6.85	7.51	6.93
4_データによる選定企業	137	4.82	5.91	6.20
5_推薦による選定企業	213	8.02	7.96	7.16
6_牽引事業者	244	154.40	191.12	215.79

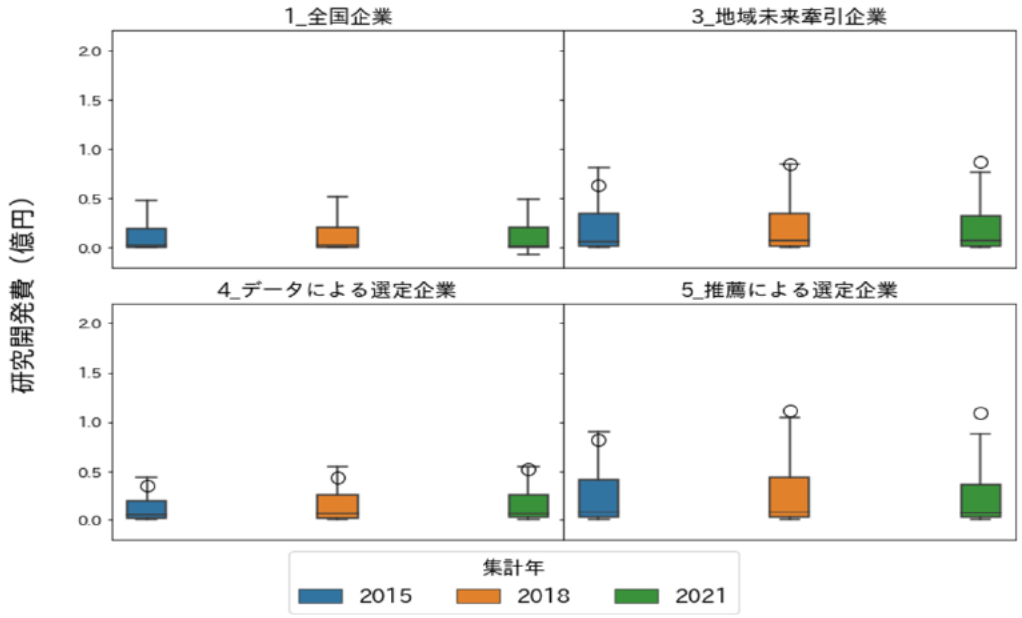
【分析コメント】

- 研究開発費の中央値において、東証一部上場企業が突出して大きく、次いで牽引事業者が2021年時点で215.79百万円と地域未来牽引企業よりおよそ31倍大きい
- データによる選定企業は、3時点で連続的に増加しているものの2021年時点では6.20百万円であり、合計値からも一部の外れ値的企業が存在していると考えられる

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.25：研究開発費【箱ひげ図】



単位：研究開発費の中央値[百万円]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	4,645	2.27	2.43	2.08
2_東証一部上場	470	1,415.04	1,644.27	1,709.16
3_地域未来牽引企業	350	6.85	7.51	6.93
4_データによる選定企業	137	4.82	5.91	6.20
5_推薦による選定企業	213	8.02	7.96	7.16
6_牽引事業者	244	154.40	191.12	215.79

※グラフでは、見やすさの観点から、東証一部上場を除く。
※外れ値は、見やすさの観点から割愛した。

【分析コメント】

- 全ての企業群で箱の上部（第一四分位点～中央値）が広く、ひげの上部も長いため研究開発費を計上している企業としていない企業の差が大きい

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.25：研究開発費【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	4,641	621.11	187.74	-433.37
2_東証一部上場	470	28.78	11.37	-17.41
3_地域未来牽引企業	350	5384.39	118.63	-5265.76
4_データによる選定企業	137	128.16	119.35	-8.81
5_推薦による選定企業	213	8765.16	118.17	-8646.99
6_牽引事業者	244	7007.84	104.08	-6903.76

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	4,645	8.23	-2.40	-10.63
2_東証一部上場	470	8.27	-2.71	-10.98
3_地域未来牽引企業	350	33.80	1.90	-31.90
4_データによる選定企業	137	20.68	21.16	0.48
5_推薦による選定企業	213	37.53	-2.92	-40.45
6_牽引事業者	244	4.48	-0.51	-4.99

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

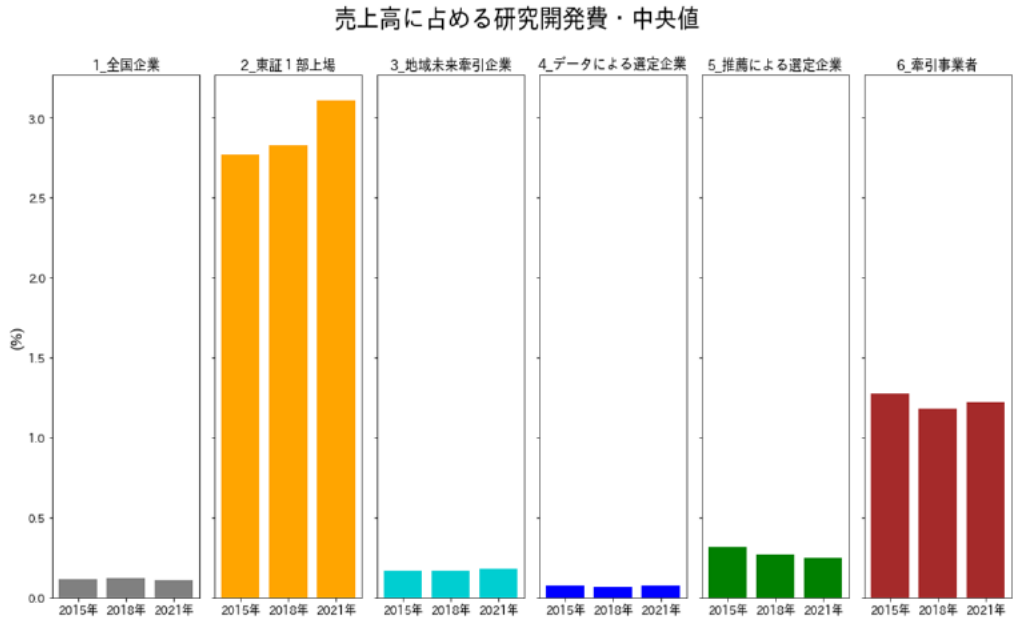
- 個社の変化率の平均を見ると、全国企業と推薦による選定企業、牽引事業者の差分は大きく、個社によって研究開発費のバラつきが大きいと考えれらる
- 合計の変化率を見ると、推薦による選定企業の2015年~2018年と2018年~2021年における減少幅が突出して大きい

データ出典：企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.26：売上高に占める研究開発費比率【中央値】

企業群間の比較



単位：売上高に占める研究開発費比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	4,638	0.11	0.12	0.10
2_東証一部上場	470	2.77	2.83	3.11
3_地域未来牽引企業	350	0.16	0.16	0.18
4_データによる選定企業	137	0.07	0.07	0.07
5_推薦による選定企業	213	0.31	0.27	0.25
6_牽引事業者	244	1.27	1.18	1.22

【分析コメント】

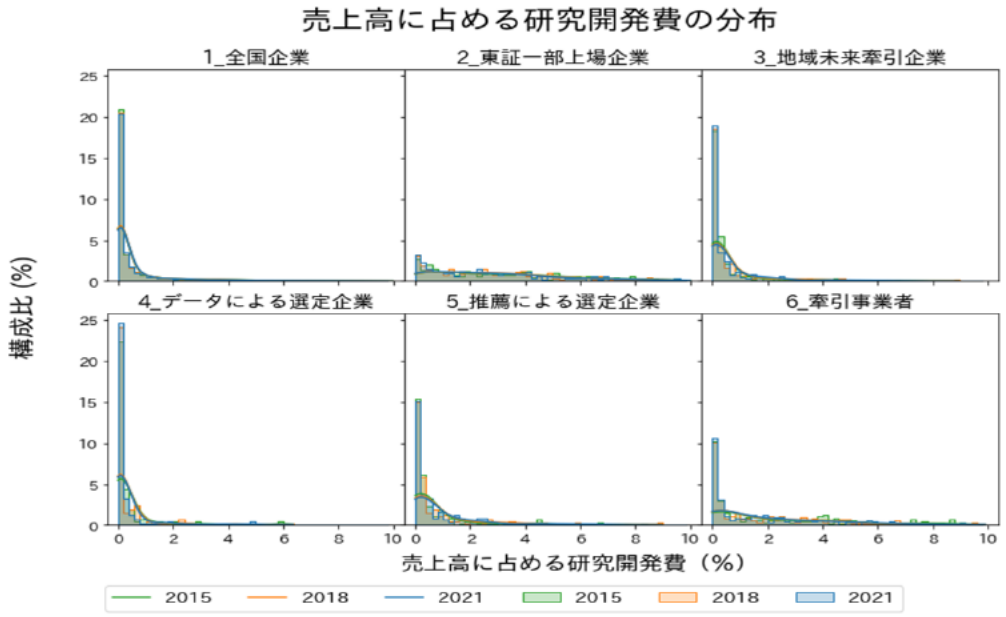
- 売上高に占める研究開発費の中央値で見ると、東証一部上場企業が群を抜いて大きな割合となっており、次いで牽引事業者が続く
- 地域未来牽引企業の中では、推薦による選定企業はデータによる選定企業のおよそ3倍である

※実際の研究開発に関わる費用はさまざまな財務項目に分散されて記載されている。
財務項目としての「研究開発費」のみで必ずしも研究開発に関わる費用の実態を把握できるわけではないことに注意

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.26：売上高に占める研究開発費比率【ヒストグラム】



単位：売上高に占める研究開発費比率の中央値[%]

企業群	対象数（社）	2015年	2018年	2021年
1_全国企業	4,638	0.11	0.12	0.10
2_東証一部上場	470	2.77	2.83	3.11
3_地域未来牽引企業	350	0.16	0.16	0.18
4_データによる選定企業	137	0.07	0.07	0.07
5_推薦による選定企業	213	0.31	0.27	0.25
6_牽引事業者	244	1.27	1.18	1.22

【分析コメント】

- 全国企業と地域未来牽引企業のヒストグラムにおいても左に強く偏っていることから、一部の企業が研究開発費比率を引き上げていることがわかる
- 東証一部上場企業と牽引事業者では、右裾の長い分布となっており、他の企業群と比較して、研究開発費の比率が高い企業が一定数いることが推察される

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

指標No.26：売上高に占める研究開発費比率【変化率】

個社の変化率の**単純平均**[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	4,638	499.45	171.15	-328.31
2_東証一部上場	470	17.45	17.53	0.08
3_地域未来牽引企業	350	4365.05	129.75	-4235.31
4_データによる選定企業	137	104.92	126.30	21.38
5_推薦による選定企業	213	7105.14	131.97	-6973.17
6_牽引事業者	244	5563.24	114.73	-5448.50

合計の変化率[%]

企業群	対象数（社）	2015年～2018年	2018年～2021年	差分
1_全国企業	4,638	-32.06	-20.15	11.91
2_東証一部上場	470	1.67	3.20	1.53
3_地域未来牽引企業	350	185.95	-58.29	-244.24
4_データによる選定企業	137	-2.49	7.29	9.78
5_推薦による選定企業	213	197.36	-59.60	-256.96
6_牽引事業者	244	1.02	9.43	8.41

※差を計算後に四捨五入を行っているため、集計表上の2015-2018年データと2018-2021年データの差分とは完全一致しないことがある

【分析コメント】

- 個社の変化率の平均と合計の変化率のいずれにおいても、推薦による選定企業の変化が大きいことから、非常に大きな成長を行った企業の影響によって、個社の変化率が大きく変化していることが考えられる
- これは牽引事業者にも同様の傾向が見られる

データ出典：企業概要COSMOS2、企業財務COSMOS1

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

令和３年度地域企業支援環境整備事業
（令和３年度データに基づく地域未来牽引企業調査・分析事業）

（参考１）地域未来牽引企業の抽出・選定基準

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）地域未来牽引企業を抽出するための評価基準

◘採用した6つの指標

- 本年度も、平成29年度に構築した地域未来牽引企業の選定基準である以下の6指標を用いた企業評価方法を採用した。

指標一覧

評価軸	指標名		概要	総合評価比重
地域経済の取引の結節点	1	コネクター度	各都道府県の域外販売額に占めるシェア	15%
	2	ハブ度	各都道府県の域内仕入額に占めるシェア	15%
高い付加価値の創出	3	利益貢献度	過去3年間の営業利益の平均	15%
	4	雇用貢献度	過去3年間の従業員数の平均	15%
成長性	5	利益成長性	過去3年間の営業利益の成長率の幾何平均	20%
	6	雇用成長性	過去3年間の従業員数の成長率の幾何平均	20%

平成29年度報告書：http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/H29FY/000918.pdf

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘採用した各指標の定義について

1. コネクター度

- 評価軸　：地域経済の取引の結節点
- 算出方法：自社の域外販売額／域内全企業の全域外販売額
  - 圏域は「都道府県」単位
  - 同値の場合は、域外販売額の大きさで降順に順位付け
- データ元：信用調査報告書（CCR）、企業概要ファイル（C2）

2. ハブ度

- 評価軸　：地域経済の取引の結節点
- 算出方法：自社の域内仕入額／域内全企業の全域内仕入額
  - 圏域は「都道府県」単位
  - 同値の場合は、域内仕入額の大きさで降順に順位付け
- データ元：信用調査報告書（CCR）、企業概要ファイル（C2）

※東京工業大学大学院高安美佐子教授の提唱するモデルを用いた取引高の推定値を使用（Tamura et al., 2012、詳細はp.13-16参考にて説明）
※信用調査報告書（ＣＣＲ）および企業概要ファイル（Ｃ２）は、株式会社帝国データバンクが保有する企業データ。

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘採用した各指標の定義について

3. 利益貢献度

- 評価軸　：高い付加価値の創出
- 算出方法：過去３年間の営業利益の平均
  - 同値の場合は、直近の営業利益の大きさで降順に順位付け
- データ元：企業単独財務ファイル（C1）、信用調査報告書（CCR）

4. 雇用貢献度

- 評価軸　：高い付加価値の創出
- 算出方法：過去３年間の従業員数の平均
  - 同値の場合は、直近の従業員数の多さで降順に順位付け
- データ元：企業概要ファイル（C2）

※　信用調査報告書（ＣＣＲ）および企業概要ファイル（Ｃ２）、企業単独財務ファイル（C1）は、株式会社帝国データバンクが保有する企業データ。

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘採用した各指標の定義について

5. 利益成長性

- 評価軸　：成長性
- 算出方法：過去３年間の営業利益の成長率の幾何平均
  - 同値の場合は、直近の営業利益の大きさで降順に順位付け
- データ元：企業単独財務ファイル（C1）、信用調査報告書（CCR）

6. 雇用成長性

- 評価軸　：成長性
- 算出方法：過去３年間の従業員数の成長率の幾何平均
  - 同値の場合は、直近の従業員数の多さで降順に順位付け
- データ元：企業概要ファイル（C2）

※　信用調査報告書（ＣＣＲ）および企業概要ファイル（Ｃ２）、企業単独財務ファイル（C1）は、株式会社帝国データバンクが保有する企業データ。

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘採用された地域未来牽引企業評価基準を用いた選定方法

帝国データバンクの企業情報のデータベースを活用して、対象企業母集団※1の中での以下の①～③にある計６つの指標について、各企業の順位を偏差値換算によりスコア化※2し、一定の評価ウェイトによる加重平均により総合スコアを算出し評価。更に各指標において一定基準値未満である等のもの※3を除き、各都道府県毎※4に上位企業を候補に選出。

① 地域経済の取引の結節点の機能（各都道府県の域外販売額、域内仕入額に占めるシェア（推計）。「コネクター指標」、「ハブ指標」）評価ウェイトそれぞれ１５％　計３０％

② 高い付加価値の創出（営業利益、従業員数それぞれの過去３か年の平均値。「利益貢献度」、「雇用貢献度」）　評価ウェイトそれぞれ１５％　計３０％

③ 成長性（営業利益、従業員数のそれぞれの過去３か年の幾何平均増加率。「利益成長性」、「雇用成長性」）　評価ウェイトそれぞれ２０％　計４０％

※1　対象企業母集団の算出方法はp.10参照
※2　指標のスコア変換方法はp.11参照
※3　一定基準値未満である等の企業除外はp.12参照
※4　各企業を本社所在地で分類（帝国データバンク調べ、令和元年9月時点に確認）

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘対象企業母集団

以下対象を除外した約30万社

＜除外対象＞

1．従業員数と取引データが把握できない

2．規模の大きい企業：

・売上高1千億円以上、資本金10億円以上、東証一部上場

3．売上高が各都道府県の中央値未満

4．大企業の子会社：

・親会社が売上高1千億円以上または資本金10億円以上いずれかの場合、当該企業が上場か非上場かを問わず、50％以上出資の子会社

・東証一部企業の場合、50％以上出資の子会社

Confidential

Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.

TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

◘指標のスコア変換方法

- 偏差値換算によるスコア化は、①指標毎に企業を順位付けする。②順位をもとに（自社の順位/全企業数）の値を出し、③この値が正規分布に従うように逆変換法にて変換する。④変換後のスコアを用いて、偏差値を算出する。

- 順位付けにおいてそれぞれの指標において値が同じ場合は、以下のそれぞれの大きさで順位付けを行った。

「利益貢献度」：直近の営業利益　「雇用貢献度」：直近の従業員数

「利益成長性」：直近の営業利益　「雇用成長性」：直近の従業員数

「コネクター指標」：域外販売額　「ハブ指標」：域内仕入額

※ただし雇用成長性は、増加率０の場合は、企業が多数あったため、同じ増加率の企業のスコア幅が大きくなり過ぎないよう増加率0の企業のスコア中央値を一律スコアとした。

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考1）採用された各指標の定義

■各指標等で一定基準値未満の企業を除外

- 波及効果がより大きな企業に限定するため、コネクター度・ハブ度・利益貢献度・雇用貢献度の各指標スコア50点未満の企業
- 利益成長性、雇用成長性がマイナスであることが明らかな企業
- 最新期売上高10億円未満
- 利益成長性が100％未満
- 最新営業利益が0以下、最新従業員数が0の企業
- 従業員数が各都道府県において上位30％の数値に満たない企業

■その他、特定企業の製品の卸売りを主に行う企業、法令違反のある企業等を除外した

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考２）フォローアップ分析指標の定義

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2）分析指標の定義

フォローアップ分析では、**5つの評価軸**に関する**計26個の指標**を用いて分析を行った。各評価軸に対応する指標は以下のとおり。

1．稼ぐ力	01	売上高
	02	営業利益
	03	売上高営業利益率
	04	自己資本額に占める営業利益率
	05	総資産額に占める営業利益率
2．生産性	06	従業員数
	07	従業員一人当たりの付加価値額
	08	従業員一人当たりの売上高
	09	従業員一人当たりの営業利益
3．経営力	10	総資産額
	11	自己資本比率
	12	総資産回転率
	13	労働分配率

3．経営力	14	資本装備率
	15	資本生産性
4．地域牽引力	16	域内調達額
	17	域外販売額
	18	売上高に占める域外販売額比率
	19	域内取引額
	20	域内調達先社数
	21	域内販売先社数
	22	域外調達先社数
	23	域外販売先社数
	24	人件費
5．研究開発	25	研究開発費
	26	売上高に占める研究開発費比率

- 指標により、算出可能である企業数は異なります
- 次ページ以降で、各指標の定義を整理します
  - ➢ 注：項目名[CCR]とは、CCR（信用調査報告書）内の対応する項目を利用することを示しています

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2）【1．稼ぐ力】に関する指標

No.	指標名	算出方法
01	売上高	売上高[C2]
02	営業利益	営業利益[C1] or 営業利益[CCR] ※営業利益[C1]があれば優先して使用する
03	売上高営業利益率	（営業利益[指標No.02] /売上高[指標No.01]） ×100 ※営業利益が正の場合のみ算出対象とする
04	自己資本額に占める営業利益率	（営業利益[指標No.02] /自己資本額[＊]） ×100 自己資本額＝純資産合計[C1]－新株予約券（純資産合計）[C1] ※営業利益、自己資本額がいずれも正の場合のみ算出対象とする
05	総資産額に占める営業利益率	（営業利益[指標No.02] /総資産額[＊]） ×100 総資産額＝負債純資産合計[C1] ※営業利益、総資産額がいずれも正の場合のみ算出対象とする

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2） 【2. 生産性】に関する指標

No.	指標名	算出方法
06	従業員数	従業員数[C2]
07	従業員一人当たりの付加価値額	付加価値額[＊] /従業員数[指標No.06] 付加価値額の算出方法については表下を参照 ※営業利益[C1]があれば優先して使用する
08	従業員一人当たりの売上高	売上高[指標No.01] /従業員数[指標No.06] ※従業員数が正の場合のみ算出対象とする
09	従業員一人当たりの営業利益	営業利益[指標No.02] /従業員数[指標No.06] ※従業員数が正の場合のみ算出対象とする

付加価値額 ＝ 経常利益[C1] ＋ 人件費 ＋ 金融費用 ＋ 賃貸料 ＋ 租税公課 ＋ 減価償却費

役員報酬
＋給料手当
＋役員賞与(販売費及び一般管理費)
＋賞与
＋雑給・販売員給与
＋役員賞与引当金繰入額
＋役員賞与引当金戻入額
＋賞与引当金繰入額(販売費及び一般管理費)
＋賞与引当金戻入額(販売費及び一般管理費)
＋退職金・退職給与
＋退職給与引当金繰入額
＋退職給付費用(販売費及び一般管理費)
＋退職給付引当金繰入額(販売費及び一般管理費)
＋法定福利費
＋福利厚生費

※いずれも[C1]項目

当期減価償却実施額[C1]＋
有形固定資産減価償却実施額[C1]

租税公課（販売費及び一般管理費）[C1]＋
租税公課（営業外費用）[C1]

賃借料・地代家賃 [C1]

支払利息・割引料 [C1]

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2）【3．経営力】に関する指標

No.	指標名	算出方法
10	総資産額	負債純資産合計[C1]
11	自己資本比率	自己資本額[＊] /総資産額[指標No.10] 自己資本額＝純資産合計[C1]－新株予約券（純資産合計）[C1] ※自己資本額、総資産額がいずれも正の場合のみ算出対象とする
12	総資産回転率	営業収益[C1] /総資産額[指標No.10] ※営業収益、総資産額がいずれも正の場合のみ算出対象とする
13	労働分配率	（人件費[指標No.07の過程] /付加価値額[指標No.07の過程]）×100 ※人件費、付加価値額がいずれも正の場合のみ算出対象とする
14	資本装備率	資本装備率＝資本ストック[＊]/従業員数[指標No.06] 資本ストック＝有形固定資産[C1] ※資本ストック、従業員数がいずれも正の場合のみ算出対象とする
15	資本生産性	（付加価値額[指標No.07の過程]/資本ストック[指標No.14の過程]）×100 ※付加価値額、資本ストックがいずれも正の場合のみ算出対象とする

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2）【4．地域牽引力】に関する指標

No.	指標名	算出方法
16	域内調達額	当該企業の所在都道府県**内**企業との調達取引に関する取引高推定値の合計
17	域外販売額	当該企業の所在都道府県**外**企業との販売取引に関する取引高推定値の合計
18	売上高に占める域外販売額比率	域**外**販売額[指標No.17]/売上高[指標No.01]
19	域内取引額	域**内**調達額[指標No.16]＋域**内**販売額[＊] 域内販売額 当該企業の所在都道府県**内**企業との販売取引に関する取引高推定値の合計
20	域内調達先社数	当該企業の所在都道府県**内**企業との調達取引先社数
21	域内販売先社数	当該企業の所在都道府県**内**企業との販売取引先社数
22	域外調達先社数	当該企業の所在都道府県**外**企業との調達取引先社数
23	域外販売先社数	当該企業の所在都道府県**外**企業との販売取引先社数
24	人件費	人件費[指標No.07の過程]

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考2）【5．研究開発】に関する指標

No.	指標名	算出方法
25	研究開発費	研究開発費[C1]
26	売上高に占める研究開発費比率	（研究開発費[指標No.25]/営業収益[C1]）×100 ※研究開発費、営業収益がいずれも正の場合のみ算出対象とする

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考３）フォローアップ分析指標の意味

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考3）指標の意味：１．稼ぐ力

指標	意味
売上高	商品・製品売上高、完成工事高などのこと
営業利益	売上高から売上原価と販管費を差し引いた利益。本業の営業活動によって得た利益
売上高営業利益率	売上高に対する営業利益の割合。値が高いほど営業費用が低く抑えられているため良いとされる
自己資本額に占める営業利益率	調達資本を自己資本に限定して、営業利益と比較することによって、自己資本がどれだけ効率的に利益を獲得したかを示す指標
総資産額に占める営業利益率	企業に投下された総資本が、利益獲得のためにどれだけ効率的に利用されたかを示す指標

株式会社帝国データバンク「信用調査報告書の読み方」、中小企業庁「平成17年版中小企業の財務指標」より引用・再編加工

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考3）指標の意味：２．生産性

指標	意味
従業員数	役員を除く正社員数
従業員一人当たりの付加価値額	従業員一人当たり、どれくらいの付加価値を生み出しているかを示す指標。値が大きいほど生産性が高いとされる。
従業員一人当たりの売上高	従業員一人当たり、どれくらいの売上高を生み出しているかを示す指標。値が大きいほど生産性が高いとされる。
従業員一人当たりの営業利益	従業員一人当たり、どれくらいの営業利益を生み出しているかを示す指標。値が大きいほど生産性が高いとされる。

株式会社帝国データバンク「信用調査報告書の読み方」、中小企業庁「平成17年版中小企業の財務指標」より引用・再編加工

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考3）指標の意味：３．経営力

指標	意味
総資産額	流動資産や固定資産、繰延資産など、会社の全ての資産を合わせ、金額換算したもの
自己資本比率	総資本に占める自己資本の割合。値が高いほど、安定的な資金源が豊富で企業経営の安全度が高いため、良いとされる
総資産回転率	1年間の売上によって総資産が入れ替わっているかを表す。値が高いほど投下資本を効率的に活用しており、良いとされる
労働分配率	付加価値に占める人件費の割合の程度を示す指標である
資本装備率	機械や設備への投資の程度を表す指標で、総資本を労働力で除して算出される。値が高いほど資本集約的となる
資本生産性	保有している機械や設備、土地等の資本がどれだけ効率的に成果を生み出したかを定量的に数値化したもの

株式会社帝国データバンク「信用調査報告書の読み方」、中小企業庁「平成17年版中小企業の財務指標」より引用・再編加工

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考3）指標の意味：４．地域牽引力

指標	意味
域内調達額	仕入額のうち、域内の取引先からの仕入額を指す ※取引高推定値に基づき算出
域外販売額	販売額のうち、域外の取引先への販売額を指す ※取引高推定値に基づき算出
売上高に占める域外販売額率	売上高に対する、域外販売額の割合
域内取引額	域内調達額と域内販売額の合計
人件費	企業の経費の中で、労働に対して支払われる給与や各種手当てなどのことを指す

株式会社帝国データバンク「信用調査報告書の読み方」、中小企業庁「平成17年版中小企業の財務指標」より引用・再編加工

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK

（参考3）指標の意味：５．研究開発

指標	意味
研究開発費	研究および開発を目的とした費用のことで、人件費、原材料費、固定資産の減価償却費など、研究開発のために使われたすべての原価が含まれる （参考） 金融庁が発表している「研究開発費等に係る会計基準」 研究：新しい知識の発見を目的とした計画的な調査及び探求 開発：新しい製品・サービス・生産方法についての計画若しくは設計又は既存の製品等を著しく改良するための計画若しくは設計として、研究の成果その他の知識を具体化すること
売上高に占める研究開発費率	研究開発を行った企業の研究開発費を、売上高で除した比率で、1単位の売上高に対してどれだけの研究開発費が投資されたかを示す指標

株式会社帝国データバンク「信用調査報告書の読み方」、中小企業庁「平成17年版中小企業の財務指標」より引用・再編加工

Confidential
Copyright © TEIKOKU DATABANK, LTD. All Rights Reserved.
TEIKOKU DATABANK